

# 石垣市北部地域・西部地域 活性化基本構想



令和7年3月  
石垣市



## 【目次】

1. 基本構想の大綱.....	1
1.1 基本構想の目的.....	1
1.2 基本構想対象地域.....	2
1.3 基本構想のフロー.....	3
2. 上位計画などにおける北部地域・西部地域の位置づけ及び現状の整理.....	4
2.1 上位計画などにおける位置づけ.....	4
2.2 北部地域・西部地域の集落分布.....	10
2.3 北部地域・西部地域の人口動向.....	12
2.4 土地利用現況.....	16
2.5 施設立地状況の整理.....	18
2.6 意見交換会などから見た地域の現状と望まれる機能.....	26
2.7 市民アンケートから見た地域の現状と望まれる機能.....	34
2.8 6次産業の可能性と平久保小学校、水産研究所跡地利用のニーズについて.....	38
3. 北部地域・西部地域の現況と問題点のまとめ.....	42
3.1 北部地域・西部地域の現況と問題点の整理.....	42
4. 北部地域・西部地域の将来像の設定.....	46
4.1 北部地域・西部地域の目指す将来像.....	46
5. 北部地域・西部地域の将来像実現に向けた施策の検討.....	51
5.1 将来像実現に向けた施策の検討.....	51
5.2 地域コミュニティ社会の存続.....	53
5.3 市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供.....	57
5.4 地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人たちにも提供.....	72
5.5 北部地域・西部地域を一つのまちととらえ連携.....	79
6. 重点プロジェクトの選定及び基本的な考え方の検討.....	84
6.1 重点プロジェクトの選定.....	84
6.2 平久保小学校跡地活用事業.....	86
6.3 水産研究所跡地活用事業.....	102
7. 今後の課題.....	117
7.1 持続可能な北部地域・西部地域づくりに向けた地域運営組織の検討.....	117
7.2 導入機能を具体化する検討.....	119
7.3 土地利用・建物利用・建物管理方法を検討.....	120
7.4 今後のスケジュール（予定）.....	122



# 1. 基本構想の大綱

## 1.1 基本構想の目的

本市の北部地域・西部地域は、手つかずの美しい自然が残り、農業、畜産業が盛んな地域であり、また開拓移民による歴史や、独自の伝統文化を有しております。

しかしながら、近年は人口減少が続いており、今後も過疎・高齢化が更に進行していくことが予想され、将来的に地域コミュニティの維持が危惧されております。

その人口減少の影響で、地域社会の中心的な存在であり、地域の交流拠点として重要な役割を果たしていた北部地域の平久保小学校は、令和6年3月に閉校となりました。

また西部地域においては、旧西海区水産研究所石垣庁舎（以下、「水産研究所」とする）の移転から約8年が経過しており、同施設を利活用した地域活性化は、かねてより地域住民の期待するものであります。

これらの背景と、北部地域・西部地域の振興は、第5次石垣市総合計画及び第2期石垣市地域創生総合戦略における本市の主要施策と定められていることから、今回、平久保小学校、水産研究所の利活用を重要プロジェクトとした「石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想」を策定し、地域コミュニティの維持、移住・定住の促進、地域課題の解決、産業振興による地域経済の循環、雇用の創出などを図ります。

また平久保小学校、水産研究所の利活用は、それぞれの地域資源を活かしその役割を果たすことで、北部地域・西部地域に一体的な相乗効果をもたらす拠点を創出することが重要であります。

そのため、本基本構想は、住民意見交換会、関係団体ヒアリング、市民アンケート、事業者ニーズ調査などにより北部地域・西部地域の現状、課題を整理し、他市町村での地域活性化の成功事例や時代の潮流を踏まえ、今後の北部地域・西部地域の活性化の指標となるミッション・ビジョンを明確に設定し、平久保小学校跡地、水産研究所跡地の利活用パターンを検討し、同地域の活性化を図ります。

## 1.2 基本構想対象地域

北部地域は平久保、伊原間、桃里、野底、西部地域は桴海、川平、崎枝の計7地域を本調査の対象地域とします。

なお、住民意見交換会及び関係団体ヒアリングは、本基本構想の目的が平久保小学校跡地、水産研究所跡地の利活用パターンを検討することから、その趣旨を踏まえ、関係する公民館などに対して実施しました。

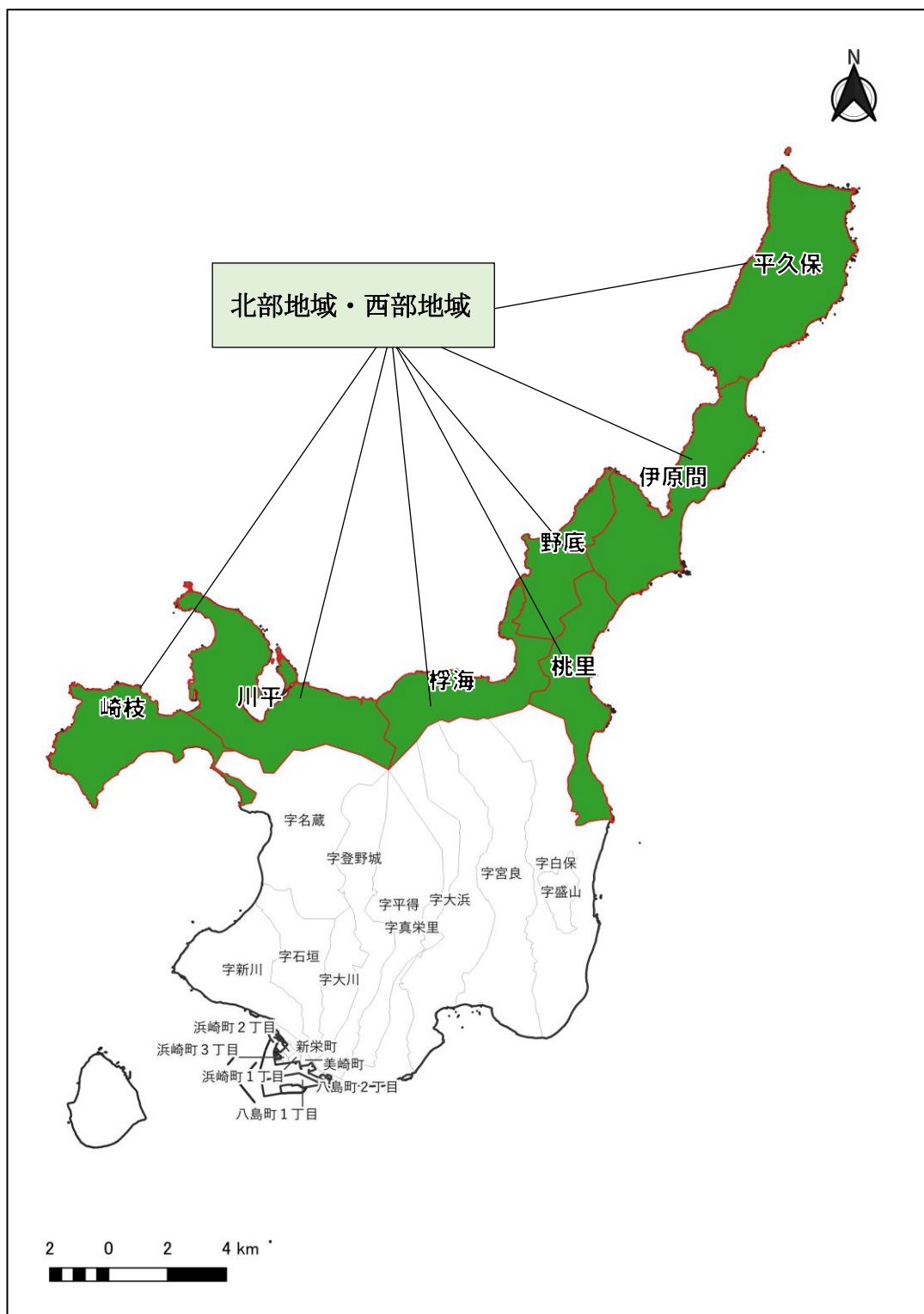
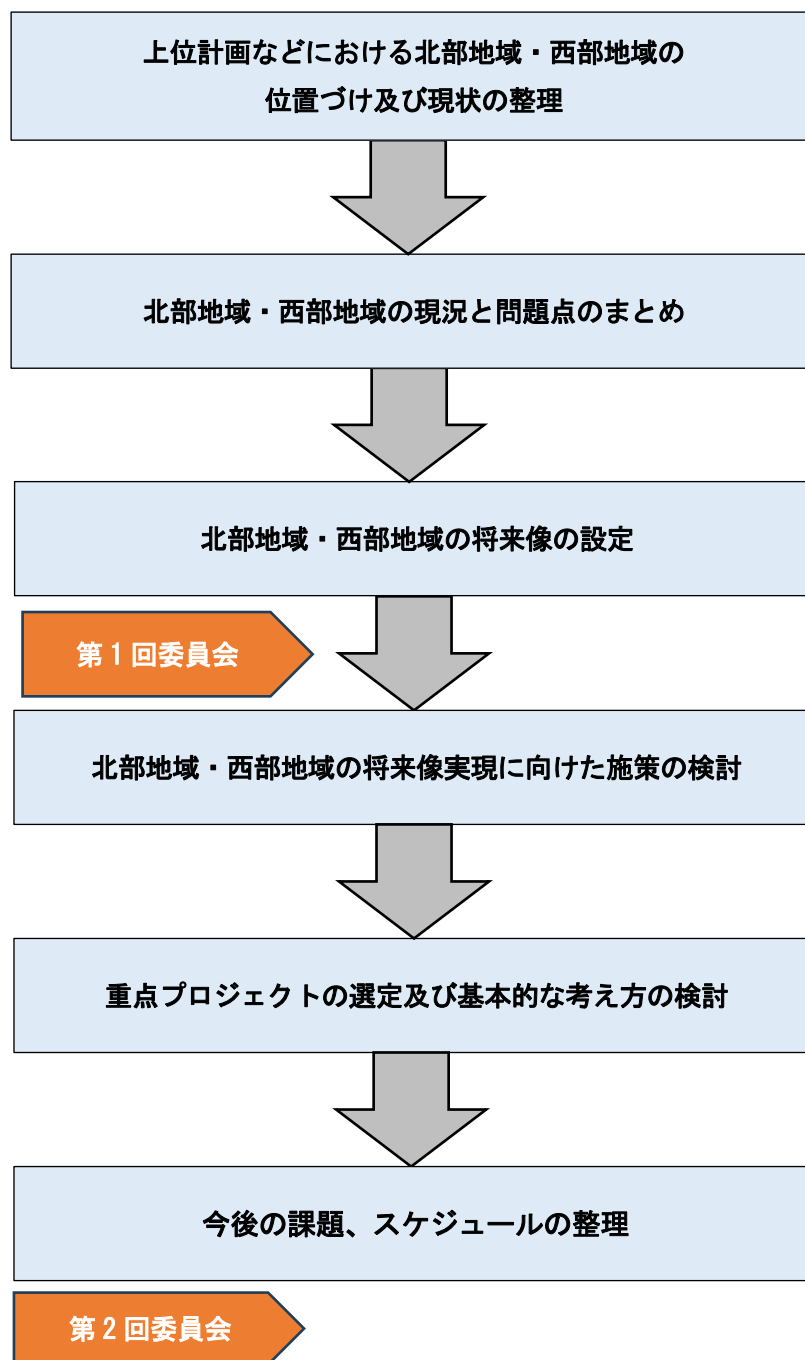


図 1. 北部地域・西部地域対象地域

### 1.3 基本構想のフロー



#### 石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想策定庁内検討委員会

委員長：副市長

副委員長：企画部長

委員：総務部長、市民保健部長、福祉部長、農林水産商工部長、建設部長、教育部長  
財政課長、契約管財課長、企画政策課長、ふるさと創生課長、教育総務課長

## 2. 上位計画などにおける北部地域・西部地域の位置づけ及び現状の整理

### 2.1 上位計画などにおける位置づけ

上位関連計画における北部地域・西部地域に関連する内容について以下に整理します。


#### (1) 第5次石垣市総合計画 基本構想（令和4年3月）

施策	北部地域・西部地域に関する施策と内容
第2章 基本施策	<p>2. 一人ひとりの個性を尊重し、発揮するまち</p> <p>移住・定住については、過疎化が進行する北部・西部地域をはじめとした集落において、産業振興策とともに移住を促進し、地域コミュニティの活性化を図るなど、本市に住みたいという人や本市が求める人材などを、今後とも積極的に受け入れていく</p>

#### (2) 第5次石垣市総合計画 前期基本計画（令和4年3月）

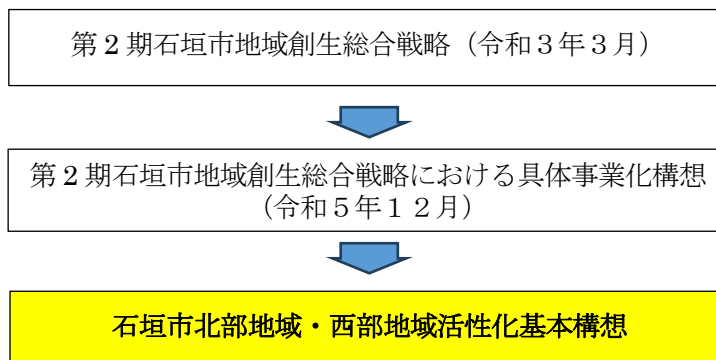
施策	北部地域・西部地域に関する施策と内容
第1章 地域の魅力と活気があふれるまち	<p>1. 地域経済</p> <p>〈現況と課題〉</p> <p>玉取崎をはじめ平久保灯台、御神崎などの優れた眺望や良好な景観があり、訪れる人々の心を癒す“いしがき景観ブランド”の魅力を形成</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>●地域の特色を活かした産業の振興と消費拡大による地域経済循環の活性化、そのための拠点施設が必要</p> <p>〈主な施策〉</p> <p>(1) 「いしがき」ブランドの強化・発信</p> <p>食品や工芸品から環境や生活スタイルまで、本市の有するブランド力をより一層強化するとともに、積極的かつ効果的に発信していく。</p> <p>(3) 担い手の育成・事業継承</p> <p>多様な担い手の確保とその担い手を育成することによって、本市における各産業を持続可能な産業として維持・発展。また、中小企業の事業承継を促進。</p> <p>(4) 6次産業化の推進</p> <p>農林水産業、製造業・建設業、サービス産業間の連携により、生産・加工・流通・販売の一体性や一括化など、産業の複次化（6次化など）による付加価値向上を推進。また、地域振興拠点として加工施設機能を併せ持つ道の駅4などの整備を検討。</p>

施策	北部地域・西部地域に関する施策と内容
	<p>2. 第一次産業</p> <p>〈現況と課題〉</p> <p>本市には沖縄県所管の石垣漁港と本市所管の登野城漁港、船越漁港、伊野田漁港がある。</p> <p>養殖漁業においては、モズク養殖、魚類養殖が盛んだが、台風襲来の多い地域特性のため、海面養殖が主流の養殖漁業は生産量が乱高下傾向にあり、漁業経営は安定しない状況となっている。</p> <p>●天候に左右されない陸上養殖場の活用促進や適切な資源管理及び生産量の安定化</p> <p>〈主な施策〉</p> <p>(6) 漁業の推進</p> <p>養殖漁業については、養殖技術向上のため、天候に左右されない陸上養殖場の活用促進や生産量の安定化に向けた支援。</p> <p>6. 協働・パートナーシップ</p> <p>〈現況と課題〉</p> <p>まちづくりを進めるためには、市民相互、市民と行政の連携と協力が基本。</p> <p>地域における様々な市民活動は、地域課題の解決、地域文化の継承の基礎。</p> <p>●様々な団体・組織などとの連携・協働による新たな福祉（「自助・共助・公助」）体制が必要</p>
第2章 一人ひとりの個性を尊重し、発揮するまち	<p>6. 移住・定住</p> <p>〈現況と課題〉</p> <p>将来的に見込まれる人口減少の流れを食い止め、持続可能な地域社会を実現するため、移住・定住の促進を図っている。</p> <p>市街地が南部地域に集中して形成されており、北部・西部地域をはじめとした各集落の過疎化が進行。</p> <p>●人口減少や高齢化が進行した場合に懸念される公共サービスの低下や地域コミュニティの維持が困難になるなどの課題の解決に向けた、移住政策などの対策が必要</p> <p>●石垣市地域創生総合戦略に沿った移住政策や産業政策などの総合的な取組が必要</p>

施策	北部地域・西部地域に関する施策と内容
	<p>●北部・西部地域をはじめとした各集落における産業振興と人口増対策が必要</p>  <p>玉取崎展望台からの風景</p> <p>〈主な施策〉</p> <p>(3) 北部・西部地域などの振興</p> <p>過疎化が進行している北部・西部地域をはじめとした各集落については、産業振興を進めることなどにより活性化を図り、移住者の定住と地域コミュニティの活性化を促進。</p>
<p>第3章 安全で快適に生活できるまち</p>	<p>1. 住環境</p> <p>〈現況と課題〉</p> <p>玄関口を有するものの、市民の日常生活においては利用者の減少によるバス路線の維持の難しさや、地域住民の高齢化の進行に伴う交通手段を持たない交通弱者の増加、市内の一部地域における「公共交通空白地帯34」の課題が生じている。</p> <p>▼</p> <p>●「公共交通空白地帯」の解消が必要</p> <p>〈主な施策〉</p> <p>(7) 公共交通の利便性向上</p> <p>MaaS、さらには自動運転の導入など、新しい交通への取組のほか、スクールバスなどの多様な輸送資源を最大限活用する取組も検討。</p>

(1) 第2期 石垣市地域創生総合戦略及び具体事業化構想

令和2年度に策定された第2期石垣市地域創生総合戦略を踏まえ、令和5年度には「第2期石垣市地域創生総合戦略における具体事業化構想」を策定し、さらに本基本構想において、その主要施策の具体化に向けた検討を行います。



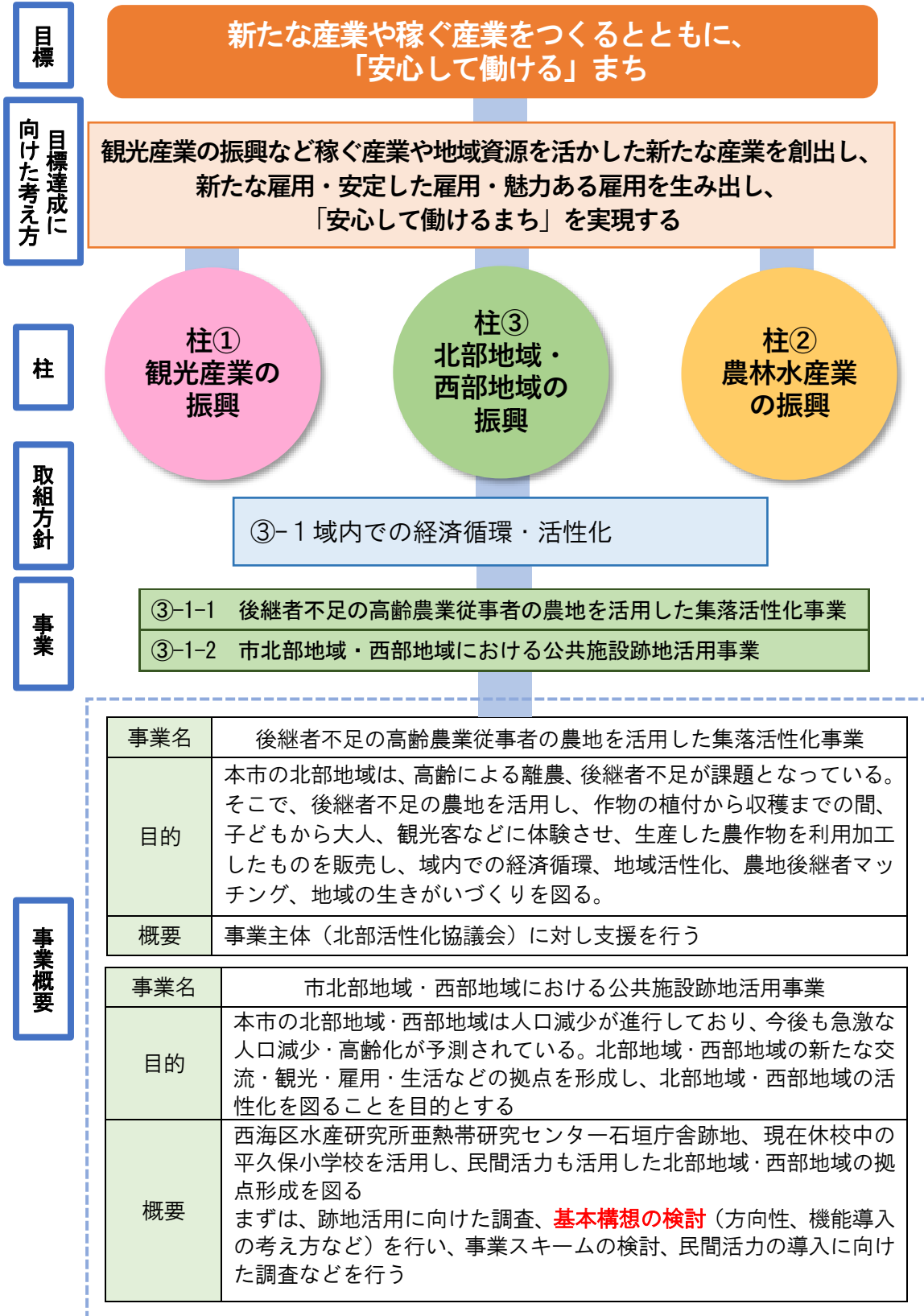
① 第2期 石垣市地域創生総合戦略（令和3年3月）

施策	位置づけと内容
石垣市地域創生総合戦略	基本目標1. 新たな産業や稼ぐ産業をつくとともに、「安心して働ける」まち 主要施策（1）地域の強み・特色を活かした産業の振興 ・八重山地域の恵まれた自然環境や独自の芸能文化などの地域資源を活かし、観光産業の振興、雇用の確保・創出、さらには地域の稼ぐ力の向上を図る。

施策	位置づけと内容
石垣市地域創生総合戦略	基本目標2. 豊かな自然や文化を守り、「ここで暮らしたいと実感できる」まち 主要施策（3）移住・定住の促進 ・移住・定住の促進に向けた取組みを継続して取り組む ・特に人口減少が著しい地域においては、住宅事情などの地域情報を移住相談者へ提供できるよう移住相談業務の充実に取り組む 主要施策（4）関係人口・交流人口の拡大 ・移住・定住に向けたきっかけとなることから、移住の裾野拡大に向けて、本市に継続的に多様な形でかかわる関係人口・交流人口の拡大に向けた取組みを推進

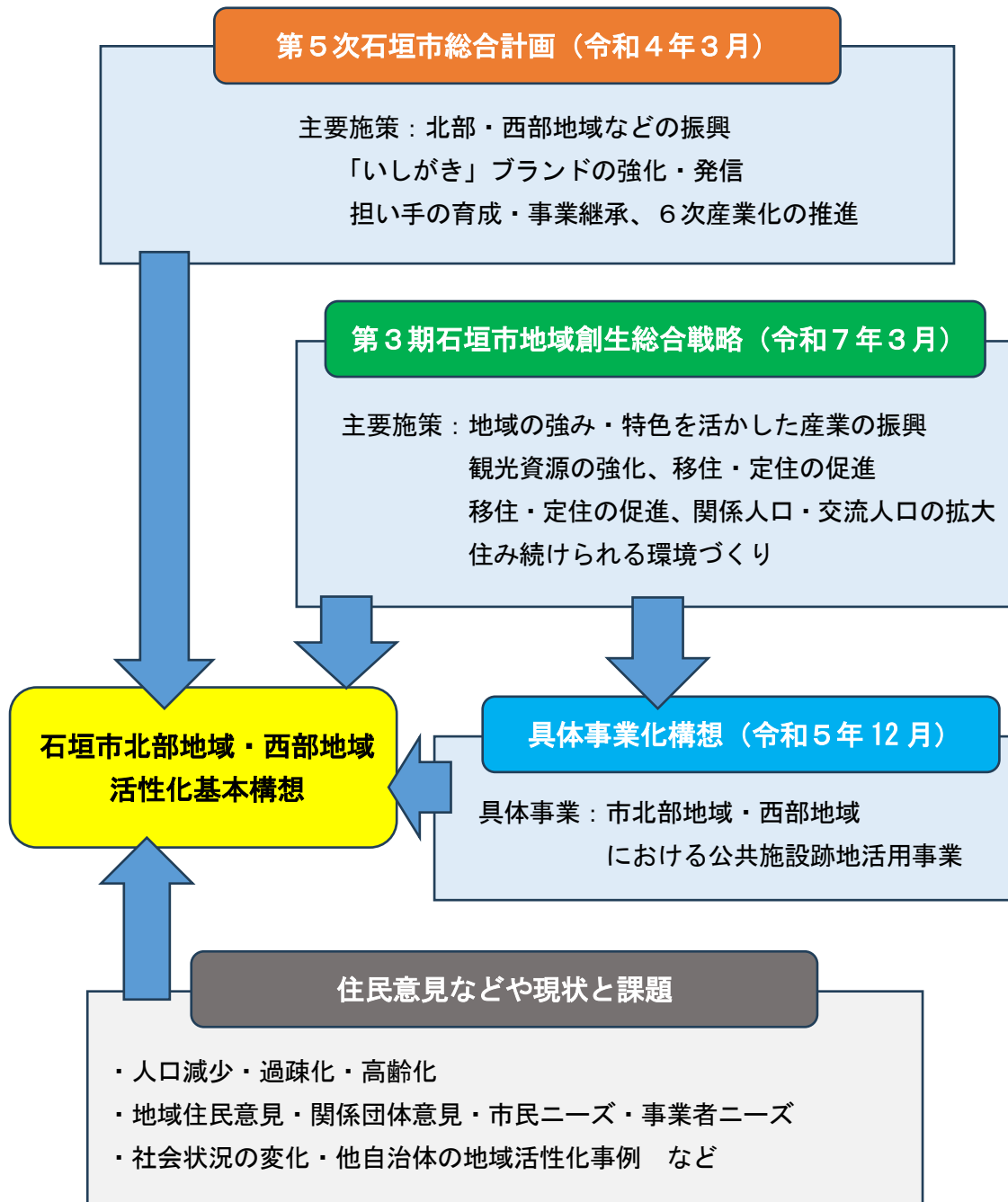
②第2期石垣市地域創生総合戦略における具体事業化構想（令和5年12月）

※第2期石垣市地域創生総合戦略の基本目標である「新たな産業や稼ぐ産業をつくるとともに、安心して働けるまち」の実現のために主要施策の具体化を、様々な観点から検討し、事業化に向けた道筋を示した構想となっています。



(2) 上位計画などにおける北部地域・西部地域の位置づけのまとめ

上位計画などにおける北部地域・西部地域の位置づけをまとめると、次の通りです。



## 2.2 北部地域・西部地域の集落分布

石垣市の集落について下記に示します。概ね各集落に公民館を設置しています。

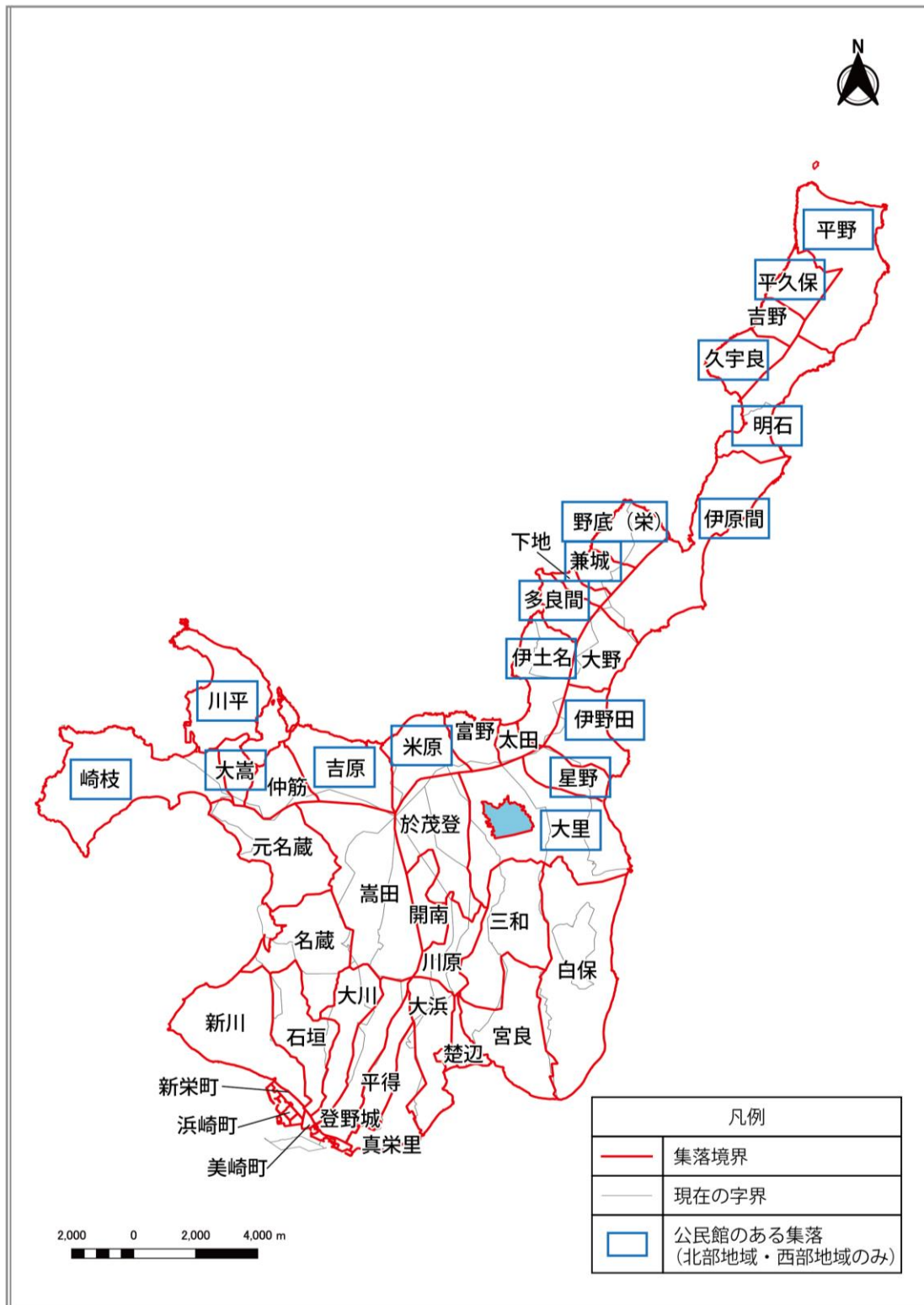


図 2. 石垣市集落地

出典：沖縄県石垣市農業集落境界データセット  
(<https://geoshape.ex.nii.ac.jp/ma/resource/47207.html>)

各集落の人口・世帯数は下図の通りです。



図 3. 集落別人口及び世帯数

出典：人口動態. 令和6年9月末現在  
(石垣市市民保健部市民課)

## 2.3 北部地域・西部地域の人口動向

### (1) 北部地域・西部地域の人口の推移

10年間の人口の推移を下記に示します。

H29からR4の推移をみると、桃里地区と野底地区以外は減少しています。

市全体の推移はH29からR4で0.5%増加しています。

北部地域・西部地域は全体に比べて、減少率が高い傾向にあります。

表 1. 25～R4の石垣市の人口推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H29→R4 増減	
											人	%
崎枝	132	140	155	153	152	142	144	131	129	134	-18	-11.8
川平	900	923	946	1,004	988	1,005	975	979	960	933	-55	-5.6
桴海	258	295	298	263	273	270	264	261	247	250	-23	-8.4
桃里	356	352	344	339	323	305	316	313	320	326	3	0.9
伊原間	329	320	331	334	329	329	322	327	291	281	-48	-14.6
平久保	145	139	143	144	139	143	150	137	131	112	-27	-19.4
野底	303	314	323	329	320	334	312	324	330	333	13	4.1
総数	2,423	2,483	2,540	2,566	2,524	2,528	2,483	2,472	2,408	2,369	-155	-6.1
市全体	48,577	48,808	48,910	49,160	49,265	49,380	49,550	49,801	49,840	49,510	245	0.5

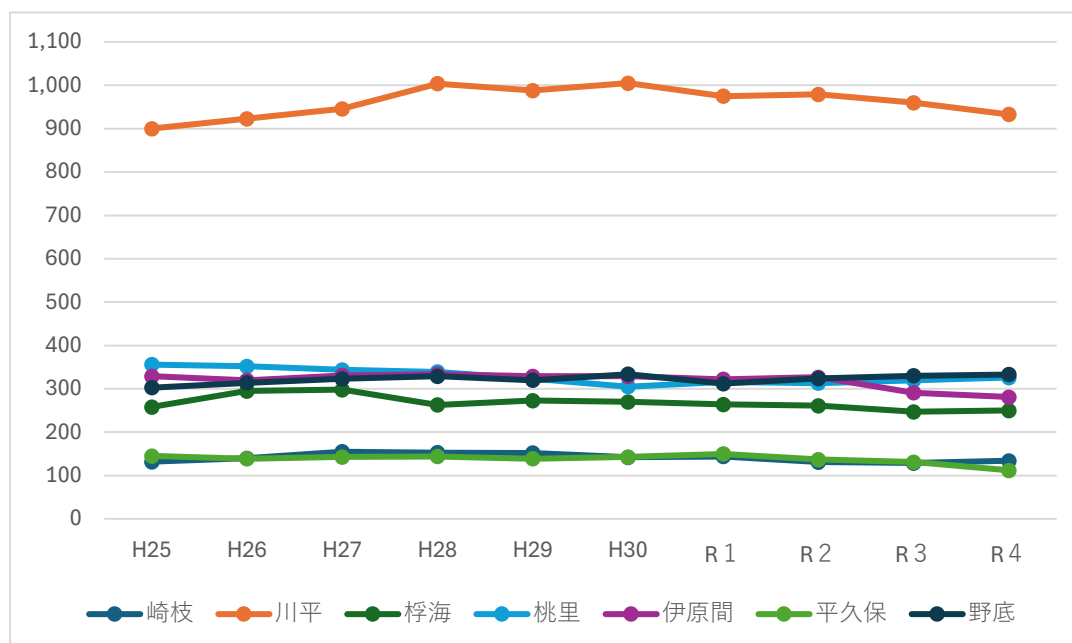


図 4. 25～R4の石垣市の人口推移

出展：石垣市 HP\_統計いしがき

(<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/dx/12/4483.html>)

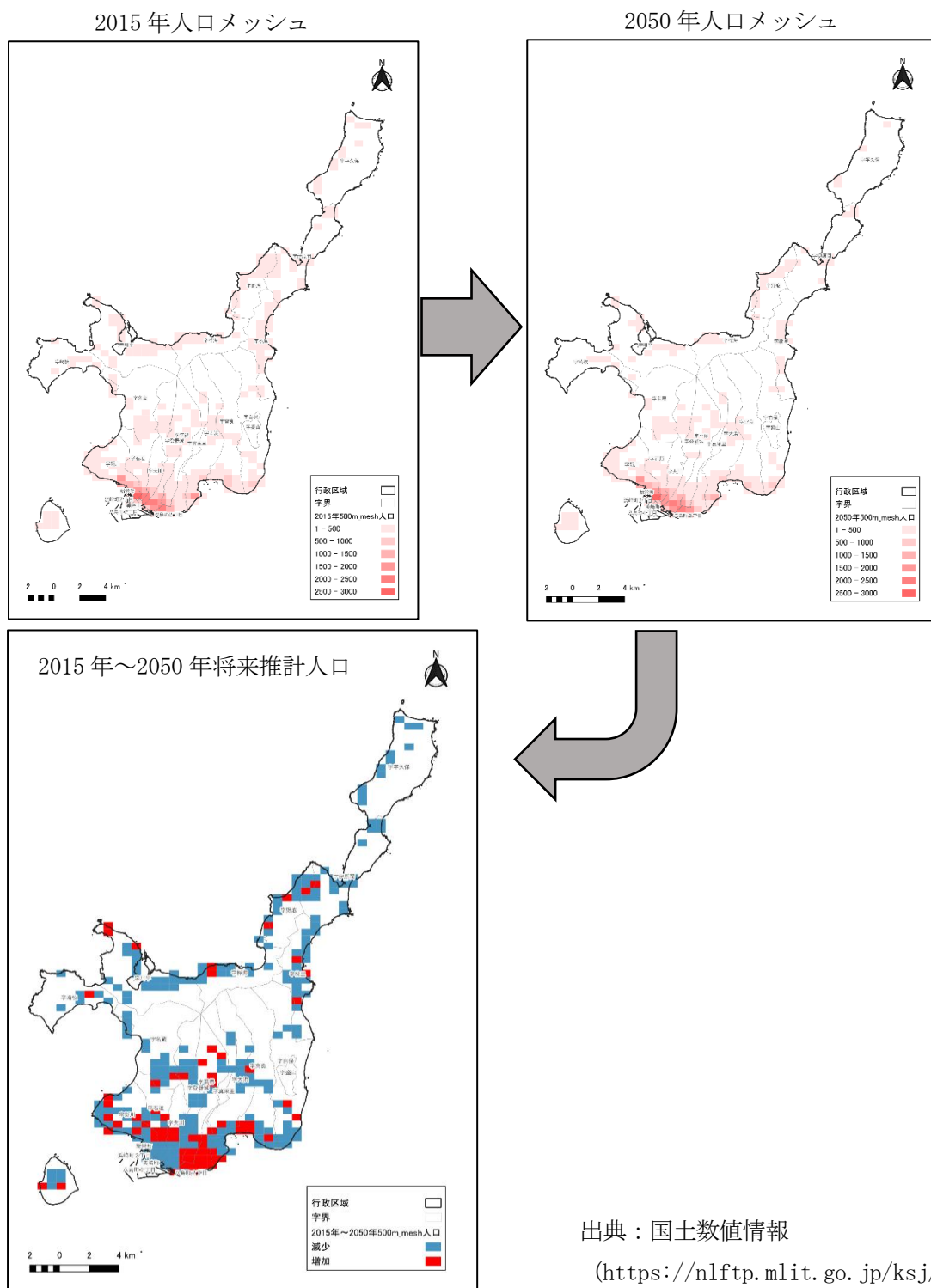




#### (4) 500mメッシュ別将来推計人口

2015年と2050年の人口メッシュを比較すると、2050年には北部地域・西部地域は白地が増えていきます。一番下の図は、人口の増減を示しました。北部地域・西部地域は減少しているところが多いのが分かります。

※500mメッシュ人口とは、地域を500m四方に区切った区画（メッシュ）単位に、整備したデータのこと。人口密度の高い地域と低い地域の特徴をつかみやすく、どこに人口が集中しているかを把握できる。



出典：国土数値情報

(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)

図 7. 将来推計人口

## 2.4 土地利用現況

### (1) 土地利用現況図

北部地域・西部地域は、畑、山林が多く、中心部に住宅が集中しています。

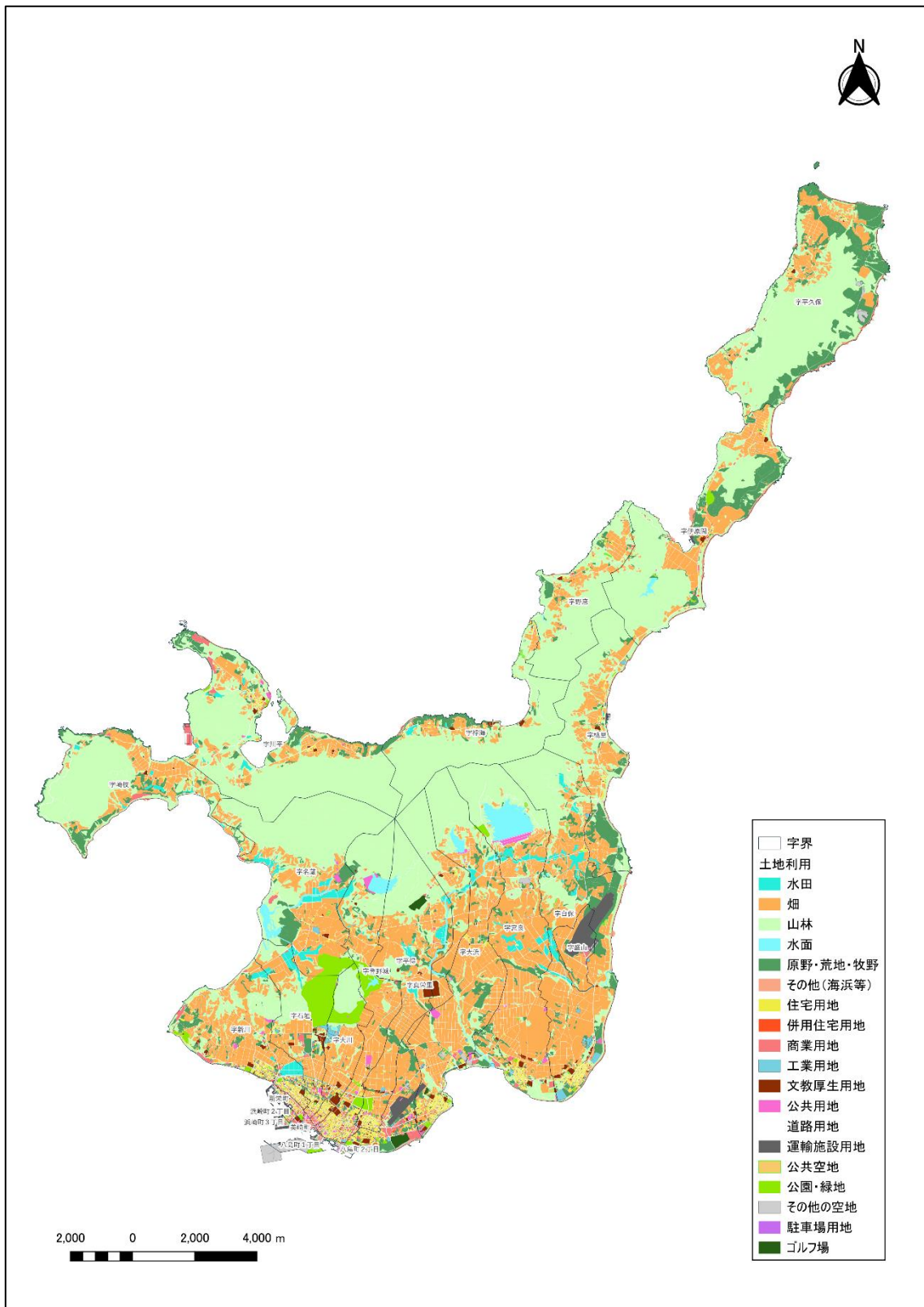


図 8. 土地利用現況

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)

## (2) 土地利用細分メッシュ

北部地域・西部地域は、森林、農用地が多く、農用地の中に建物（集落）が点在しています。

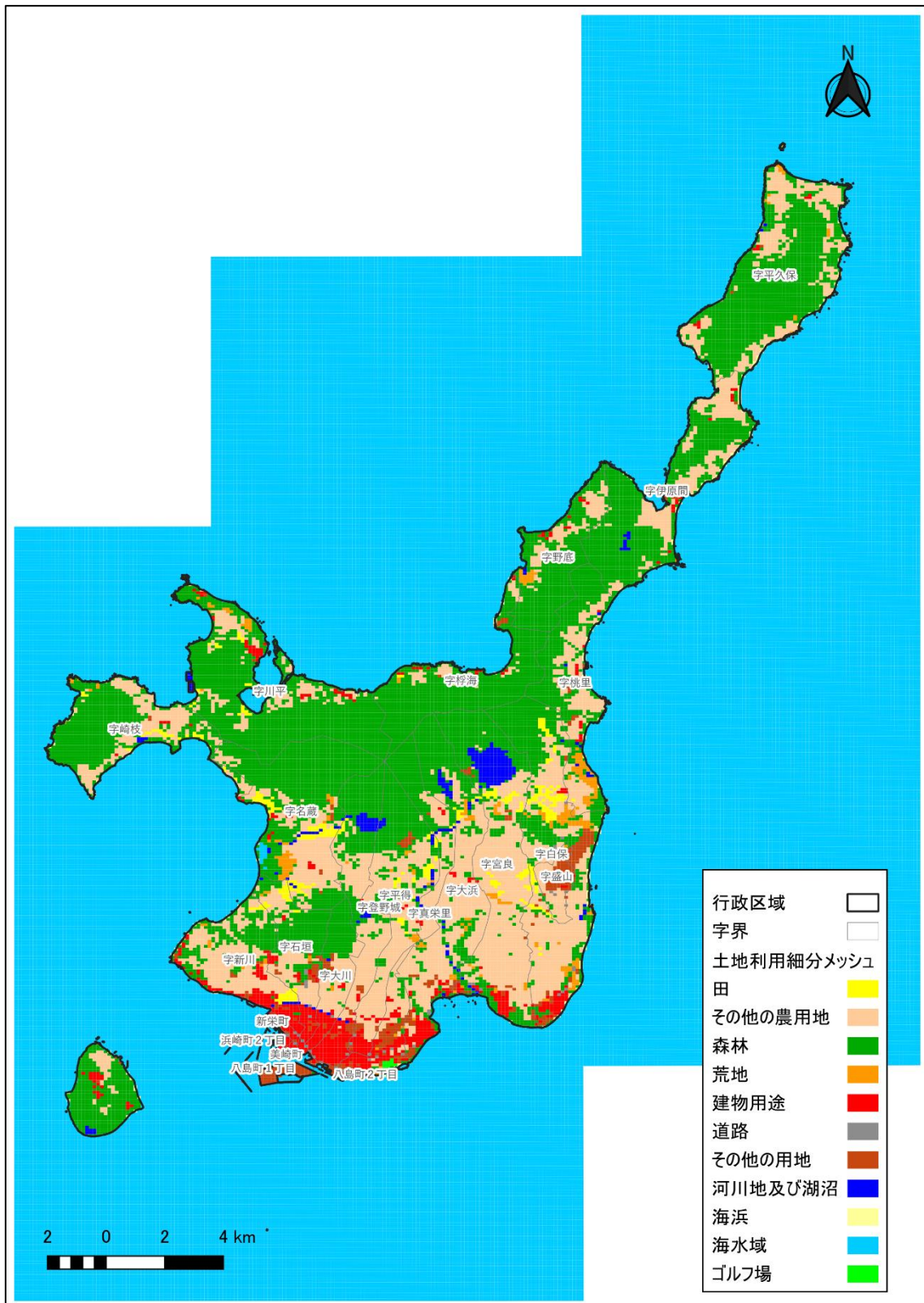


図 9. 土地利用細分メッシュ

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)

## 2.5 施設立地状況の整理

### (1) 対象跡地及び学校、公民館など

公共公益施設の立地状況をみると、中心部には公民館の他にも役所や公共公益施設が立地していますが、北部地域・西部地域は、公民館、小学校のみです。

学校は中心部に集中しています。北部地域・西部地域の各地域に小学校は立地していましたが、平久保小学校が閉校になったので平久保地域のみ小学校が無いです。

いのだ幼稚園・あかし幼稚園・のそこ幼稚園・伊原間保育所を集約する「いばるまこども園」を着工しています。

なお、基本構想の対象跡地は下図に示す通りです。

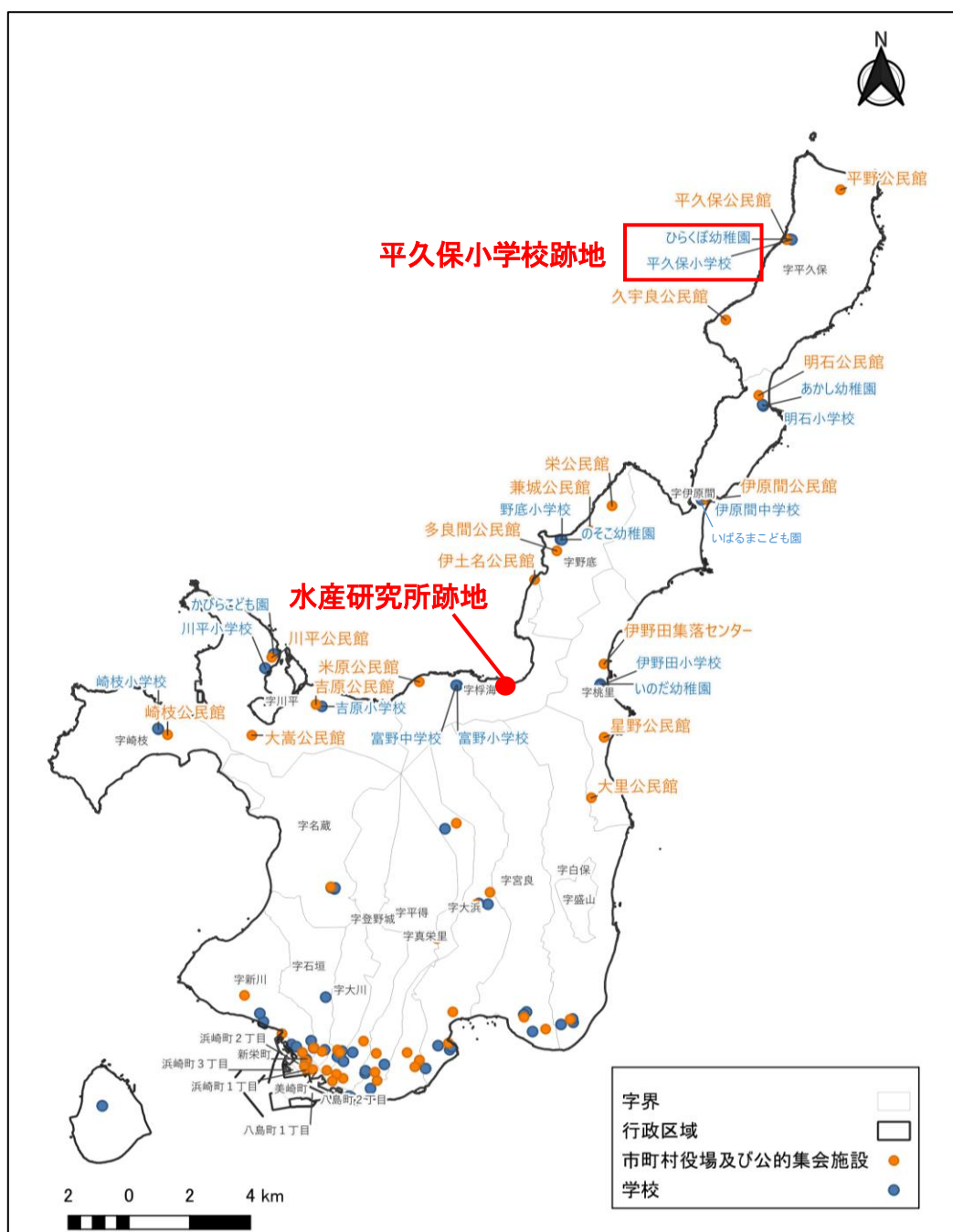


図 10. 跡地及び公共公益施設の立地状況

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)



### (3) 介護施設、文化施設

介護施設は中心部に集中していて、北部地域・西部地域には2か所のみです。

文化施設は北部地域・西部地域にはキャンプ場のみだが、米原キャンプ場は2022年に閉場しているため、現在は、伊野田キャンプ場のみです。

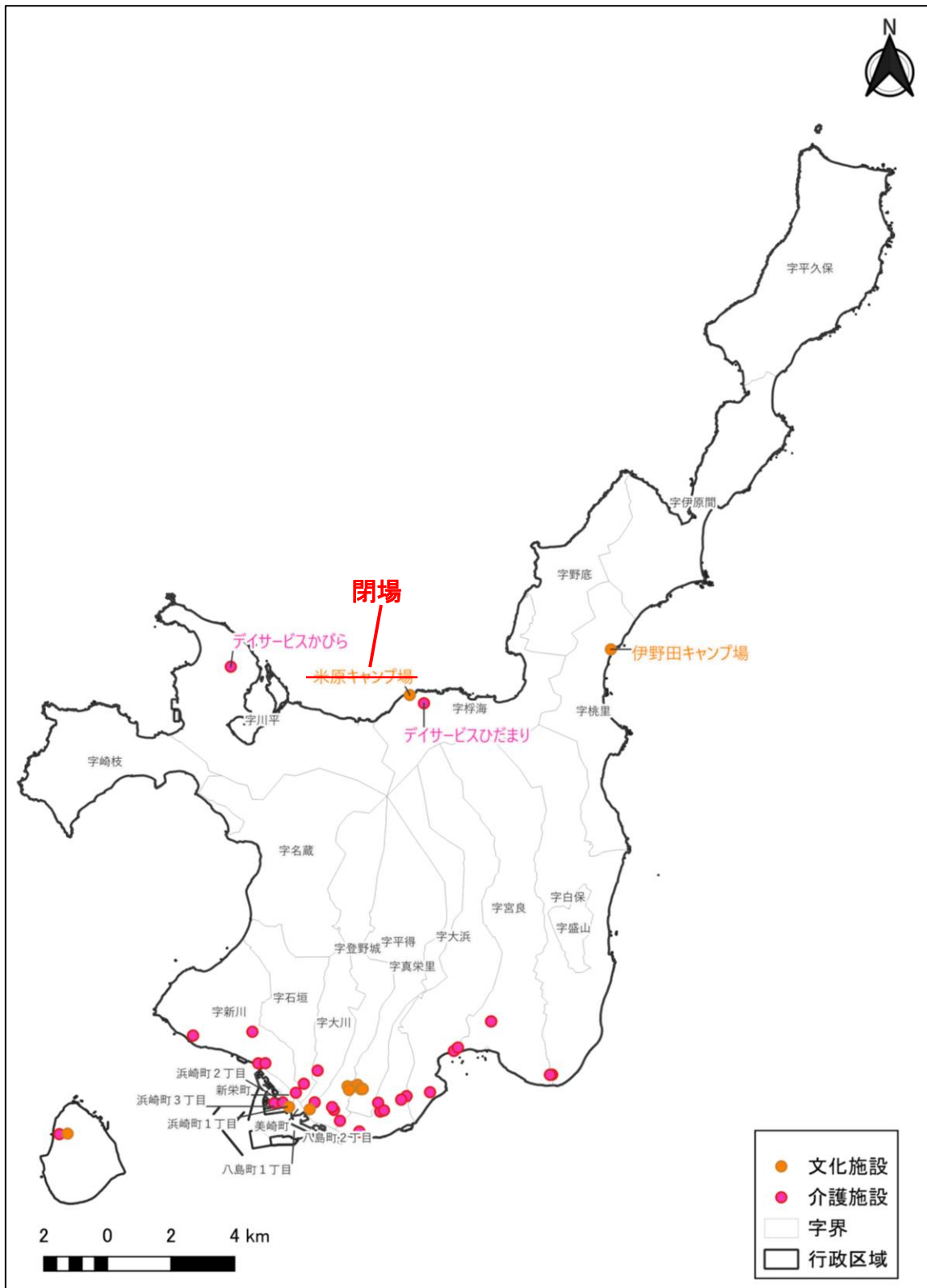


図 12. 介護施設、文化施設の立地状況

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)



## (5) 観光資源

島全体が観光資源になっています。北部地域・西部地域は自然を楽しむ観光スポットが多く、飲食店、ホテルが少ないです。

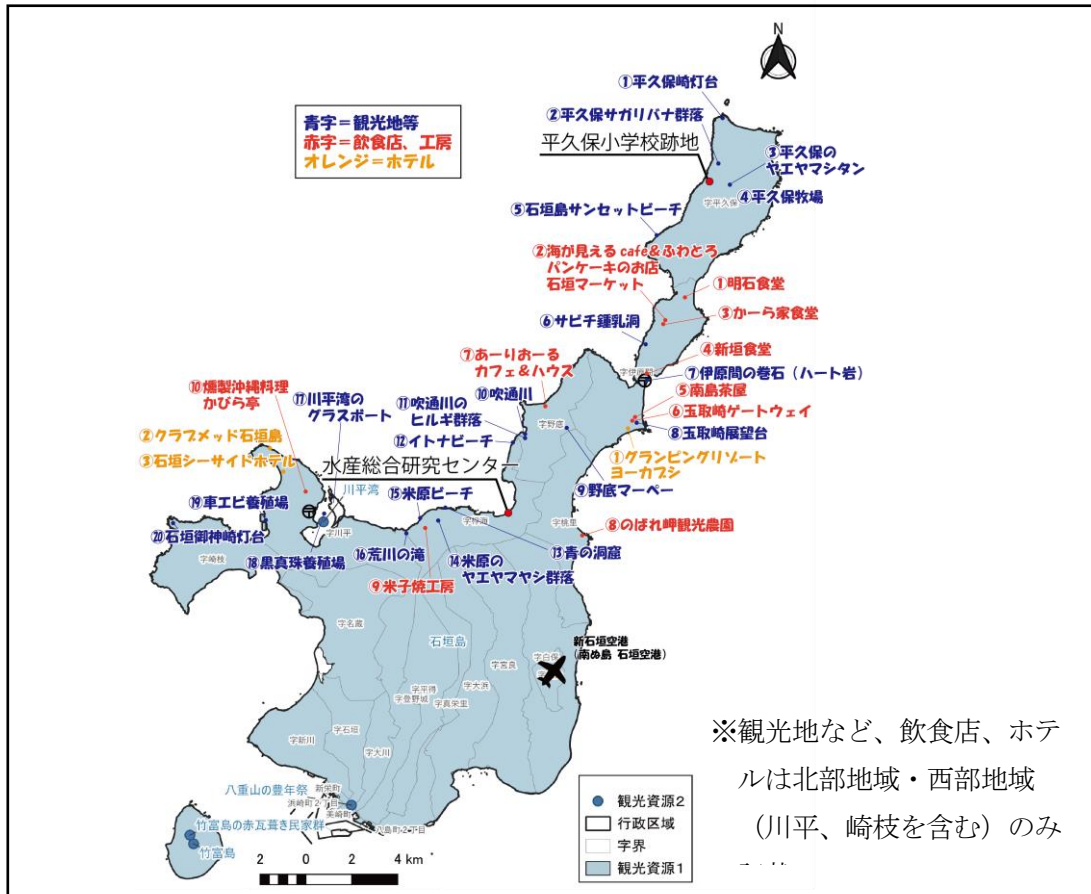


図 14. 観光資源、観光スポット

## (6) 宿泊容量メッシュ

北部地域・西部地域にも宿泊施設があるが、中心部に比べると少ないです。

※宿泊容量メッシュとは、500mメッシュ内の収容可能人数のことであり、500mメッシュ内に立地するホテルの部屋数（宿泊可能人数）を整備したもの。

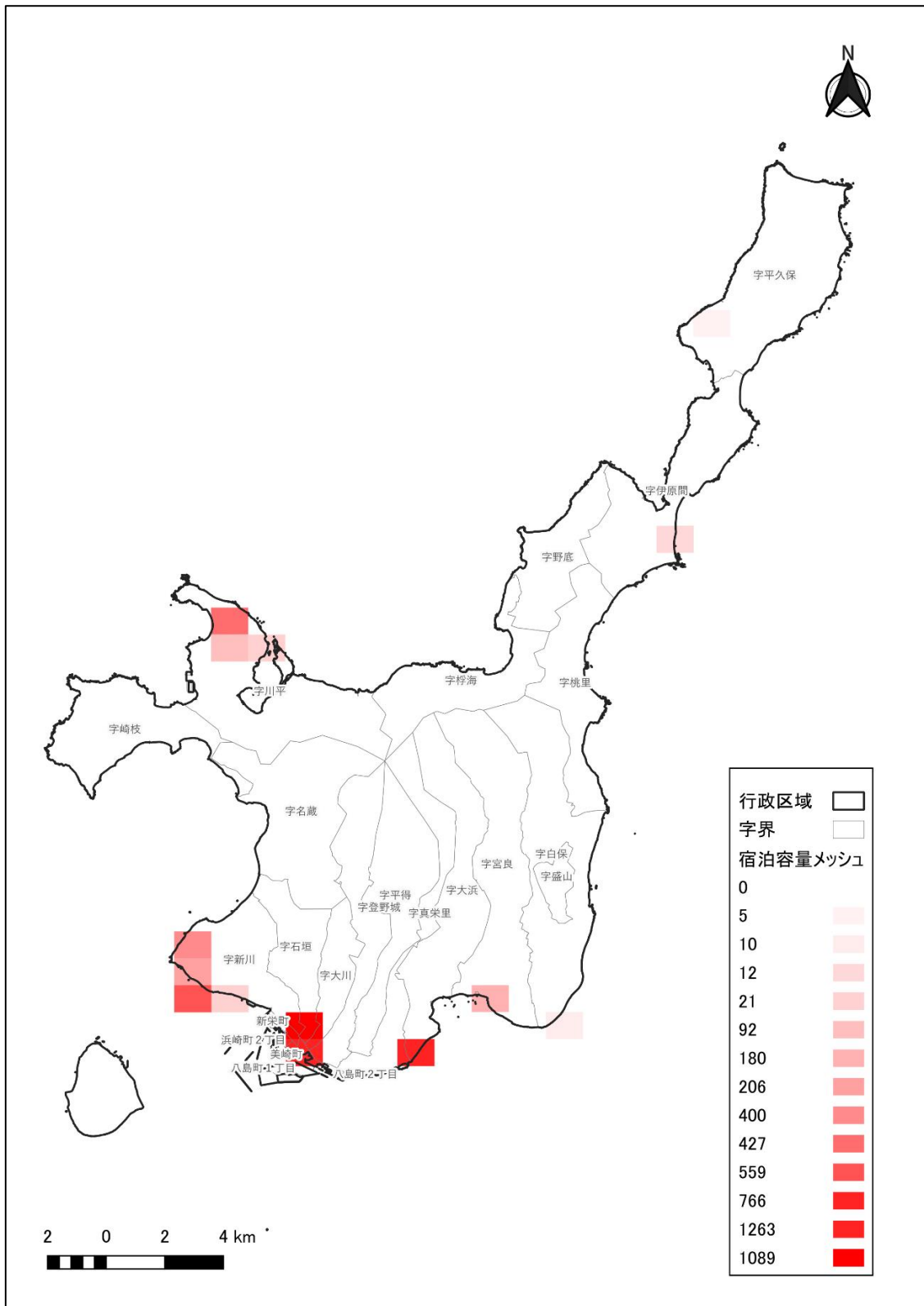


図 15. 宿泊容量メッシュ

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)



### (8) 漁港

北部地域・西部地域には船越漁港と伊野田漁港の2か所があります。

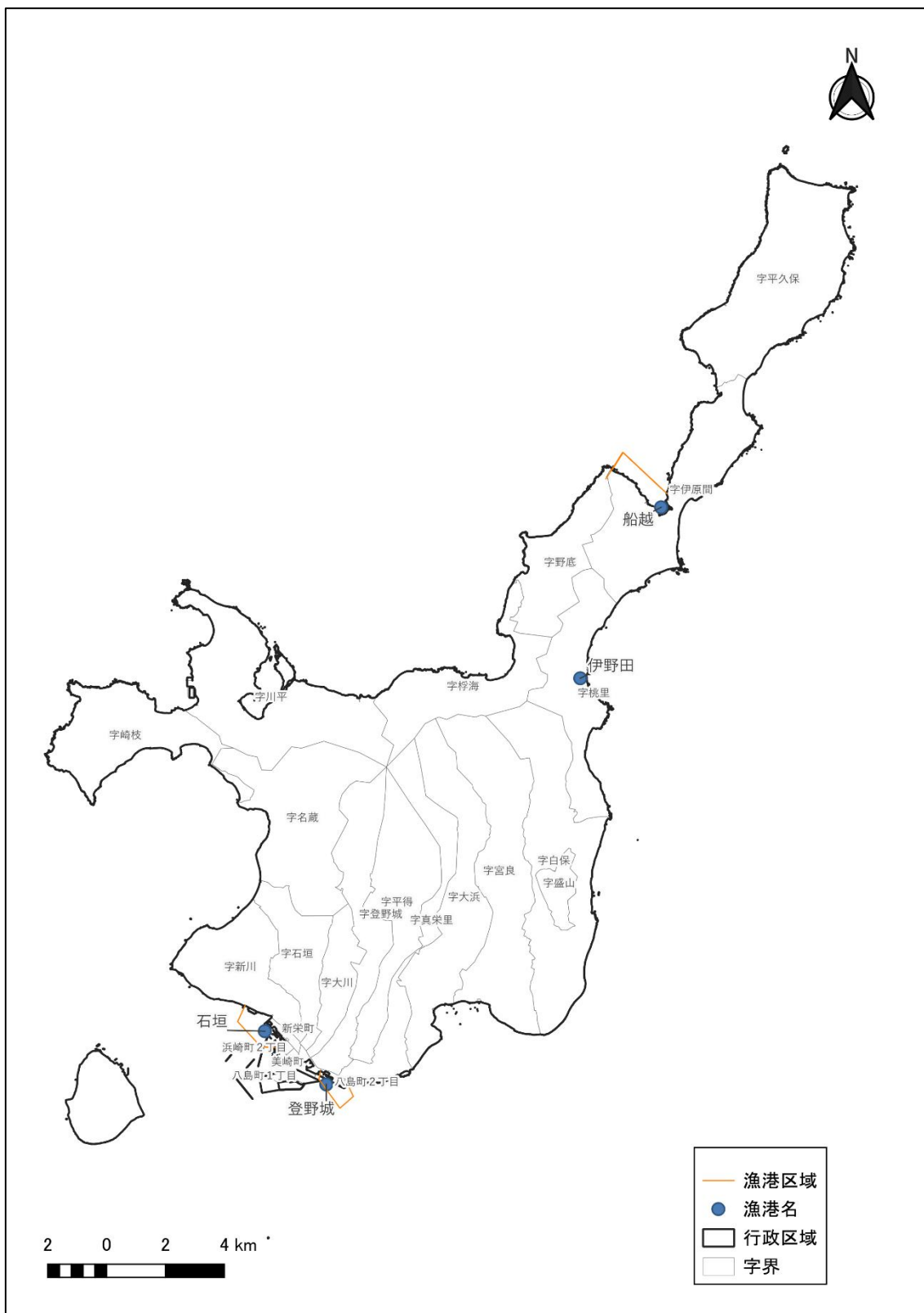


図 17. 漁港の立地状況

出典：国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)

## 2.6 意見交換会などから見た地域の現状と望まれる機能

### (1) 意見交換会などの履歴

北部地域・西部地域の問題点や良い所、及び将来像について、地域住民や関係団体の意見を把握するため、次のように意見交換会を実施しました。

表 3. 意見交換会などの履歴

日付	対象	出席人数	意見交換会の内容
9月17日	久宇良公民館	地域住民：6名	①北部・西部地域について ②まちづくりの将来像 ③将来ビジョン
9月18日	平久保公民館	地域住民：16名	
9月18日	明石公民館	公民館役員：4名	
9月18日	地域おこし協力隊	地域おこし協力隊：1名	
9月18日	石垣市観光交流協会	石垣市観光交流協会：2名	①北部・西部地域について ②まちづくりの将来像 ③将来ビジョン
9月18日	石垣市商工会	石垣市商工会：1名	
9月18日	八重山青年会議所	八重山青年会議所：4名	
9月24日	平野公民館	地域住民：13名	
10月7日	兼城公民館 (兼城・下地・栄・多良間・伊土名)	地域住民：(下地)5名 (栄)2名 (伊土名)6名 (兼城)2名	
10月8日	富野公民館 (富野・米原・大田)	地域住民：(富野)10名 (米原)6名 (大田)6名	
10月8日	大里公民館	公民館役員：1名	
10月9日	伊野田公民館	公民館役員：2名	
10月15日	星野公民館	公民館役員：7名	
10月17日	伊原間公民館	公民館役員：14名	

(2) 北部地域及び平久保小学校跡地に関する意見

① 良いところ

意見交換先	意見
久宇良公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市で唯一自然が残っている</li> <li>・星空が綺麗</li> </ul>
平野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か</li> </ul>
明石公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入植日はみんなが集まりお祝いを行う</li> <li>・ビーチクリーンをしている</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サガリバナの開花式があり、観光客の滞在理由にもなる</li> <li>・街灯が少なく星空が綺麗</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が多い</li> <li>・新しい事業を構築しやすい</li> </ul>

② 改善すべきところ

意見交換先	意見
久宇良公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料などが備蓄された避難所であった為、活用するにしても代わりとなる避難所を設けて頂きたい</li> <li>・観光客の車の速度が速い為、これらに対する規制も設けてほしい</li> <li>・ホテルの建設で自然環境が破壊されないか危惧している</li> <li>・北部はトイレが平久保小学校しかないので、灯台に向かうまでが不便</li> <li>・病院が周辺にないので、八重山病院まで通っている</li> <li>・観光客によるビーチのゴミやジェットスキーなどの問題がある</li> <li>・観光客によるゴミや騒音などの問題に対応していく為にも、条例などを作り北部地域の環境を守っていききたい</li> </ul>
平久保公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅が少ない</li> </ul>
平野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難のことを考えて、体育館の耐震化をしてほしい</li> <li>・自然が少なくなってきた</li> </ul>
明石公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者のニーズに対し、住宅の供給が少ないので住める場所がない</li> <li>・リゾート開発により自然が破壊されないか危惧している</li> <li>・多良間田では、放牧をしなくなり、草が生い茂って車が侵入しづらい、維持管理が追い付いていない</li> </ul>
伊野田公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設の送迎を充実させてほしい</li> <li>・野底に売店がない</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロードの管理が行き届かず草木が生い茂り観光客が車で通行する際に、レンタカーに傷がつくというクレームがある</li> <li>・住む場所がない</li> <li>・トイレがない</li> <li>・駐車場がない</li> <li>・明石一本松野菜直売所が高齢化により出荷量が減少している</li> <li>・不動産売買が盛んではない</li> <li>・北部農村集落活性化協議会は、移動販売も行っていたが今は買い物代行のみ</li> </ul>

意見交換先	意見
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次避難場所に指定されているが、体育館が老朽化している</li> <li>・北部周辺にはトイレなどが少ないので、平久保小学校のトイレを利用している</li> <li>・道路が曲がりくねっていて、通行しづらい（速度が出せない）</li> <li>・何も無いのが北部地域の魅力ではあるが、何も無いため、空いた空間に最低限の都市施設などの立地が望ましい</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段を持たない高齢者からは、インフラ整備（バス・道路）が不十分という話を伺った</li> <li>・中心市街地よりスーパーなどの施設がなく不便</li> <li>・住む場所が少ない</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の人が遊べるマリンアクティビティなどが無い</li> </ul>
星野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域のトイレ整備は大きな課題。星野売店横のトイレは売店で、維持費を負担している</li> <li>・平久保灯台の駐車場課題</li> <li>・観光立市として、駐車場、道路、案内看板、トイレなどの基本的なライフラインは整備すべき</li> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・北部の人は、市街の方より様々な負担がかかっているため、その側面を見てほしい</li> </ul>
伊原間公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロードを道路に格上げしてほしい</li> <li>・平久保灯台の駐車場を整備してほしい、渋滞して通れない</li> <li>・玉取崎灯台の案内版を設置してほしい、レンタカーが入口が分からず急ブレーキをする</li> <li>・トイレの問題は、すぐにでもどうにかしてほしい</li> </ul>

### ③将来像

意見交換先	意見
久宇良公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティ空間</li> <li>・地域の人にとってビジネスを広げられる環境の場</li> <li>・ITの拠点</li> </ul>
平久保公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティや文化が継承できるまち</li> <li>・子供があふれ活気で賑わうまち</li> </ul>
平野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの場</li> <li>・観光客誘致ではなく、地元の人のための場所</li> </ul>
明石公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが集う場所</li> <li>・自然を生かした空間</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者も含め、集落行事の継続・継承できるまち</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が訪れつつ、地域住民との交流もあるまち</li> <li>・子供が喜ぶ空間</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活かしたまち</li> <li>・富裕層で良識のあるお客さんが訪れてくれるようなまち</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣島の新たな産業創出の拠点</li> <li>・地域住民の理解を得つつ新たな産業を創る</li> </ul>

④ 平久保小学校跡地活用で望む機能など

意見交換先	意見
久宇良公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問看護・訪問介護の拠点</li> <li>・ 教室をテナントとして貸して、地域の人に事業をしてもらう</li> <li>・ 多目的で地域の人が集い利用できるような施設</li> <li>・ 桜を植え公園・花の都として活用</li> <li>・ 裏の備品室を住居（1部屋1ルーム程度の部屋サイズ）として活用（定住先を北部地域で用意して、地域の人口を増やしていきたい）</li> <li>・ 道の駅を作って、観光客に立ち寄ってもらう</li> </ul>
平久保公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の家のような公共的な活用</li> <li>・ 高齢者が多く、送迎にも時間がかかるため、介護施設として跡地活用をしたい</li> <li>・ 交流拠点として道の駅や、飲食店や介護施設などの色々なテナントが入るような複合施設</li> <li>・ 災害時の避難所として現在も使用していることから、今後も活用できる方向で考えて頂きたい</li> <li>・ 移住者に対しての住居</li> </ul>
平野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化が進む中、高齢者の送迎に時間がかかるため介護施設などを整備</li> <li>・ 介護施設の他にコミュニティセンターなどの複合施設</li> <li>・ 給食室を利用して市民に料理を提供する</li> <li>・ 雇用が発生する商業施設を誘致した上で宿舎もセットで用意すれば定住促進を図り活性化になるのではないかと</li> </ul> <p>【以下、平野公民館アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイサービスを含めた高齢者福祉施設 12名</li> <li>・ 地元のためのコミュニティ施設 6名</li> <li>・ グラウンドゴルフ施設 7名</li> <li>・ 道の駅 5名</li> <li>・ 住宅 2名</li> <li>・ 青少年の家 2名</li> <li>・ 職業訓練校 1名</li> <li>・ ギャラリー 1名</li> </ul>
明石公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平屋の市営住宅並みのアパート</li> <li>・ 給食施設の活用と、青少年の家</li> <li>・ 郷土料理の体験（島豆腐作り、サーターアンダギー作り）</li> <li>・ 共同民泊</li> <li>・ ピアノがあるので、空港ピアノや駅ピアノを参考に定点カメラを設置して地域のゆんたく広場</li> <li>・ 北部地域でハイキングコースの整備</li> <li>・ 芝生でフリーマーケット</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用有償旅客運送制度（条件付きで自家用車による運送を認める制度）</li> <li>・ 見守りサービス付帯サステナブルショップの運営</li> <li>・ 北部農業生産者によるGSA（地域支援型農業）システムの構築</li> <li>・ 多良間田跡の活用</li> </ul>

意見交換先	意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロードの整備</li> <li>・住宅整備</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リゾート誘致で雇用が増え、移住者により子供も増える</li> <li>・最北端の平久保にスタンプラリーを設ける</li> <li>・会社の研修場所、研修旅行や修学旅行の場所（サンゴ植え付けなどの観光学習）</li> <li>・運動場は残す計画が望ましい</li> <li>・映画、ドラマなどのロケ地などで活用</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化と言えば観光産業が思い浮かぶので、持続可能な観光や SDGS のように開発と保全のバランスを保ちながら跡地活用を行う</li> <li>・過疎化・高齢化解消のための活用（外から人を呼び込む方法として、介護サービス関係の人材を集める）</li> <li>・外国人労働者のための宿泊・居住施設</li> <li>・星空ツアーなどの自然の提供</li> <li>・サテライトキャンパスなど学生が学べる場所として提供</li> <li>・学生などが研究開発や学ぶ場所として利用</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設</li> <li>・ロケット発射場</li> <li>・国際学術交流拠点</li> <li>・体育館をドローン訓練場にする</li> </ul>
星野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設、介護サービスをうける施設は必要</li> <li>・防災面をカバーできる施設</li> <li>・北部地域限定の空港までピストン運行する無人バスを整備</li> <li>・平久保小で、自然体験学習施設</li> <li>・子どもの数が少ないので、自衛隊の宿舎も来てほしい</li> <li>・平久保小跡地は、食品を売る場所がよいのでは</li> <li>・住民が減り続けている、若い人に来てほしい。八島町にあるような（2階建て）市営住宅がいい</li> <li>・伊原間の住居の取り組み（ジャカコン）はいいのでは</li> </ul>
伊原間公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館</li> <li>・中でワークショップができる施設。文化に触れることができる施設</li> <li>・給食室にお年寄り、子供が集える場所</li> <li>・平久保小跡地の一部を住宅</li> <li>・洋服屋などの複合型施設</li> <li>・サンゴの養殖体験など</li> </ul>

(3) 西部地域及び水産研究所跡地に関する意見

① 良いところ

意見交換先	意見
兼城公民館(兼城・下地・栄・多良間・伊土名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か</li> <li>・海の他に山、川があって3つ揃っている</li> <li>・国立公園や野底ウミシヨウブ群落などがある</li> <li>・サンゴ礁の豊かさ、潜るポイントへの船の移動時間の短さ</li> </ul>
富野公民館(富野・米原・大田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然</li> </ul>
伊野田公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の資源が豊富</li> <li>・綺麗なビーチ</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サガリバナの開花式があり、観光客の滞在理由にもなる</li> <li>・街灯が少なく星空が綺麗</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が多い</li> <li>・新しい事業を構築しやすい</li> </ul>
星野公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西海区のロケーションは綺麗</li> </ul>

② 改善すべきところ

意見交換先	意見
大里公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が少なく行事が行えなくなっている</li> <li>・住む場所が少ない</li> </ul>
兼城公民館(兼城・下地・栄・多良間・伊土名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む場所が少ない</li> <li>・飲食店、食堂が少ない</li> <li>・介護施設がない</li> <li>・子育て世帯が住みにくい</li> </ul>
富野公民館(富野・米原・大田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む場所がない</li> <li>・土地代が高い</li> <li>・子供が遊ぶ場所がない</li> </ul>
伊野田公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部までのバス代が高い</li> <li>・住む場所がない</li> <li>・働く場所がない</li> <li>・野底には売店がない</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何も無いのが北部地域の魅力ではあるが、何も無いので、空いた空間に最低限の都市施設などの立地が望ましい</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港までの交通インフラ(バス、道路)の整備が不十分</li> <li>・中心市街地よりスーパーなどの施設がなく不便</li> <li>・住む場所が少ない</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の人が遊べるマリンアクティビティなどがない</li> </ul>

③ 将来像

意見交換先	意見
兼城公民館(兼城・下地・栄・多良間・伊土名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯が住みよいまち</li> <li>・島全体の人が集まる交流の場</li> <li>・北部から川平に向かう途中の休憩場所</li> </ul>
富野公民館(富野・米原・大田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯が住みよいまち</li> <li>・観光産業を活かしたまち</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者も含め、集落行事の継続・継承できるまち</li> </ul>
石垣市観光交流協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が訪れつつ、地域住民との交流もあるまち</li> <li>・子供が喜ぶ空間</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活かしたまち</li> <li>・富裕層で良識のあるお客さんが訪れてくれるようなまち</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣島の新たな産業創出の拠点</li> <li>・地域住民の理解を得つつ新たな産業を創る</li> </ul>

④ 水産研究所跡地活用で望む機能

意見交換先	意見
大里公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海産物の養殖</li> <li>・水耕栽培で野菜作り</li> </ul>
兼城公民館(兼城・下地・栄・多良間・伊土名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォータースライダーを2種類(大人用・子供用)と入浴施設を作って家族連れを呼び込む</li> <li>・食堂や動物とのふれあい広場、ヤシの木やマンゴー、バナナなどを植えて収穫体験をするといった石垣独自のモノを利用して魅力を売り出していく</li> <li>・水族館と道の駅を併設した施設</li> <li>・栈橋を利用した海上レジャー</li> <li>・様々な施設を合体して、跡地を広く活用</li> <li>・家族が楽しめるレジャー施設</li> <li>・大学のサテライトキャンパス</li> <li>・ホテルは作りたくない</li> <li>・高齢者が学べる教室(ダンスや製作など)</li> <li>・(高齢者向けの安価で)地元の食材を使ったカフェ</li> </ul>
富野公民館(富野・米原・大田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船の観光客を高速船などでここまで連れてきて、観光やシュノーケリングを提供</li> <li>・海水を利用して海ブドウやウニの養殖</li> <li>・水産研究所の施設をそのまま利用したモノ作りエリア</li> <li>・道の駅</li> <li>・団地、住宅</li> <li>・子供が遊べる場所、学童</li> <li>・企業などの研修や体験養殖など</li> <li>・栈橋を拡張して利用する</li> </ul>
伊野田公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚式場</li> <li>・レジャー施設</li> <li>・釣り船の発着拠点</li> <li>・宿泊施設と飲食とレクリエーション</li> </ul>

意見交換先	意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部地域・西部地域全体で、サトウキビ収穫の体験</li> <li>・ 北部地域・西部地域全体で、ツーリングルートの整備</li> <li>・ 住宅</li> <li>・ 漁港を活用した物流拠点</li> <li>・ 道の駅</li> <li>・ 農業従事者が優先的に住める住宅</li> <li>・ 北部地域の方はバス代が無料になるパスカード</li> </ul>
地域おこし協力隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅</li> </ul>
石垣市商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の活性化と言えば観光産業が思い浮かぶので、持続可能な観光や SDGS のように開発と保全のバランスを保ちながら跡地活用を行う</li> <li>・ 学生などが研究開発や学ぶ場所として利用できる跡地活用</li> </ul>
八重山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の人が利用できるアクティビティ場所としての活用</li> <li>・ 養殖場としての跡地活用</li> <li>・ 複合施設</li> <li>・ 屋内養殖（車エビ、マングローブガザミ）</li> <li>・ 研究場</li> <li>・ 化粧品開発拠点</li> <li>・ 宿泊施設</li> <li>・ 地元の人が利用できるアクティビティ</li> <li>・ ジェットスキーを利用できる場所を探している</li> </ul>

## 2.7 市民アンケートから見た地域の現状と望まれる機能

### (1) 市民アンケート結果を踏まえた北部地域西部地域に必要な機能

「石垣市地域創生に係る市民アンケート調査」(令和6年10月実施)は、「第3期石垣市地域創生総合戦略」の策定にあたり、市民を対象として、石垣市での仕事や暮らし、結婚、出産、子育てなどについての意見を把握するために実施しました。その中で、北部地域、西部地域で暮らし続けるため、また新たな住民を受け入れるために重要だと思うことを問いかけています。

その結果が下図の通りであり、「医療サービスの充実」、「交通機関の充実」といった高齢者の健康や移動手段に関する機能の必要性のほか、「企業誘致・働く場所の充実」といった移住者の受け入れや収入確保、経済循環のための機能の必要性が高いと考えていることが分かります。

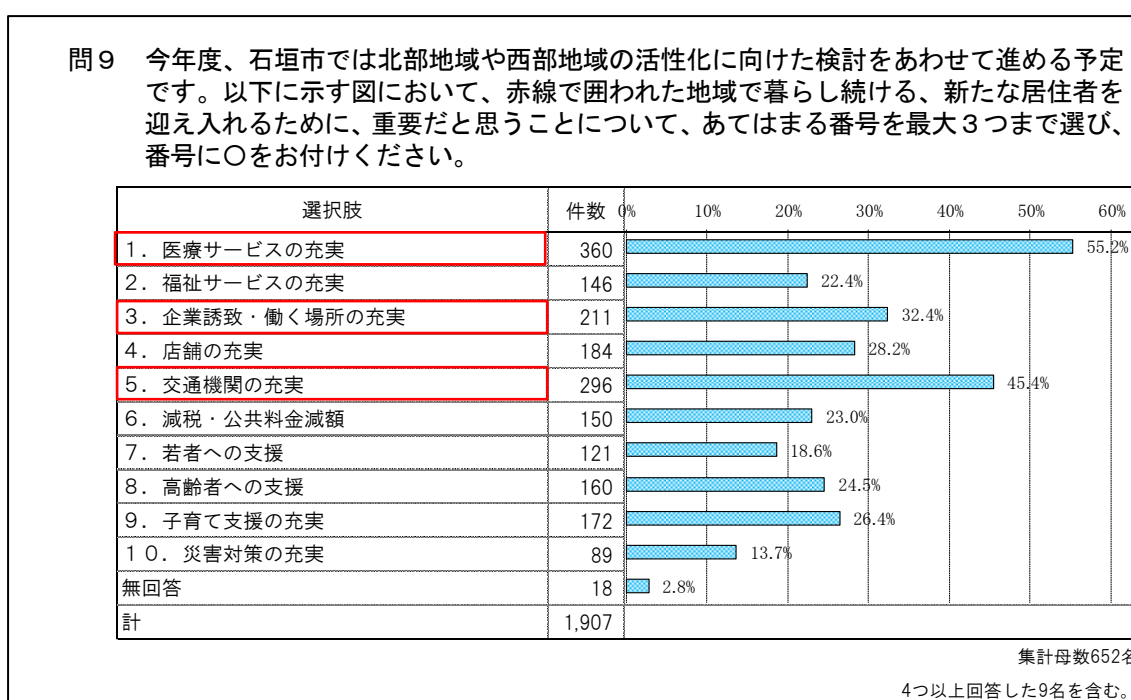


図 18. 市民アンケート結果

### (2) 石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想検討に関するアンケート調査

「石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想検討に関するアンケート調査」(令和6年11月実施)では、平久保小学校跡地及び水産研究所跡地を利活用する基本構想を検討するため、事業者を対象として実施しました。

主な結果について以下に示します。

結果については、【自然】、【人口・住宅】、【交通】、【観光、産業、商業】、【福祉】、【地域自治】で分類分けをして整理し、代表的な意見を記載しました。

①優れているところ

【北部地域】

分類	意見
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か（他 12 件）、自然が美しい、自然（他 4 件）</li> <li>・静寂、星がよく見えるなど 他 18 件</li> <li>・玉取崎展望台や平久保などの景勝地</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光者のドライブコース</li> </ul>
地域自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化</li> </ul>

【西部地域】

分類	意見
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か（他 12 件）</li> <li>・星の景観が良い</li> <li>・自然に関する意見 13 件</li> <li>・米原海岸・ヤシ群落などの景勝地</li> </ul>

②改善すべきところ

【北部地域】

分類	意見
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を残すところと開発するところの区別が不明瞭</li> </ul>
人口・住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化している</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い（2 件）</li> <li>・平久保灯台の無料駐車場が足りない</li> </ul>
観光、産業、商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店、物販店が少ない（他 5 件）</li> <li>・リゾート開発が進行（他 2 件）</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が遠い</li> </ul>
地域自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限界集落対策の実施 など</li> </ul>

【西部地域】

分類	意見
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を残すところと開発するところの区別が不明瞭 など</li> </ul>
人口・住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居不足 など</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便がわるい（他 2 件）</li> <li>・無料駐車場が不足 など</li> </ul>
観光、産業、商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店、物販店が少ない（他 4 件）</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が遠い。</li> </ul>

③どのような地域になってほしいか。将来の地域の姿

【北部地域】

分類	意見
自然	・自然を残しつつ、バランスの取れた開発 ・自然の豊かさで市民が訪れたいと思う地域 など
人口・住宅	・若い住民が増え、子供の住みよい地域 など
観光、産業、商業	・1次産業～観光までバランスのある産業形態 など ・環境保全をしながらも活気があり、お金の循環が生まれる地域
福祉	・福祉施設などが充実し高齢者が健康でいられる地域 など

【西部地域】

分類	意見
自然	・魅力ある自然が感じることができる場所 ・自然の豊かさで市民が訪れたいと思う地域 など
人口・住宅	・若い住民が増え、子供の住みよい地域
観光、産業、商業	・2次産業～観光までバランスのある産業形態 など ・収入所得が確保され、住み続けられる場所
福祉	・福祉施設などが充実し高齢者が健康でいられる地域 など

④将来なつてほしい地域を実現するためにすべきこと

【北部地域】

分類	意見
自然	・自然環境を守るための基準を定める など
人口・住宅	・住居エリアの整備 ・北部での雇用対策（他2件）
交通	・バスの利便性の向上 など
観光、産業、商業	・道の駅や北部地域・西部地域総合案内所として多様な体験、学び、観光の出来る施設の整備 ・生産する場所の整備
福祉	・高齢者福祉施設・産業の生産拠点を整備
地域自治	・地域住民と役所がともに将来を考える。

【西部地域】

分類	意見
自然	・自然環境を維持するための管理体制
人口・住宅	・住宅整備と雇用対策（他2件）
交通	・バスの利便性向上
観光、産業、商業	・道の駅や北部地域・西部地域総合案内所として多様な体験、学び、観光の出来る施設の整備
福祉	・病院もしくは診療所・高齢者施設の整備
地域自治	・分散した集落の合併

⑤利活用案

【平久保小学校跡地】

分類	意見
人口・住宅	・ 公営住宅
観光、産業、商業	・ 地域の歴史展示 ・ 道の駅（他2件） ・ 北部の生産品販売所（他2件） ・ 広域公民館 ・ 地域体育館
福祉	・ 診療所 ・ 老人ホームやデイサービス（他2件）
地域自治	・ 民間に賃貸

【水産研究所跡地】

分類	意見
交通	・ バスやタクシーレンタカーの交通拠点
観光、産業、商業	・ 道の駅（他2件） ・ 農業生産物の加工場 ・ 養殖場 ・ マリンレジャー ・ 北部地域・西部地域総合案内所として多様な体験や学びが出来る施設
地域自治	・ 地元住民の交流の場

## 2.8 6次産業の可能性と平久保小学校、水産研究所跡地利用のニーズについて

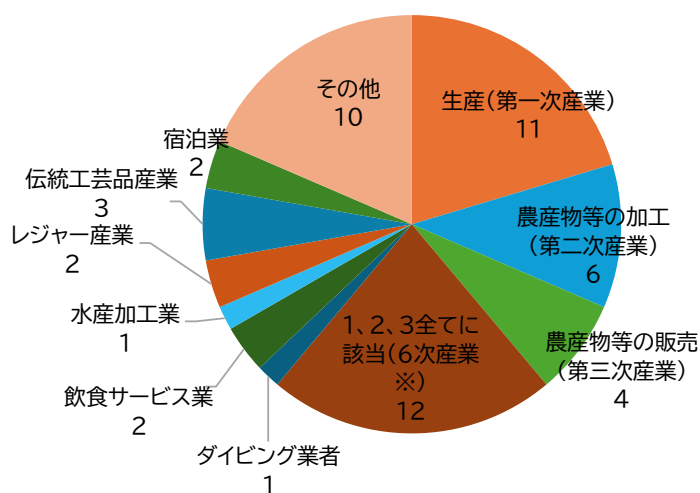
「石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想検討に関するアンケート調査」より、現在の生業に関し、今後の事業展開意向（拡張や移転などの予定の有無）、事業展開先への必要な規模などについて整理します。

### (1) 現在の事業形態について

①御社の生業について該当する事業形態に○をご記入ください。（複数回答可）

- ・「1, 2, 3 全てに該当（6次産業）」が一番多く、次に「生産（第一次産業）」が多くなっています。

選択肢	件数	比率
生産(第一次産業)	11	20%
農産物などの加工(第二次産業)	6	11%
農産物などの販売(第三次産業)	4	7%
1, 2, 3全てに該当(6次産業)	12	22%
ダイビング業者	1	2%
飲食サービス業	2	4%
水産業	0	0%
水産加工業	1	2%
海面養殖業	0	0%
レジャー産業	2	4%
伝統工芸品産業	3	6%
宿泊業	2	4%
その他	10	19%
合計	54	

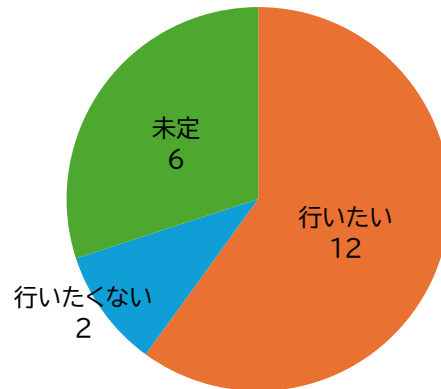


【その他】建設業、造園関係、農業、運輸サービス業、自社製品卸売り及び販売、サービス業、マッサージ業、飲食業、陶器製造、共同売店

②【問2-1】で「1. 生産（第一次産業）」、「2. 農産物などの加工（第二次産業）」、「3. 農産物などの販売（第三次産業）」と回答された方にお聞きします。現在の生業から6次産業への事業拡大意向について、該当する選択肢に○をご記入ください。

・「行いたい」が一番多く、次に「未定」が多くなっています。

選択肢	件数	比率
行いたい	12	60%
行いたくない	2	10%
未定	6	30%
無回答	0	0%
合計	20	

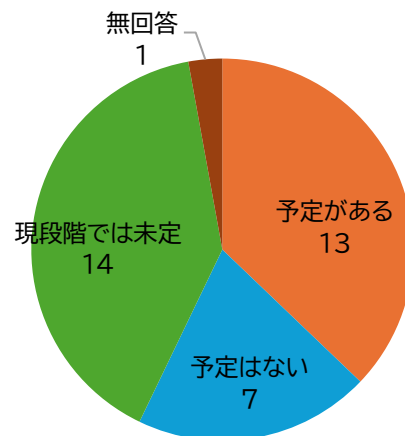


(2) 事業ビジョンについて

①御社の生業について、今後の拡張や移転などの予定について、該当する選択肢に○をご記入ください。

・「予定がある」と「現段階では未定」がどちらも4割近くとなっています。

選択肢	件数	比率
予定がある	13	37%
予定はない	7	20%
現段階では未定	14	40%
無回答	1	3%
合計	35	



②今後、拡張や移転などを検討する場合、どの程度の敷地面積（㎡）が必要か。

- ・「100 ㎡」、「1,000 ㎡」必要という意見が一番多くなっています。1,000 ㎡未満が合計57%で、小さな規模の需要が多い事が分かります。

敷地面積(㎡)	件数	割合
6	1	5%
30	1	5%
100	3	14%
200	1	5%
300	1	5%
460	1	5%
600	1	5%
1,000	3	14%
1,600	1	5%
1,700	1	5%
2,000	2	10%
3,000	1	5%
5,000	2	10%
20,000	1	5%
現有地	1	5%
合計	21	100%

③今後、拡張や移転などを検討する場合、どの程度の床面積（㎡）が必要か。

- ・「100 ㎡」必要という意見が一番多くなっています。350 ㎡未満が合計65%で、コンビニ程度（50坪）の需要が多い事が分かります。

床面積(㎡)	件数	割合
4	1	5%
25	1	5%
50	1	5%
60.6	1	5%
100	6	30%
250	1	5%
300	1	5%
350	1	5%
900	2	10%
1,000	1	5%
1,500	1	5%
3,500	1	5%
4,000	1	5%
5,000	1	5%
合計	20	100%

④今後、拡張や移転などを検討する場合、どのような設備などが必要か。

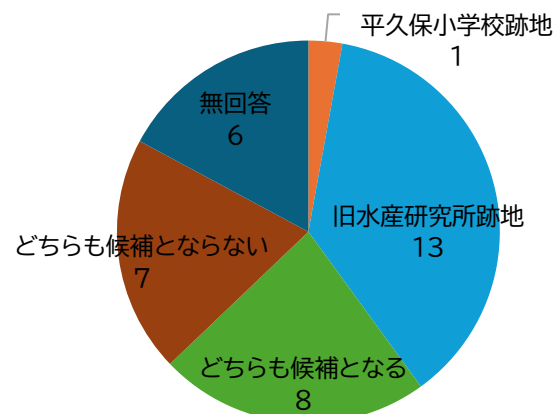
・ライフラインを必要とする意見が多くなっています。他は業種によって様々な意見が出ました。

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道、ガス、電気(他1件)</li> <li>・空調・ガス・電気・水道・(大型の乾燥機があればなおうれしい)</li> <li>・空調、通信</li> <li>・水耕栽培プラント</li> <li>・加工用・農機具小屋、その他</li> <li>・陶芸釜など</li> <li>・南ぬ浜町へのアクセス手段(現ブリッジ以外)</li> <li>・作業場、窯、倉庫、住居、店舗</li> <li>・製材機など</li> <li>・食品加工設備、農機、運搬機器</li> <li>・食品製造一切に関わる加工場</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワー、更衣室、トイレ、駐車場、洗面台</li> <li>・倉庫、加工ライン(充填・殺菌)・金属探知機など検品設備</li> <li>・製造設備</li> <li>・一時冷蔵保管庫、加工場、集荷場、農産物仕分け場</li> <li>・畑、加工施設</li> <li>・厨房設備など</li> <li>・乾燥、粉碎の設備</li> <li>・製塩業に必要な釜炉、平釜</li> <li>・スケートパーク</li> <li>・飲食店設備</li> </ul> |
|--|--|

⑤仮に平久保小学校跡地や水産研究所跡地を、移転先・拡張先の候補地として検討する場合、どちらが候補となるか該当する選択肢に○をご記入ください。

・「平久保小学校跡地」のみを候補とする意見は1件だけで、「水産研究所跡地」を候補とする意見が多かったです。

選択肢	件数	比率
平久保小学校跡地	1	3%
水産研究所跡地	13	37%
どちらも候補となる	8	23%
どちらも候補とならない	7	20%
無回答	6	17%
合計	35	



### 3. 北部地域・西部地域の現況と問題点のまとめ

#### 3.1 北部地域・西部地域の現況と問題点の整理

表 4. 北部地域・西部地域の現況と問題点

項目	現況・問題点	着目点
人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口は少なく、減少傾向</li> <li>・このままだと将来的にも減少が続く推計</li> <li>・高校卒業時などに就学、就職などで離島する傾向</li> <li>・子育て世帯が住みにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住のニーズはあるので需要に見合う住居建設を進める</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域・西部地域は山林・原野・畑がほとんど</li> <li>・集落などは海辺に近接する平地に畑とともに点在</li> <li>・すばらしい星空</li> <li>・海、山、川が3つ揃っていて起伏に富んだ地形</li> <li>・国立公園に指定されて、野底ウミシヨウブ群落などがある</li> <li>・移住者のための住宅がない</li> <li>・働く場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境をありのまま保全し、開発は避ける</li> <li>・北部地域・西部地域は中心部周辺のリゾート開発とは違った形で、自然環境をありのまま残す</li> </ul>
文化・地域自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域・西部地域は各集落に公民館があるが、中心部のような各種公共施設はない</li> <li>・警察、消防署、郵便局は2か所のみ</li> <li>・医療機関は北部地域・西部地域に無く、八重山病院まで行く</li> <li>・介護施設は北部地域・西部地域は1か所のみ、福祉バスについては、民間福祉団体の運行（デイサービスが平久保集落まで）がある</li> <li>・文化施設は、海辺にキャンプ場が2か所あったが、米原キャンプ場が閉場したので、伊野田キャンプ場のみ。運動公園、体育館などは無い</li> <li>・学校、幼稚園は概ね各集落に1つずつあるが、平久保地区は小学校が無く、通学対応は石垣市教育委員会が小中学校生徒の無料送迎の巡回スクールバスを運行している</li> <li>・明石小学校も生徒は20名で今後の対策必要</li> <li>・小学校は地域コミュニティの場であり、避難所である。平久保小学校閉校後もコミュニティ空間、避難所が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口規模に見合う施設の配置が基本だが、住民の高齢化への対応、コミュニティの場所づくり、避難場所対応は必要</li> </ul>

項目	現況・問題点	着目点
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケット、コンビニエンスストアは中心部のみである</li> <li>・商店、売店は点在していて、明石に農産物直売所1店、伊原間に個人経営売店が1店あったが閉店した。</li> <li>・移動販売（HOB0）が買い物代行サービスのみ週2日の営業1店</li> <li>・北部地域・西部地域エリアは週2回の共同配送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物難民化している</li> </ul>
観光・宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴ礁の豊かさで、潜るポイントまで近い</li> <li>・サガリバナの開花式があり、話題性もあり観光客の滞在理由になる</li> <li>・直売所、集客施設は無い</li> <li>・農産物を活かした食品工場・加工場は無い</li> <li>・観光資源、飲食店は点在する</li> <li>・宿泊施設は北部には少ない</li> <li>・観光客などによるゴミ、騒音問題</li> <li>・観光客の休憩所、トイレがない</li> <li>・多良間田の管理ができていない</li> <li>・水産研究所の海辺に栈橋がある</li> <li>・エコロードの整備がされていない</li> <li>・明石一本松野菜直売所が高齢化により出荷量が減少している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地域・西部地域の観光振興のスタンスは、今ある自然と環境の保全</li> <li>・観光客のための利便施設整備</li> </ul>
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間業者の運行バスは市街地～平野1日3便 (バスターミナル～平野間片道1時間25分)</li> <li>・バスを利用したことがない人が多い</li> <li>・バス代が高い(平久保～八重山病院まで往復で3,000円程度かかる)</li> <li>・タクシー会社は中心部に集中していて、北部地域・西部地域にはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用有償旅客+オンデマンドの普及、進化</li> </ul>



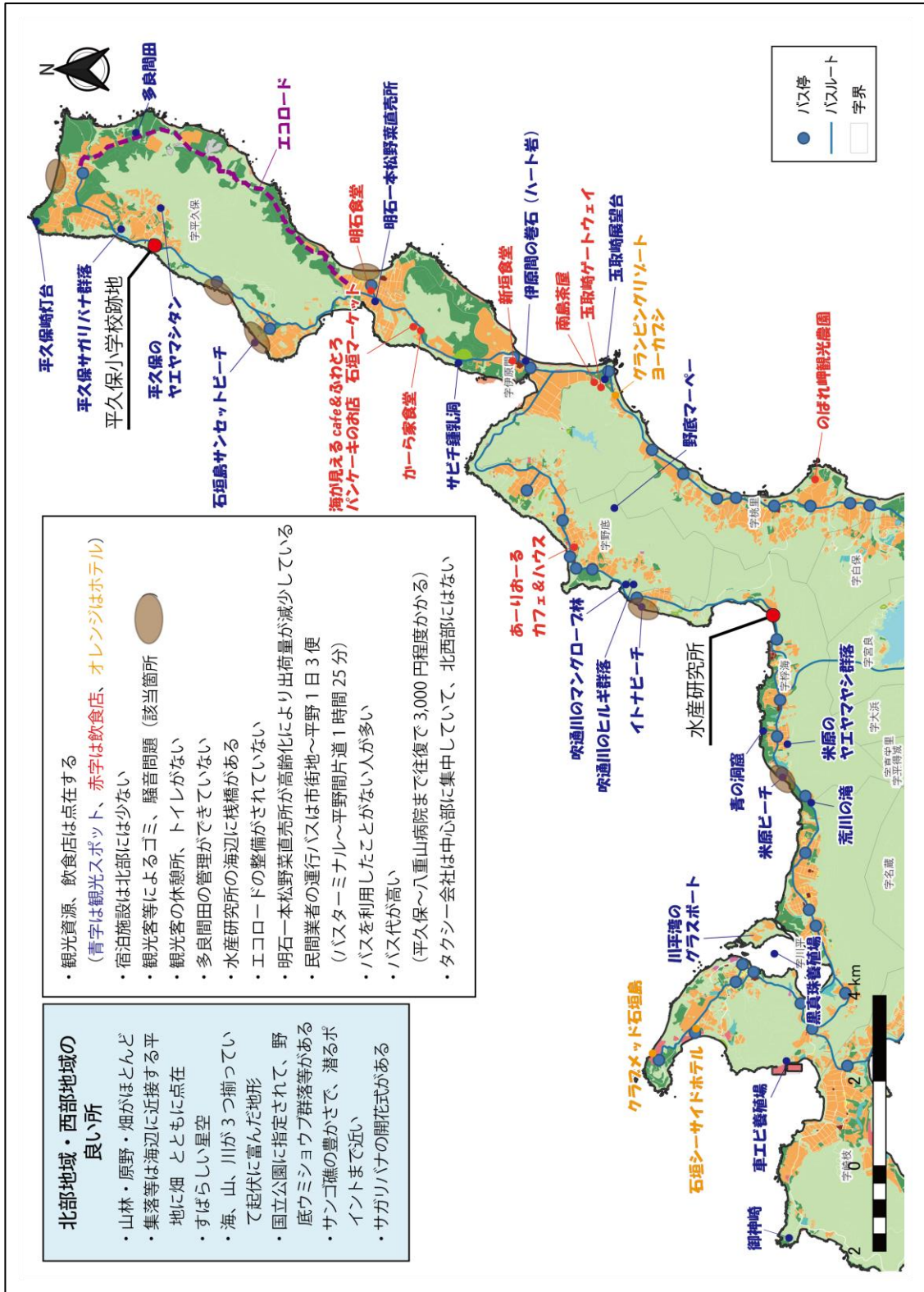


図 20. 北部地域・西部地域の現況と問題点 (土地、観光・宿泊施設、公共交通)

## 4. 北部地域・西部地域の将来像の設定

### 4.1 北部地域・西部地域の目指す将来像

#### (1) 北部地域・西部地域の役割（ミッション）

- ・石垣市は、観光、農水産業を生業とするまちであり、これらを基幹産業として、これからもまちづくりを進める方向です。
- ・そういった中で、北部地域・西部地域には、美しい海辺、森林原野など豊富な自然環境、美しい星空があり、それは将来も残すべき貴重な自然環境であり、その中で農業、畜産業が営まれています。
- ・しかし、その自然環境にもゴミの不法投棄、海岸の漂着ゴミ、騒音問題が発生しており、適切な管理ができなければやがて衰退します。また、農業、畜産業にしても後継者がいなくなれば営農者が減り、石垣市にとって北部地域・西部地域の役割が薄れます。
- ・一方、本市南部、中心部エリアでは、観光客のために海浜など自然環境を生かしたリゾート開発により、島のリゾートで過ごすバケーションを提供しています。
- ・それに対して、北部地域・西部地域の恵まれた自然環境、美しい星空、その中で営まれる農業、畜産業はまさしく石垣の原風景であり、地域資源・観光資源としても大きな価値を有しています。
- ・以上を踏まえ、北部地域・西部地域の役割は、本市南部との役割分担を図り、その美しい自然環境や生業としての農業・畜産業などを後世に伝え続け、その豊かな自然環境を市民や観光客と共有することです。

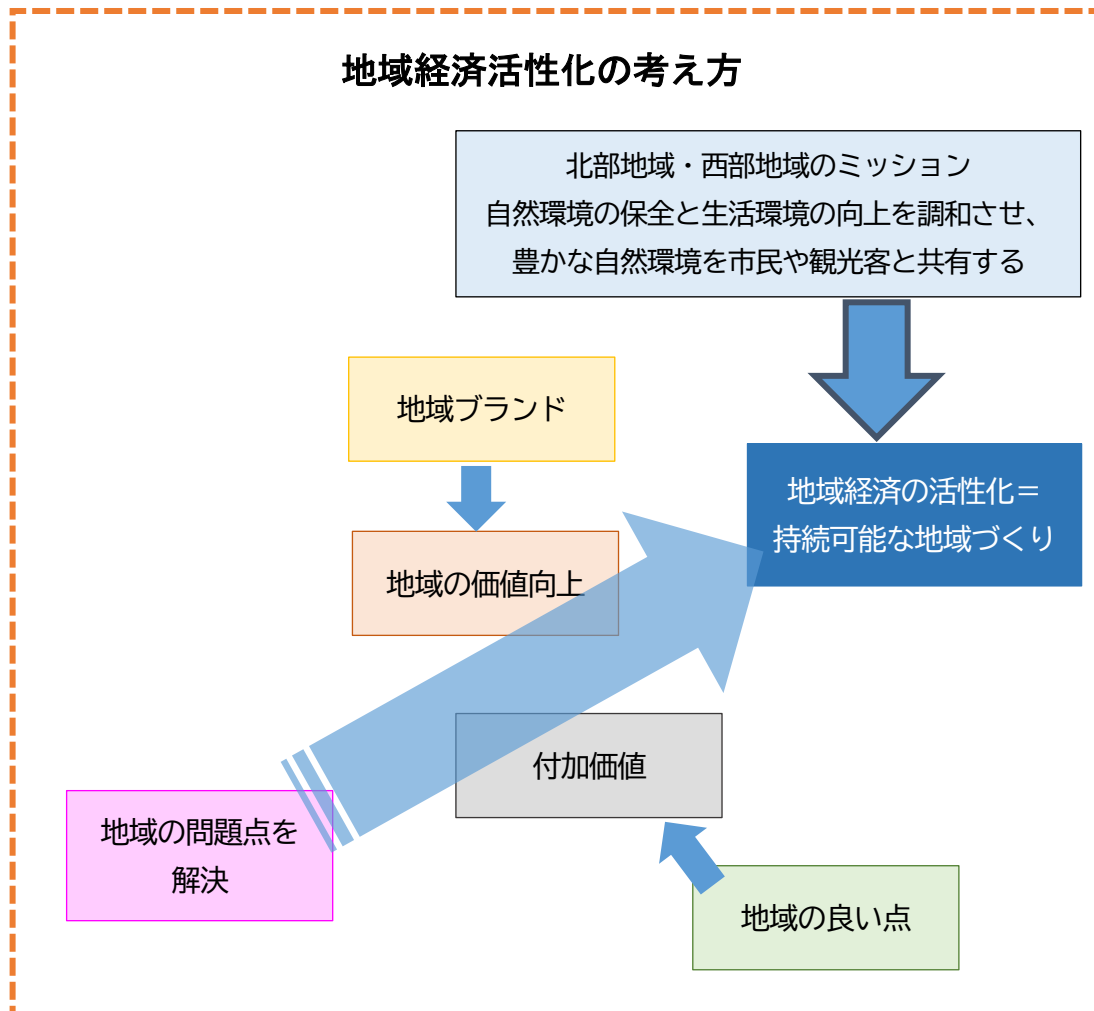
#### 北部地域・西部地域の役割（ミッション）

**自然環境の保全と生活環境の向上を調和させ、  
豊かな自然環境を市民や観光客と共有する**

## (2) 地域経済活性化の考え方

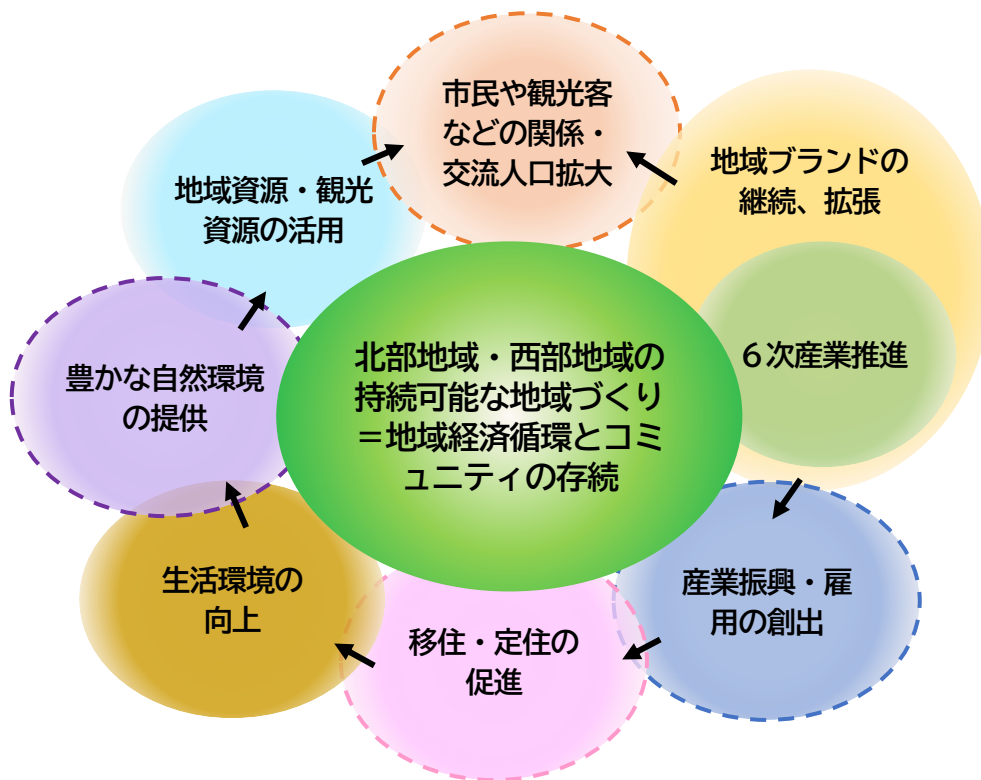
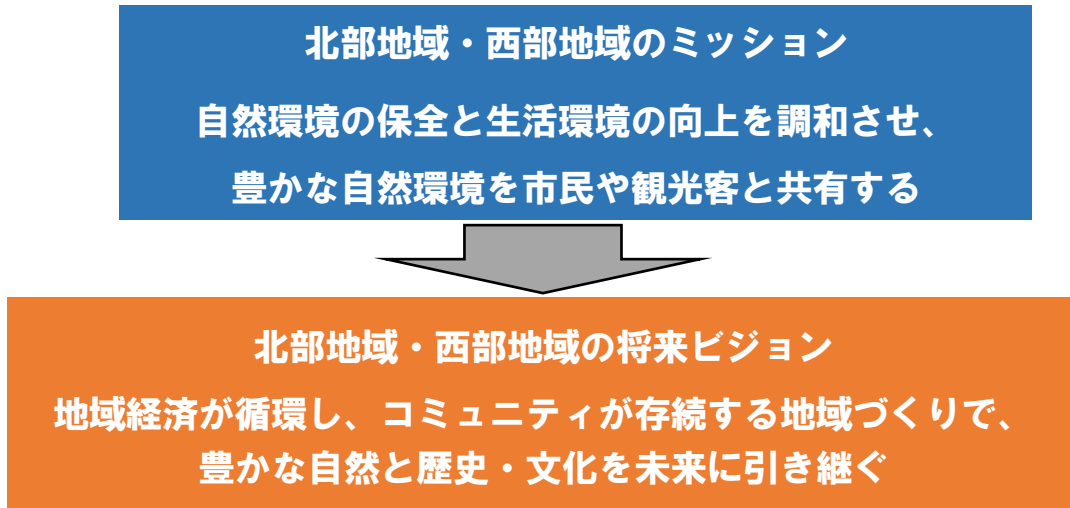
地域経済活性化にあたっては、地域の抱える問題点を解決するとともに、地域の良い点を活かして、付加価値を向上させ、更に地域ブランドの創出・PRにより地域の価値を向上させていくことを目指します。

これにより、地域経済が活性化し持続可能な地域づくりにつながります。なお、その際には、北部地域・西部地域のミッションを念頭に置いて地域づくりを図ります。



(3) 北部地域・西部地域の将来ビジョン

- ・「自然環境の保全と生活環境の向上を調和させ、豊かな自然環境を市民や観光客と共有する」ためには、北部地域・西部地域においては、自然環境保全のためのルールを守るとともに、北部地域・西部地域の地域コミュニティ維持のための活性化が必要であり、そのような持続可能な未来に挑むことを将来ビジョンとします。



#### (4) 将来ビジョン達成のためのコンセプト

将来ビジョン達成のためのコンセプトとして、次の4つを設定します。

### 北部地域・西部地域の将来ビジョン

地域経済が循環し、コミュニティが存続する地域づくりで、  
豊かな自然と歴史・文化を未来に引き継ぐ



#### <将来ビジョン達成のためのコンセプト>

##### 1. 地域コミュニティ社会を存続

- そのためには、移住、定住者の受入れ体制整備による人口の維持
- 高齢者をはじめとした地域住民の生活環境の整備
- 地域のコミュニティ・文化活動の場の確保

##### 2. 市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供

- そのためには、自然環境を管理するルールと地域コミュニティを持続
- 管理費用を賄う手段として、地域経済循環を意識

##### 3. 地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人達にも提供

- そのためには、就業者・後継者、就業場所の確保
- 直売所や関連する加工品や飲食の提供
- 加工、飲食つながりで、6次産業の振興
- 産業が勃興し、地域経済が回る

##### 4. 北部地域・西部地域をひとつのまちと捉え、連携

- 物理的な連携
- 機能的な連携
- 情報提供の推進



## 5. 北部地域・西部地域の将来像実現に向けた施策の検討

### 5.1 将来像実現に向けた施策の検討

これまで整理してきた現況・問題点のまとめ、ヒアリング、アンケート調査結果などを踏まえ、ここでは、将来ビジョン達成のためのコンセプトを実現する施策案を検討します。

表 5. 北部地域・西部地域の施策案一覧

将来ビジョン達成のためのコンセプト	施策番号	コンセプトを実現する施策案	場所
地域コミュニティ社会の存続	①	住宅の供給	各集落の周辺
	②	産業振興・雇用の創出	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
	③	地域コミュニティ、集会施設など、住民活動に資する施設の整備	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供	④	自然環境保全エリアの監視・注意喚起、清掃活動	北部地域・西部地域全体
	⑤	農業体験（バナナ、マンゴー、サトウキビ）、水産体験の提供	北部地域・西部地域の農地（伊野田漁港～伊原間漁港～水産研究所跡地の棧橋）
	⑥	自転車、ツーリングロード整備	北部地域・西部地域全体
	⑦	グラスボートツアー	水産研究所跡地の棧橋
	⑧	海のレジャー推進（子供が楽しめるウォータースライダー、ダイビングなど）	水産研究所跡地
	⑨	公園や自然を楽しむ場の整備	平久保小学校跡地のグラウンド、伊野田漁港付近のマングローブエリア、水産研究所跡地
	⑩	企業研修、教育旅行の場及び研修者などの宿泊施設	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
	⑪	サテライトキャンパス（石垣の特性に合う教育部門）	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
	⑫	インバウンド（クルーズ船）の受け入れ	水産研究所跡地～北部地域・西部地域
	⑬	伊原間、船越（フナクヤー）の再生	伊原間
地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人達にも提供	⑭	関係人口・交流人口の拡大、イベントスペースの整備	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
	⑮	農産物加工所、物づくりの場の整備	平久保小学校跡地、水産研究所跡地
	⑯	地場産品を使った飲食の提供	平久保小学校跡地、水産研究所跡地及び北部地域・西部地域の飲食店
	⑰	地場産物などの直売所	水産研究所跡地
	⑱	車エビ養殖、海ブドウ、ウニ養殖、アーサ養殖、ブリ養殖	水産研究所跡地
	⑲	産業振興のためのワーキングスペース	水産研究所跡地
北部地域・西部地域をひとつのまちと捉え、連携	⑲	水耕栽培工場	北部地域・西部地域全体
	⑳	物理的な連携	北部地域・西部地域全体
	㉑	機能的な連携	
㉒	情報提供の推進		

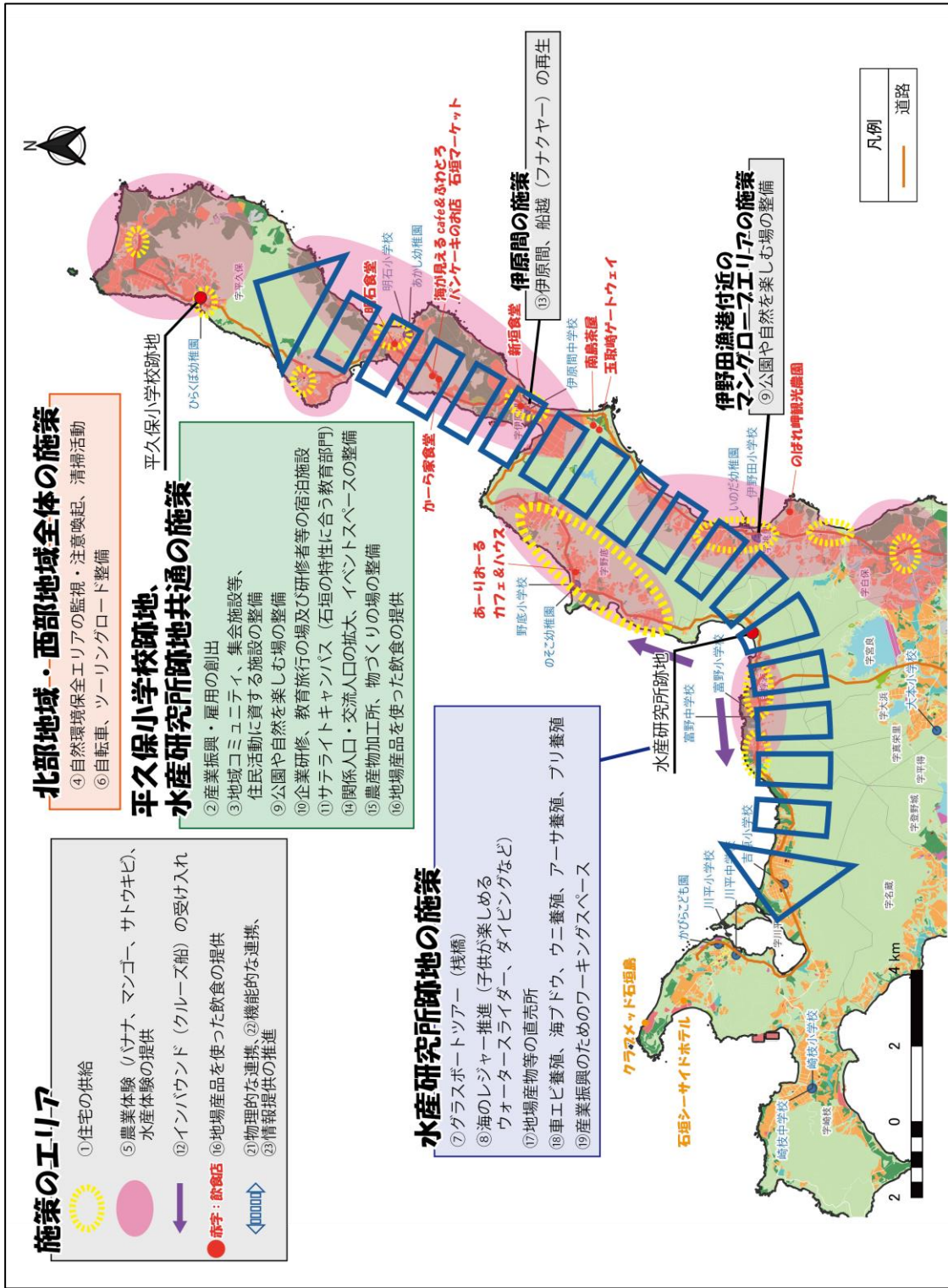


图 22. 施策位置

## 5.2 地域コミュニティ社会の存続

### (1) 施策①：住宅の供給

- ・北部地域・西部地域では人口が減少し、高齢化も進行しています。各集落の公民館活動を続けるための人口維持も危惧され、また平久保小学校は閉校、明石小学校も生徒数が20人を切っています。
- ・北部地域・西部地域の有する畑、牧場などの農地をはじめとした自然環境を守り、公民館活動を維持し、持続可能な地域社会を作るため、特に若い世帯や公民館活動を担う人たちを中心とした移住者の受け入れが必要です。
- ・地域住民との意見交換では、移住のニーズはあるとのことであり、各集落の周辺を中心として住宅の供給を推進します。
- ・住宅の供給とともに、移住者の受け入れ体制についても検討していきます。移住者が何を求め、移り住むのかをリサーチし、例えば高速ブロードバンド環境の充実、子育て世帯受け入れのための支援の充実など全国の成功事例を踏まえつつ石垣らしい受け入れ体制を検討します。

#### 【石垣市住宅供給事業の事例】

石垣市では、北部地域・西部地域の住居不足解消と移住・定住促進のため、公民館・民間事業者と連携し、移住・定住促進住宅整備の取り組みを進めている。

#### 伊原間の移住・定住促進 包括連携協定で賃貸住宅建設

人口減少が続く石垣市伊原間地区で移住・定住促進に向けて官民連携による賃貸住宅の整備計画が進んでいる。

石垣市、伊原間公民館（比嘉文男館長）、コンテナハウスを取り扱う㈱ジャカコン西日本（本社・沖縄県糸満市、上運天賢勇社長）は29日、「北部地域移住・定住促進に関する包括連携協定」を締結、伊原間に2棟5戸の賃貸住宅を建築し来年3～4月に入居を開始する。



市北部地域は、今後も過疎化や高齢化がさらに進行することが予想され、地域経済の停滞、地域コミュニティの維持が困難になっていくなどの課題がある。一方、伊原間への移住希望者は一定数あるが、賃貸住宅が少なく移住を諦める状況にある。課題を解決するため3者が連携し住居環境の整備を行う。

今回のスキームは、伊原間公民館所有地（607㎡）をジャカコンが借地し、コンテナハウスを建てる。石垣市は6月定例議会で可決された土地造成費200万円を支援。

コンテナハウスは2LDK3戸（1戸あたり延べ床面積約50㎡）、3LDK2戸（同66㎡）。いずれも平屋建て。場所は集落内の公営住宅隣地。完成は来年1～2月を見込む。

入居募集の要件は公民館の意見も取り入れる。比嘉館長は「学校や地域が活性化するように子育て世帯や、公民館活動に理解し協力してくれる方々を受け入れたい」と話す。

協定締結式で中山義隆市長は「各地域で市営住宅整備の要望も多いが、いろんな手続きや財源の面も含めて希望通りできていないのが実情。今回のように民間活力を入れることで、行政、民間企業、地域がそれぞれの資源を有効に生かして役割を果たし、地域課題の解決や地域の持続可能な発展につながる大きな一歩となるだろう」と期待した。

ジャカコンの上運天社長は「私たちの技術が地域振興の一翼になれば幸い」と述べた。

出典：2024年7月30日 八重山毎日新聞

## (2) 施策②：産業振興・雇用の創出

- ・過疎化が進行している北部地域・西部地域をはじめとした各集落については、産業振興を進めることなどにより活性化を図ります。
- ・北部地域・西部地域での雇用を創出することにより、住み続けられる環境づくりに取り組みます。
- ・地域の特色を活かした産業の振興と消費拡大による地域経済循環を生み出します。
- ・上位計画で位置づけられる「いしがき」ブランドの強化・発信、担い手の育成・事業継承、6次産業化の推進が考えられます。

## (3) 施策③：地域コミュニティ、集会施設など、住民活動に資する施設の整備

- ・北部地域の文化活動としては、小学校での行事や公民館活動としてスポーツ大会、グラウンドゴルフなど行われてきました。しかし、児童生徒の減少、集落人口の減少により、地域の活動も衰退しつつあります。
- ・また北部地域・西部地域には、明石のエイサー、星野、野底のついで祭りといった3大祭りや船越（フナクヤー）といったサバニを運んだ歴史遺産、多良間田跡といった歴史遺産もあり、我々には、流麗に煌めく北部地域・西部地域の歴史文化遺産を子や孫に伝える義務があります。
- ・一方で、北部地域には病院のほか、デイサービスなど介護・福祉施設がないのが現状です。
- ・地域住民との意見交換では福祉施設のニーズが非常に高かった、他、高齢者の生きがいや楽しみ、生涯学習の一つとして、中心部にあるような出前講座、踊りの教室、文化伝統芸能を学ぶ教室のニーズもありました。
- ・平久保小学校跡地や水産研究所跡地では、地域コミュニティ活動、福祉文化活動に資する施設の整備を検討します。

### 【3大祭り】

#### ・野底ついで祭り

石垣島の北部に位置している野底。地元住民からなる野底ついで祭り実行委員会は、平成16年度より「ついで祭り」を開催している。ついで祭りは、琉球王朝時代の黒島からの強制移住に伴う、野底で誕生した悲恋の物語の唄である。その当時の村はマラリアなどの病気によって廃村となり、現在の野底は戦後の計画移民と本土からの移住者で構成された、伊土名・多良間・下地・兼城・栄の5集落で形成されている。

野底は比較的新しく形成された地区であり、5つの各集落間や住民達のつながりを深め、皆が野底住民としての認識を持つとともに、子ども達への文化の継承のために野底の唄であるついで祭りを祭りのテーマとしている。祭りでは、野底のみならず同じ石垣島北部地域である伊原間や平久保、八重山地域の黒島からの参加者もあり、地域内外の交流にも寄与している。

このように、ついで祭りの開催や野底住民としての意識の共有、次世代へのついで祭りの継承など、【民謡ついで祭りを歌い継ぐ新たなふるさとづくり】に取り組んでいる。



出典：沖縄県 HP ([https://www.pref.okinawa.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/010/456/240132.pdf](https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/456/240132.pdf))

・人魚の里 星野夏祭り

星野集落には、人魚が1771（明和8）年に起こった明和の津波の来襲を知らせて村を救ったとされる伝説があり、「人魚の里」として知られる。少子高齢化や過疎化の問題に直面した同集落では2004年、この伝説を生かし「星野人魚の里地域協議会」を立ち上げ、「人付き合いの濃密な農村地域の良さ」を内外に発信する取り組みを続けている。同祭りは、その一環として集落で途絶えていた盆踊りを「夏祭り」という新しい形で復活させたのが始まり。

2015年から2経路の無料シャトルバスを運行して、市街地や北部地区から人が集えるよう配慮しており、石垣島北部地域3大夏祭りのひとつとして北部地区の活性を担っている。



出典：石垣経済新聞 (<https://ishigaki.keizai.biz/headline/1007/>)

・明石エイサー祭り

明石公民館広場で開催される、石垣島北部地域3大夏祭りのラストを飾る旧盆恒例の明石エイサー祭り。老若男女の明石地域出身者がエイサーを舞い、先祖を供養する。

明石のエイサーは、伝統的な踊り方を継承しており、石垣市で唯一の本格的なエイサー祭り。



出典：八重山日報 (<https://yaeyama-nippo.co.jp/archives/8478>)

【多良間田跡】

・平久保半島平野集落から約1.6kmの東海岸に、多良間島の人が舟で通い、米を作っていたと言われている田んぼの跡が今も残っている。1752年に編さんされた「宮古島記事」に伝承としての記載があり、更に古く遡ると考えられている。

・石垣在多良間郷友会メンバーによる草刈りなどの活動により維持されてきたが、高齢化による人手や資金の不足から、現在管理が行き届かなくなっている。

・2017年に石垣市教育委員会と多良間郷友会の皆さんによって設置された現地の看板は、現在朽ちてしまっており、補修が必要となっている。

◎多良間田跡復元と農地活用



## 【船越】

### ・フナクヤー（伊原間）

伊原間では昔、海人は天候にあわせて船を担いで太平洋側（東）と東シナ海（西）のどちらから漁に出るか決め、船を担いで移動していた。

石垣島では旧暦5月4日に海神祭ハーリーが開催され、伊原間では北部漁友会主催で船越屋ハーリー（フナクヤーハーリー）が船越漁港で開催される。当時を再現して、「フナクヤー、ハーリー」の掛け声とともに島の東から西側の港までハーリー船を担いで越えるのがフナクヤー海神祭の特徴で1999年から継続されてきた。

（参照元：「八重山の伝統行事」やいまタイムおよび琉球新報のハーリー関連記事）



## 【岩手県】福祉施設の廃校事例

### 地域公益施設

### 介護施設として活用

岩手県 西和賀町 旧越中畑小学校→小規模多機能ホーム雪つばきの里

① 基本情報		廃校活用のメリット	活用開始までの課題・苦労したこと
建築年度	1980（昭和55）年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の職員は大半が町民であり、正規・パート併せて15人の雇用が生まれており、また、近所の農家から野菜やお菓子の差し入れがあるなど、地域住民から親しまれる施設となっている</li> <li>校庭は地域の運動会や盆踊り等で活用</li> <li>介護予防の観点から地域コミュニティ事業にも取り組んでおり、グラウンドゴルフ事業等で交流も生まれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内には老人福祉施設が人口に対して比較的数量多く存在しており、介護保険料が高額であることが町の課題であった</li> <li>今後の高齢者数の推移等についての説明会等を数多く実施することにより理解を得ることができた</li> <li>議会や町の関係部局、地域や関係各所との調整にも苦労した</li> <li>地域住民によって立ち上げられた運営法人には介護事業立ち上げの経験者は無く、一から法律を勉強しながら事業開始し、各種研修に力を入れ、職員の事業に対する基礎力を高めることで設立期を乗り切った</li> </ul>
活用開始年度	2012（平成24）年度		
現在の施設名	小規模多機能ホーム雪つばきの里		
活用事業者	NPO法人新田郷コミュニティ雪つばきの里（土地：有償貸与）（校舎：無償貸与）		
改修費用	総額約4,150万円（うち事業者負担額：約850万円）（うち補助金額：約3,300万円）		
活用した補助金等の名称	介護サービス施設等整備臨時特例事業費補助金（厚生労働省）、施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金（厚生労働省）		
施設の規模	489.78㎡		
② 施設の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人が小規模多機能ホーム「雪つばきの里」として運営している</li> <li>1階部分を事務室、居室、食堂等に改修し、当該旧小学校区の住民を中心に西和賀町内の高齢者を受け入れている</li> </ul>			
③ 廃校活用までの経緯			
<ul style="list-style-type: none"> <li>140年近い歴史のある学校を何かに活用したいという地域住民の機運の高まりがあった</li> <li>地域内の高齢化が進み、将来に不安を抱えている住民が多かったことから、旧学区4行政区の代表者等による10回以上の検討の結果、廃校施設を活用して地域福祉に取り組むことが決定された</li> <li>地域住民の代表らにより、施設の運営主体としてNPO法人が立ち上げられた。校舎は無償、土地は有償で町から法人に貸与された</li> </ul>			



施設詳細URL：<http://www.nisiwaga.net/yukitsubaki/>

## 5.3 市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供

### (1) 施策④：自然環境保全エリアの見回り、清掃活動

- ・自然環境を保全するため、人為的な活動として、自然環境を保全すべきエリアを決めて、地域で見回りを行ったり、またビーチクリーンなどの清掃活動は市民や観光客と一体となって推進します。

#### 【国立公園の紹介】

西表島、石垣島とその間に挟まれたサンゴ礁の海と島々からなる日本最南端の国立公園。亜熱帯性常緑広葉樹林や日本最大のマングローブ林、サンゴ礁など豊かな自然環境からなる亜熱帯地域特有の自然景観と、そこに暮らす絶滅危惧種や固有種を含む様々な動植物、そしてこの自然環境の中で日々育まれてきた伝統が息づく人文景観が特徴。

公園の総面積は 122,150ha  
(陸域：40,653ha、海域：81,497ha)  
で、西表島のほぼすべてが国立公園に指定されている。



#### ・生態系

イタジイやオキナワウラジロガシなどの常緑広葉樹林、アダンやオオハマボウなどの海岸林、オヒルギやヤエヤマヒルギなどのマングローブ、ゴなど、山から海への多様な生態系が密接に関連し、連続性を持った豊かな自然環境が特徴。



#### ・動物

イリオモテヤマネコやカンムリワシ、セマルハコガメなどの様々な動物が生息しています。また、砂浜はウミガメ類の重要な産卵場所となっている。



#### ・植物

ヤエヤマカンアオイやイリオモテガヤ、ヤエヤマヤシ、サキシマハブカズラなどの希少な植物が自生しています。また、河口部には日本最大のマングローブ林が広がっている。



出典：西表野生生物保護センター (<https://iwcc.jp/iriomotejima/nationalpark/>)

## 国内初の「星空保護区」誕生 西表石垣国立公園が「ダークスカイ・パーク」に認定

国際ダークスカイ協会 (IDA、米国アリゾナ州) が認定する、暗くて美しい夜空を保護する「星空保護区」に、沖縄県の西表石垣国立公園が 2018 年 3 月 30 日 (現地時間) に正式に認定された。日本初の認定であり、世界で 59 番目の「ダークスカイ・パーク」となる。(星空保護区全体では 96 番目)

国内初の「星空保護区」認定によって、地域の星空のブランド力が高まり、星空資源を活用した観光振興が期待されると共に、八重山諸島の夜の自然環境や固有の生態系の持続的な保全にもつながる。

### 〈国頭村の条例〉

国頭村星空公園設置条例：令和 6 年 3 月 22 日公布、令和 6 年 3 月 22 日施行

○本条例は、「暗い夜空と暗い自然環境を守るべき資源として保護すると共に、滞在型観光の拠点としてその利用促進を図り、村民の生活や動植物などへの環境保全に資すること」を目的とし、村内の 4 つの観光施設 (国頭村森林公園、やんばる学びの森、奥やんばるの里、安田くいなふれあい公園) を星空公園として指定している (1 条、2 条)。そして、星空公園は「やんばるダークスカイ・フォレスト (Yambaru Dark Sky Forest)」と呼称、表記する (3 条) とし、「村長、事業者、指定管理者及び星空公園の利用者は、暗い夜空と暗い自然環境の保全と適正な利用が図られるよう、それぞれの立場において光害の防止に努めなければならない」 (4 条) としている。

また、光害防止のため、国頭村屋外照明管理規則 (令和 6 年 3 月 22 日公布・施行) を制定し、施設などに対する屋外照明の設置・運用について配慮すべき事項を定めている。

○国頭村は、「2022 年 8 月にダークスカイ・ジャパンの下部組織である星空保護推進機構により国頭村内 4 つの観光施設 (国頭村森林公園・やんばる学びの森・奥やんばるの里・安田くいなふれあい公園) を調査したところ、これらの施設が星空保護区に認定された地域に匹敵する「夜空の暗さ」があることがわかりました。この調査を契機に、国頭村はこれら 4 つの施設の星空保護区認定を目指すため、生活に必要な灯を維持しつつ、「不必要な光 (光害)」の改善に取り組んでいます。」 (国頭村 HP 「国頭村は 2024 年 3 月 22 日にアストロツーリズム専用のホームページ、「やんばるダーク スカイ☆フォレスト (Yambaru Dark Sky Forest)」を開設しました。 ) とし、「国頭村内で見ることのできる、四季折々の星座や惑星、流星群などの天体ショーの情報を、星好きな皆様にお届け」するため、専用のホームページ「やんばるダーク スカイ☆フォレスト (Yambaru Dark Sky Forest)」を開設している。

出典：一般財団法人 地方自治研究機構

([http://www.rilg.or.jp/htdocs/img/reiki/024\\_lightpollutioncontrol.htm](http://www.rilg.or.jp/htdocs/img/reiki/024_lightpollutioncontrol.htm))

## 【平野海岸で海洋プラスチックを回収するビーチクリーンを実施】



地元のボランティア団体「海 Love ネットワーク」が 2003 年から石垣島内にある各地の海浜でビーチクリーン活動を継続。

WWF ジャパンも現在、その取り組みを一部支援しながら、協働で海岸でのごみの回収と、環境保全活動に取り組んでいる。

海 Love ネットワークが一年に一度、定期的に清掃活動を行なっているフィールドの一つに、石垣島最北端の平久保にある平野海岸があり、ここは、風向きや潮流の影響で、冬の間の漂着ごみがすべて流れ着く場所で、プラスチックごみによる汚染も深刻。

3月3日の第一回目のビーチクリーンに大人 168 名、子ども 37 名の、計 205 名のボランティアの皆さんが集まった。

それでも、非常に広い海岸なので、これだけの参加者が得られても、ごみの全ては拾いきれない。そのため、海 Love ネットワークでは、あらかじめ 2 日間の作業日を設定してビーチクリーンの取り組みを行なった。

出典：WWF ジャパン (<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/3927.html>)

## (2) 施策⑤：農業体験（バナナ、マンゴー、サトウキビなど）、水産体験の提供

- ・石垣の主産業は、農水業と飲食・観光業です。この特性を生かし、畑、牧場などの営農基盤を用いて、石垣市民や観光客に農業体験を提供します。
- ・また、北部地域・西部地域は船越漁港、伊野田漁港があります。この環境を生かし、修学旅行などの学生たちに、沿岸生物の生息するサンゴ礁や石垣ならではの漁業体験を提供し、北部地域・西部地域の良さを楽しんでもらうことも考えられます。
- ・これにより、石垣市民は定期的に農業体験エリアに足を運ぶとともに、観光客もリピーターになる可能性を秘めています。

### 【棚田 農業体験】

和歌山・熊野三山で有名な那智山の西側にある色川・小阪地区の棚田で、過疎高齢化により休耕田が増える中、地元の有志たちが力を合わせて復田と保全に取り組んでいる。

田植え、稲刈り、しめ縄作りなど、色川の棚田で子どもはもちろん、大人も楽しめる農業体験イベントを開催している。田植えや稲刈りだけでなく、草刈りや餅つきまで、一年を通してどのようにお米が出来るのかを学べる。



出典：棚田を守ろう会 (<http://www.zb.ztv.ne.jp/tanada/>)

### 【恩納村：サトウキビ刈りから黒糖作り】

サトウキビの刈り取りから搾り汁を煮沸しキビジュースを試飲し、押し切りで生キビを切り分けパック詰めをしてラベルを貼りお土産として持ち帰ることができる収穫体験。

キビ汁は皆で大鍋に煮詰めて黒糖作りを行い、冷まして小分けにしてパック詰めにし、ラベルを貼りこちらもお土産に持ち帰ることができる。

体験後は指導員と一緒にカチャーシー（手踊り）をすることも可能。

受入可能期間	通年（弊社は自社管理サトウキビ畑所有。通年対応が可能です）
受入可能時間	午前（9:00～12:00） 午後（13:30～17:00）
所要時間	2時間30分（2時間～3時間）
受入可能人数	20～44名
参加料金	3,500円（税込）・プランにより3,000円～4,000円）
服装、用意するもの	服装：少しくらい汚れてもいい服、運動靴 / 持ち物：軍手、タオル、雨着
備考	・サトウキビ刈り & 試食用黒糖作り3,000円・サトウキビ刈りから黒糖作り & ジーマミ（ピーナツ）黒糖作り4,000円



出典：おきなわ修学旅行ナビ (<https://education.okinawastory.jp/experience/6468/>)

### (3) 施策⑥：自転車ツーリングロード整備

- ・石垣では、春に石垣島トライアスロン大会が開催されます。スイム 1.5km、ロードバイク 40.0km、ラン 10.0km の「オリンピック・ディスタンス」で行われる大会は日本国内でのレースとは思えない南国特有の地形を生かした大会です。
- ・また、「自転車の聖地、石垣島」を代表するシンボルとして「新城幸也ロード」を設置しています。バイクルートとして国内外来島者、自転車愛好家、競技選手、市民の方に安心して走ってもらい、南国の自然環境、風景を走るのを楽しんでもらうため、サイクリングロードの整備を促進します。
- ・サイクリングロードと風景を生かしたツアーの企画を検討します。

#### 【瀬戸内：しまなみ海道 サイクリングロード】

瀬戸内しまなみ海道にある「サイクリングロード」は、日本で初めて海峡を横断できる自転車道。歴史と文化にあふれる島々を結ぶ全長約 70km (※) の海の道をサイクリングで満喫していただくために、尾道市から今治市の間にある「しまなみ海道」沿線ではレンタサイクルを運営している。各地区にあるレンタサイクルターミナルであれば乗捨ても自由。また、今治市内の一部のホテル・旅館などにも乗り捨てが可能。

(※今治市サイクリングターミナル「サンライズ糸山」～尾道港(駅前港湾駐車場)まで)



サイクリングコース					
<p>しまなみ海道をはじめ走りきるならコレ!</p> <p><b>No.1 プラリライコース</b></p> <p>ポイント コース</p>	<p>瀬戸内の島の歴史を知りたい!</p> <p><b>No.2 村上海賊コース</b></p> <p>ポイント コース</p>	<p>ヒルクライムコースで絶景を眺めよう!</p> <p><b>No.3 絶景のマウンテンコース</b></p> <p>ポイント コース</p>	<p>乗島絶景大橋を渡るワイルドランライド!</p> <p><b>No.4 よしうみパラ公園コース</b></p> <p>ポイント コース</p>	<p>レモンの香りでファミリーサイクリング!</p> <p><b>No.5 生口島周遊コース</b></p> <p>ポイント コース</p>	<p>ゆめしま海道を満喫!</p> <p><b>No.6 ゆめしま海道コース</b></p> <p>ポイント コース</p>

出典：SHIMANAMI JAPAN (<https://shimanami-cycle.or.jp/cycling/>)

#### (4) 施策⑦：グラスボートツアー

- ・石垣では、川平湾においてグラスボート遊覧を運航しています。近海の無人島へのネイチャーツアーや、ウミガメ、マンタを楽しむツアーなどが観光業者により企画運営されています。
- ・水産研究所跡地の栈橋や砂浜を利用し、目の前に広がるおだやかで美しい石垣の海を楽しむグラスボートツアーの企画を検討します。

##### 【那覇市：水中観光船】

水中観光船は、乗船したまま船底に張られている強化ガラスから、水中の魚が泳いでいる様子が楽しめる観光船。世界初の大型水中観賞船「オルカ号」をはじめ沖縄の本島・諸島で運航されており、海に潜水することなくダイバー気分でお楽しみいただける。カラフルなトロピカルフィッシュ、きれいなサンゴ、ウミガメなどを船の中から見ることができる快適クルーズで、おしゃべりしながら楽しめる気軽さから人気を集めている。



出典：有限会社 ウェストマリン ([https://ja.westmarine.co.jp/info\\_water.php](https://ja.westmarine.co.jp/info_water.php))

### (5) 施策⑧：海のレジャー推進

- ・北部地域・西部地域には、自然環境がそのまま残された美しい海岸線がたくさんあります。その美しさを生かした海のレジャーを検討します。
- ・地域住民からの意見として、子供の遊べるウォータースライダー、観光客も市民も楽しめるダイビング、グラスボートツアーなどの意見が上がりました。

#### 【恩納村：万座オーシャンパーク】

大人も子どもも楽しめる海上アスレチック

景勝地・万座毛の対岸に位置し、海に囲まれた岬の先端が全てリゾートエリアという絶好のロケーション、ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾートにある海上アスレチック。

#### 〈ポイント〉

- ・すべり台、トランポリン、クライミングウォールなど様々なアトラクションが楽しめる
- ・子ども向けのキッズゾーンもある
- ・3歳以上から利用可能（12歳以下は18歳以上の保護者同伴が必要）、ライフジャケット着用

出典：るるぶ Kids (<https://kids.rurubu.jp/article/4901/>)



#### 【那覇市：那覇市発 慶良間シュノーケルコース 滑り台・ジャンプ台・海上ブランコ付き業界最大クルーザー パラセーリング、ダイビング、マリンスポーツセットプラン】

使用する船はウォータースライダーやブランコが付いた遊べるクルーザーで、シュノーケルもやり放題。子ども連れの方や友達同士でわいわい遊ぶのに最適。ダイビングやマリンスポーツ、パラセーリングを追加できるプランもある。



出典：VELTRA ([https://www.veltra.com/jp/japan/okinawa/okinawa\\_main\\_island/a/156007](https://www.veltra.com/jp/japan/okinawa/okinawa_main_island/a/156007))

#### 【カヤックフィッシング】

カヤックを使って釣りを楽しむアクティビティで、ロッドホルダーやアンカーを搭載したフィッシング専用のカヤックに乗り込み、釣りポイントまで漕いで移動。浅瀬や入り組んだ地形など船では通ることができない

ポイントもカヤックであれば楽々移動できるのが魅力。普段は狙うことのできないポイントで釣りを楽しむことができるのが醍醐味。

出典：SOTOASOBI LIFE (<https://sotoasobi.net/activity/kayak-fishing>)





【神奈川県 横須賀市：長井海の手公園ソレイユの丘】

アスレチックの頂上から飛び立つ全長約 300mのジップラインはボート池の上を駆け抜けるスピード感と横須賀西海岸の雄大な空と海と大地の絶景を楽しめる。

**PARK MAP**

このエリアは愛犬の同伴が可能です

- 愛犬のフンはお持ち帰りください
- 愛犬の飲めない禁止 (お水ボトルも厳禁です)
- 愛犬は建物内に入れません
- 愛犬はカートやバックパック等に入れた状態で愛犬同伴可能エリア内には入れません
- 愛犬同伴でご利用いただける飲食店は VENTO LEONE (イタリアンレストラン)・Soleil フードホール(リヨン)・PIZZA IN THE SUN・BBQ&BAR BONFIRE (ボンファイア) になります。

**アクティビティ**  
Activities

- 宿泊 Lodging
- 買い物 Shopping
- ビューポイント View Point
- レストラン Restaurant
- ファストフード Fast Food
- ソレイユトレイン 停留所 Soleil Train Stop
- インフォメーション Information
- トイレ Restroom
- 多目的トイレ Accessible Restroom
- おむつ交換台 Diaper-changing Table
- 授乳スペース Nursing Room
- AED
- 救護室 First-Aid Station
- 休憩室 Lounge
- シャワー Shower
- 喫煙所 Smoking Area

1 ヨコスカスーベニアショップ ソレイユの丘店	19 観覧車	37 発掘! 宝石ハンター
2 YOKOSUKA SOFTCREAM FACTRY	20 Soleil フードホール リヨン	38 BBQ 受付
3 フラワーガーデン イースト/ウェスト	21 ソレ!スポ	39 BBQ&BAR BONFIRE (ボンファイア)
4 ジップラインスタート地点	22 風の庭	40 RV サイト
5 大型アスレチック・展望台	23 キッズガーデン	41 冒険島
6 長井ベース	24 GOGO カート	42 ANI CAFE
7 体験農園「シテコサステナブルファーム」	25 おもしろ自転車	43 ソレイユ☆バイレーツ
8 イタリアンレストラン「VENTO LEONE」	26 アーチエリー	44 シバスライダー
9 フリーキャンプサイト受付	27 ねこがたいやきたべちゃった	45 ホシゾノオカ
10 クラフト体験工房	28 レイクサイドステージ	46 サンセットバンガロー
11 クッキング体験工房	29 ポート	47 ソロサイト
12 海と夕日の湯	30 PIZZA IN THE SUN	48 オートキャンプサイト
13 うさぎ Café	31 フリーキャンプサイト	49 海のキャビン
14 おはなのキッズルーム	32 ドッグラン「オーシャンドッグパーク YOKOSUKA」	50 オートキャンプサイト受付
15 ミサキドーナツ	33 森のキャビン	51 CLIFF CAFE
16 ダイバーシューター	34 じゃぶじゃぶ池	52 展望デッキ「The View」
17 メリーゴーランド	35 ホタル館	53 グランピングコテージ
18 フロックホッパー	36 アニマルヴィレッジ	



出典：長井海の手公園ソレイユの丘 (<https://soleil-park.jp/facility/88>)

(7) 施策⑩：企業研修、教育旅行の場及び研修者などの宿泊施設

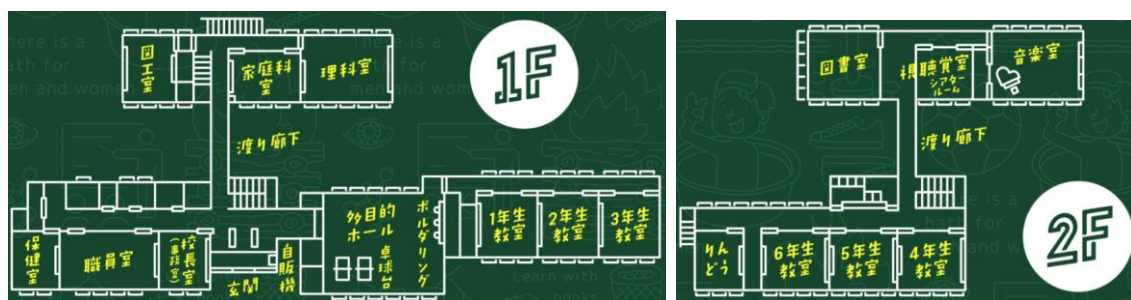
- ・平久保小学校跡地や水産研究所跡地では、従前の学校や研究所といった部屋割りの特性を生かし、また北部地域・西部地域のもつ穏やかな環境を生かし、企業の研修や大学のゼミやサークルの合宿、青少年や学生の野外学習の場として、全国に向けて誘致活動を検討していくことが考えられます。
- ・そのため、ゼミ合宿プランや学校向け野外学習プランの企画もあわせて検討していくことが考えられます。

【群馬県 利根郡みなかみ町：泊まれる小学校さる小】

旧猿ヶ京小学校を宿泊研修施設としてリノベーションし、2012年に「泊まれる学校さる小」がオープン。

開設・運営は、一般社団法人猿ヶ京小学校スポーツアカデミーによって行われている。

さる小は、1日1団体の貸切りとなっており、音楽室・図工室・図書室など様々な教室を貸切で使用することができ、大きな音を出したり、夜遅くまで練習したり自由に使えるのが自慢。



家庭科室

料理用の道具がそろっており、キッチンとしてご利用できます。なんと一度に100名分の調理が可能です。厨房設備：調理器具～食器まで調理に必要な道具は全て揃っています。※宿泊者様のご利用は無料となっておりますが、後片付けはお客様でお願いいたします。



保健室

洗濯機×2機(無料)・乾燥機×2機(有料)をご用意しております。長期合宿でも毎日きれいなユニフォームで練習することが可能です。



教室に布団



図書室

2024年11月						
月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	31	11月1日	2	3
満室	空室	満室	満室	満室	満室	満室
4	5	6	7	8	9	10
満室	空室	満室	満室	満室	満室	満室
11	12	13	14	15	16	17
満室	空室	満室	満室	満室	満室	満室
18	19	20	21	22	23	24
満室	空室	満室	満室	満室	満室	満室
25	26	27	28	29	30	12月1日
満室	空室	満室	満室	満室	満室	満室

予約状況

出典：さる小 (<https://www.sarusho.com/>)

## (8) 施策⑪：サテライトキャンパス

- ・ 前述と同じく、平久保小学校跡地や水産研究所跡地では、従前の学校や研究所といった部屋割りの特性を生かし、北部地域・西部地域の特性に合う教育部門の誘致が考えられます。

### 【石川県 中能登町：飛騨高山大 サテライトキャンパス】

2024年春の開学を目指す、岐阜県飛騨市の「飛騨高山大学（仮称）」が、中能登町の旧滝尾小学校跡地にサテライトキャンパスを設立する準備を進めている。

旧滝尾小跡地では、同町が、民間事業者のノウハウを生かして公共施設などの設計、建設などを進める手法「社会資本整備（PFI）」を活用し、グラウンドに町営住宅を新築移転する計画を進める。余剰地を有効活用しようと、計画に関わる地元の民間企業が大学を誘致。大学は町営住宅とは別に建物を設ける。敷地全体として、子育てや健康、商業に関する複合的な機能を持つことを目指し、2023年から両施設の建設を予定している。



出典：中日新聞社 (<https://www.chunichi.co.jp/article/308173>)

(9) 施策⑫：インバウンド（クルーズ船）の受け入れと観光案内

- ・石垣新港には、インバウンドのクルーズ船が寄港し、乗客らは石垣市内の観光を行っています。クルーズ船は定期的に寄港し、その数は今後の増えると想定されるが、乗客らは市内観光できる時間は半日程度であるため、中心部観光がメインとなり、北部地域・西部地域まで足を延ばすケースは限られています。
- ・そのため、地域住民からは、インバウンドを活性化に活用するための意見として、水産研究所跡地の棧橋を利用し、高速艇などによる海上輸送によりインバウンドを北部地域・西部地域まで誘客するといったことが考えられます。

【石垣クルーズ船について】

- ・H23～R2 石垣市の入域観光客数について  
新型コロナウイルスの影響で R1 から減少したが、年々増加し新型コロナウイルス前に戻ってきています。

表 6. 石垣市の入域観光客数（表は単位：千人で四捨五入）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
海路	62	63	88	171	200	255	354	293	361	19	0	0.6	82	267
空路	732	645	849	945	906	985	1,023	1,076	111	626	546	908	1,098	1,137

※R3 は新型コロナウイルス感染症の影響により海路は入港なし。

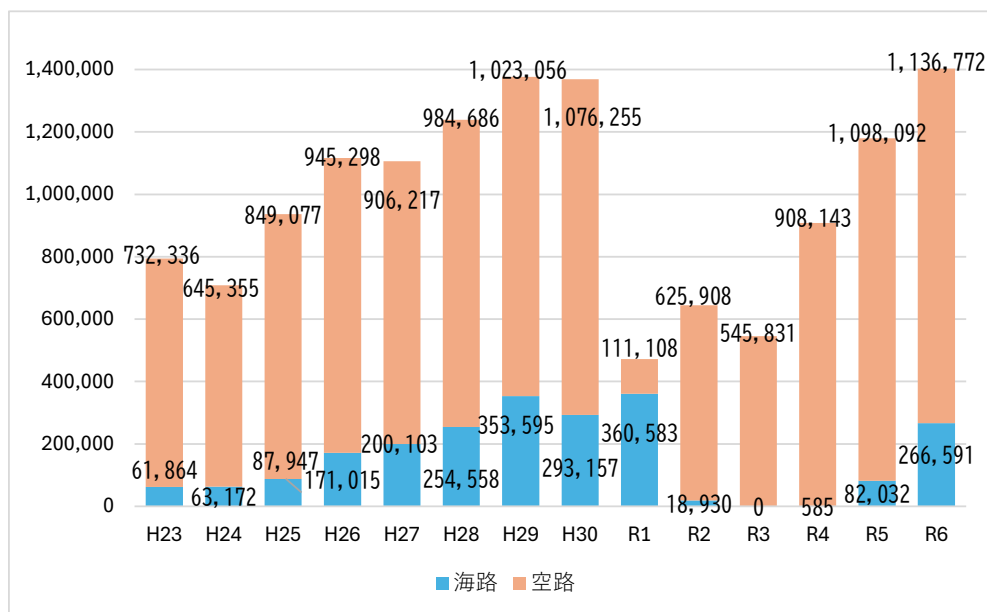


図 23. 石垣市の入域観光客数

出典：石垣市入域観光客数

([https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kanko\\_bunka/survey\\_statistic/4166.html](https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kanko_bunka/survey_statistic/4166.html))

・石垣港クルーズ船入港数について

入港数についても、新型コロナウイルス前の隻数に戻ってきています。

表 7. 石垣港へのクルーズ船入港数（単位：隻）

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数	52	65	73	84	95	132	107	148	10	0	2	34	124

※R3は新型コロナウイルス感染症の影響により入港なし。

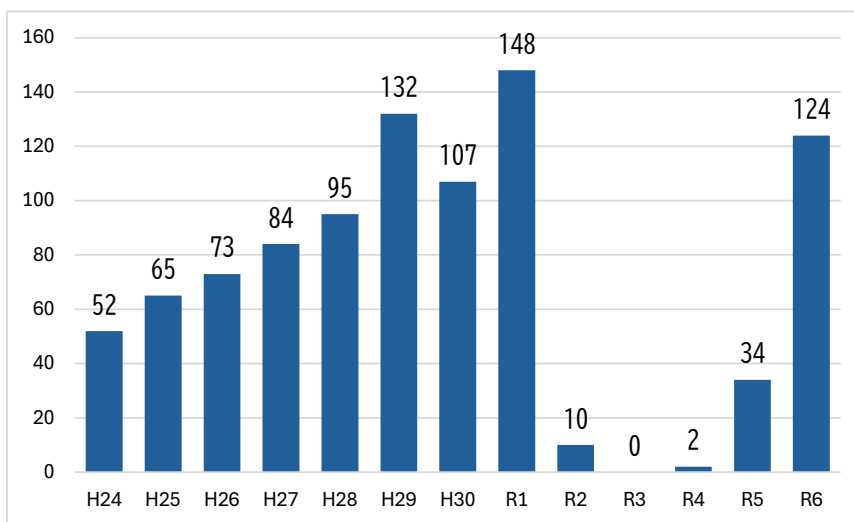


図 24. 石垣港へのクルーズ船入港数

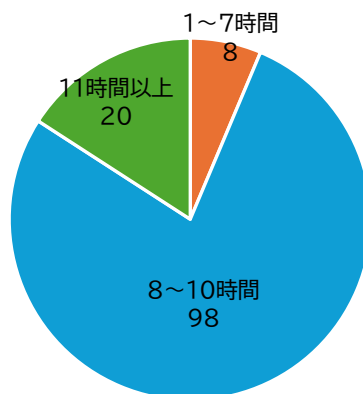
出典：石垣市石垣港クルーズ船入港予定

(<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>)

・クルーズ船滞在時間について

滞在時間については、午前中に入港し夕方に出港する8～10時間が一番多いです。半日～1泊するクルーズ船は全体の16%と少ないです。

滞在時間	入港数	割合
1～7時間	8	6%
8～10時間	98	78%
11時間以上	20	16%
合計	126	100%



■ 1～7時間 ■ 8～10時間 ■ 11時間以上

出典：石垣市石垣港クルーズ船入港予定

(<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>)

(10) 施策⑬：船越（フナクヤー）や多良間田跡の観光地としての再生

- ・フナクヤーは、伊原間地区の地形的に細くなったところ（東シナ海～太平洋間約 300m）で、かつて東の浜から西の浜まで海を移動するのではなく、漁の船を担いで移動したことであり、現在もその名残として海神祭りが継承されています。
- ・また多良間田跡は、多良間島の人が船で通い、米を作っていたといわれる水田跡です。
- ・いずれも、北部地域・西部地域の歴史文化を語る文化的な遺産であり、後世に継承するため、また広く市民や観光客に知ってもらうため、観光地としての再生が考えられます。

【多良間田跡】

- ・平久保半島平野集落から約 1.6km の東海岸に、多良間島の人が舟で通い、米を作っていたと言われている田んぼの跡が今も残っている。1752 年に編さんされた「宮古島記事」に伝承としての記載があり、更に古く遡ると考えられている。
- ・石垣在多良間郷友会メンバーによる草刈りなどの活動により維持されてきたが、高齢化による人手や資金の不足から、現在管理が行き届かなくなっている。
- ・2017 年に石垣市教育委員会と多良間郷友会の皆さんによって設置された現地の看板は、現在朽ちてしまっており、補修が必要となっている。

●多良間田跡復元と農地活用



【船越】

- ・フナクヤー（伊原間）

伊原間では昔、海人は天候にあわせて船を担いで太平洋側（東）と東シナ海（西）のどちらから漁に出るか決め、船を担いで移動していた。

石垣島では旧暦 5 月 4 日に海神祭ハーリーが開催され、伊原間では北部漁友会主催で船越屋ハーリー（フナクヤーハーリー）が船越漁港で開催された。当時を再現して、「フナクヤー、ハーリー」の掛け声とともに島の東から西側の港までハーリー船を担いで越えるのがフナクヤー海神祭の特徴で 1999 年から継続されてきた。

（参照元：「八重山の伝統行事」やいまタイムおよび琉球新報のハーリー関連記事）



#### (11) 施策⑭：関係人口・交流人口の拡大、イベントスペースの整備

- ・過疎化が進行している北部・西部地域の各集落では、移住者の定住と地域コミュニティの活性化を促進します。
- ・移住・定住に向けたきっかけとなることから、移住の裾野拡大に向けて、本市に継続的に多様な形でかかわる関係人口・交流人口の拡大に向けた取組みを推進します。

#### 【石垣島北部へおいでよ！フェスタ】

- ・第2回「石垣島北部へおいでよ！フェスタ」（主催・石垣市北部農村集落活性化協議会、Airbnb Japan主催）が2025年2月9日、平久保小学校で開催され、地域住民や親子連れなど多くの人でにぎわった。乗馬体験や動物ふれあい体験には開場と同時に人気を集めた。
- ・会場には午前11時のオープンとともに大勢の人が訪れ、染め物や民具作りなどの体験コーナーやワークショップを楽しむとともに、キッチンカーや「あかし直売店」の農産物を買求めた。
- ・このうち石垣島馬広場（平久保）と琉球美ら馬ホースクラブ&CAFÉ（明石）による「島の風を感じる！ 子供乗馬体験」には、開始直後から親子連れが長蛇の列をつくった。
- ・「仲間たちとふれあおう！ 楽しい動物ふれあい体験」や、インラインスケートとスケートボードの体験コーナー、移動美容室Stella（野底）、や他にマウナケカイによるフラショー、トイドローンの体験などもあった。













出典：八重山毎日新聞 (<https://www.y-mainichi.co.jp/news/41291/>)

## 5.4 地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人たちにも提供

### (1) 施策⑮：農産物加工所、モノづくりの場の整備

- ・石垣には八重山特産の農産物がたくさんあり、「ゆらていく市場」などで供給されている。またセイロン産のシナモンの生育・加工や、インド産のモリンガの生育・加工など新たな特産品も供給されています。
- ・今後、6次産業へと事業拡大する意向のある農業者などは回答者の6割を占めており（アンケート調査結果より）、水産研究所跡地や平久保小学校跡地を加工品製造場所として提供し、新たな石垣ブランドとして供給していくことが考えられます。

### 【石垣の農産物加工品】

<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">石垣島産星の美しや</p> <p style="font-size: x-small;">みやぎ米屋㈱</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">もろみ豚味噌漬</p> <p style="font-size: x-small;">農業生産法人(同)川満養豚</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">ハーブ香るもろみ豚</p> <p style="font-size: x-small;">農業生産法人(同)川満養豚</p>
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">もろみ豚ハンバーグ</p> <p style="font-size: x-small;">農業生産法人(同)川満養豚</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">バニラシュガー</p> <p style="font-size: x-small;">石垣島バニラ</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">バニラビーンズ</p> <p style="font-size: x-small;">石垣島バニラ</p>
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">お肉のタレ石垣島フルーツの王様</p> <p style="font-size: x-small;">三和ヘルシー加工所</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">pineapple jam</p> <p style="font-size: x-small;">森井農園</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">八重山の香り ヒバーツ</p> <p style="font-size: x-small;">森井農園</p>
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">蜂蜜</p> <p style="font-size: x-small;">㈱石垣島はちみつ</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">いむせん(紅芋揚げせんべい)</p> <p style="font-size: x-small;">農事組合法人石垣島海のもの山のもの生産組合</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; font-weight: bold; font-size: small;">石垣島認定特産品</div>  <p style="font-weight: bold;">石垣の塩 180g</p> <p style="font-size: x-small;">㈱石垣の塩</p>

## (2) 施策⑩：地場産物を使った飲食の提供、地産地消

- ・北部地域・西部地域は、八重山そばやカフェなどの飲食店が点在します。北部地域・西部地域全体で活性化を図るためには、観光客が素通りせずに足を止めるような、特色あるものの提供が必要です。
- ・そのため、地場産物を使ったこの地域ならではの食事の提供など、新たな地域グルメの創出と地産地消の推進を北部地域・西部地域全体で推進することが考えられます。

### 【八重山そば】

石垣島や離島を含む地域で食べられている八重山そばは、細めのストレート麺で断面は丸いのが特徴。地元の人々は、八重山そばに「ピパーチ（島こしょう）」と呼ばれる香辛料をかけて、味の変化を楽しむ。ピパーチは、ピリッとした辛みとシナモンのような甘い香りを持ち、八重山そばに欠かせない調味料。



### 【パイヤチャンプルー】

石垣島では、熟す前の青パイヤを野菜として食べる事が多く、ツナなどと一緒に炒めたパイヤチャンプルーは日常的に親しまれている。

今のように食料が豊富ではない時代、八重山地方では、体調を整え、滋養強壮、体力をつける栄養素満点の食材として大切にされていた。



### 【じゅーしーかまぼこ】

沖縄風炊き込みご飯「ジューシー」を八重山かまぼこで包み揚げた、金城かまぼこ店オリジナルの「じゅーしーかまぼこ」。石垣島でしか味わえないおにぎりかまぼこ。



### 【石垣牛ステーキ】

石垣牛は、厳しい条件を満たした牛のみが認定されるブランド牛。赤身と脂身のバランスが良く、とろけるような食感と豊かな味わいが特徴。



### 【牛汁、牛そば】

牛のすね肉やホルモンを島野菜と煮込んだ、八重山地方の郷土料理。石垣島を中心とした八重山地域では、農耕用としての役割を終え、老いて引退した牛に対し、魂まで感謝するとの意味を含め牛を解体し野菜類と煮込み『牛汁』として食べる文化がありました。古くから正月や祝い事などの際に食べられており、地元民のソウルフードとして親しまれてきた。



### 【車エビ】

石垣島を含め八重山地方は、車エビの養殖が盛んな地域。暖かく水質のいい環境で育った車エビは、身が大きく、プリッとした食感があり、甘味が強いのが特徴。11月から3月が旬で、この時期の車エビはうまみ成分「グリシン」が増し、最もおいしくなる。



車エビ刺身



車エビそば



車エビ塩焼き



カーリックシュリンプ

### 【パイナップル】

温暖な気候の石垣島で育つパイナップルは糖度が高く、酸味とのバランスも絶妙。パイナップルの王様と呼ばれる島パイナや、香りが強く果汁たっぷりのピーチパイナ、手でちぎって食べられるスナックパイナなど種類も豊富に楽しめる。



出典：ふるさと納税 ([https://furunavi.jp/discovery/knowledge\\_food/202403-ishigakijima/?srsltid=AfmBOoobDSPgvflQtbs52awH-NT467Fug5F6dykx15LymiphgG\\_exTkS](https://furunavi.jp/discovery/knowledge_food/202403-ishigakijima/?srsltid=AfmBOoobDSPgvflQtbs52awH-NT467Fug5F6dykx15LymiphgG_exTkS))

### (3) 施策⑰：地場産物などの直売所

- ・石垣市の代表的な直売所として美崎町の「ゆらていく市場」があり、2023年には年間売り上げ10億円弱、来場者数44万人強となっています。地元消費のほか観光客による売り上げも大きいとのこと。
- ・直売所の集客力は全国的にも大きいです。水産研究所跡地周辺には川平湾、米原ヤエヤマヤシ群落、米原ビーチなど石垣の代表的な観光スポットや飲食物産があります。
- ・水産研究所跡地において、道の駅のような施設を整備し、市内で生産する農作物のほか、農産物加工品、海産物加工品、八重山特産の民芸品など土産物を提供し、周辺観光スポットの観光ルートに組み入れることが考えられます。

#### 【直売所】

##### 【石垣島 ゆらていく市場】

ファーマーズマーケットやえやま「ゆらていく市場」は平成23年4月に日本最南端の農畜産物直売所としてグラウンドプンした。「ゆらていく」とはやえやまの方言で「よってらっしゃい」という意味で、店舗に大勢のお客様、生産者が寄ってらっしゃいと願いを込めて名づけられた。夏は八重山産のピンアップルやマンゴーなど熱帯果実が並び、日本一早い新米の出る「ひとめぼれ」は地元特産の米として大変人気。



出典：沖縄県農業協同組合 (<https://www.ja-okinawa.or.jp/farmersmarket/detail.php?id=542>)

#### 【周辺観光スポット】

##### 【米原地区にある国定天然記念物のヤエヤマヤシ群落】

八重山諸島の中でも、石垣島と西表島にしか生息しない「固有種」で非常に珍しいヤシ。幹は30cm樹高25mに達する大型で大きな波状複葉の葉をつけるのが特徴的。ヤエヤマヤシの鑑賞性は非常に高く「世界でもっとも美しいヤシ」と称されるほど、国の天然記念物に指定されている。 ※散策道は滑りやすく、階段も多い為、歩きやすい靴がお薦め。

料金：無料

営業時間：無

散策路は照明施設がない為（日中がお薦め）

定休日：無

空港：車（25分）

離島ターミナル：車（30分）

駐車場：有（15台）

送迎：無

形態：【自然】



出典：石垣市観光交流協会 (<https://yaeyama.or.jp/>)

#### (4) 施策⑩：車エビ、海ブドウ、ウニ、アーサ、ブリなど海のものの養殖

- ・石垣の市内総生産に占める水産業の比率は全国的にも高く、石垣市ならではの特性の一つです。市内には車エビの養殖をはじめとして、海ブドウ、ウニ、シャコガイ、アーサ、ブリの養殖、塩づくりなど石垣の特産品となる海産物が豊富にあります。特に、この海水を生かした陸上での生産は、石垣ブランドの新たな興隆として期待できます。
- ・そのため、水産研究所跡地において、海産物を主とした石垣ブランドの新たな生産場所を提供することが考えられます。

#### 【石垣島で養殖している海産物】

##### ・ミーバイ



##### ・モズク



##### ・竹富エビ



##### ・海ブドウ



出典：特産島石垣島 (<https://www.tokusanjima.jp/>)  
竹富エビ養殖 (<https://euglena-taketomiebi.com/aboutus/>)  
合同会社 結円 (<https://yuimaru-umibudo.com/>)

(5) 施策⑱：産業振興のためのモノづくりや市内事業者などのワーキングスペース

- ・市内事業者には、移転や拡張のニーズがあり、その際の権原は、土地、建物の賃貸ニーズが比較的高いです。
- ・また、北部地域・西部地域は民芸品などモノづくりを行っている事業者がたくさんおり、そのなかには、新たに事業場所を探し、事業拡張を計画している事業者もいます。(アンケート調査より、37%が拡張、移転を予定している)
- ・こういった市内事業者やモノづくり事業主の事業場所の受け皿として、水産研究所跡地を中心に場所を提供することが考えられます。

【石垣島 工芸品】

・石垣焼



・八重山みんさ一織



出典：石垣焼窯元 (<https://www.ishigaki-yaki.com/>)  
みんさ一工芸館 (<https://minsah.co.jp/>)

## (6) 施策⑳：水耕栽培工場

- ・葉物野菜の島外供給の依存や生産状況による価格高騰といった問題を解消するための方策のひとつとして、植物工場による安定的な生産と、安心・安全で新鮮な葉物野菜を島民へ安定供給することが考えられます。
- ・今後の水耕栽培需要も勘案した中で、植物工場の受け皿として、北部地域・西部地域全体が考えられます。

### 【沖縄県国頭村：VEGE 平（ベジヘー）】

県内初の水耕栽培システムを導入。太陽光によるビニールハウス内での水耕栽培で、主にリーフレタスを 365 日栽培し、県内の直売所や大手スーパーなどに卸している。

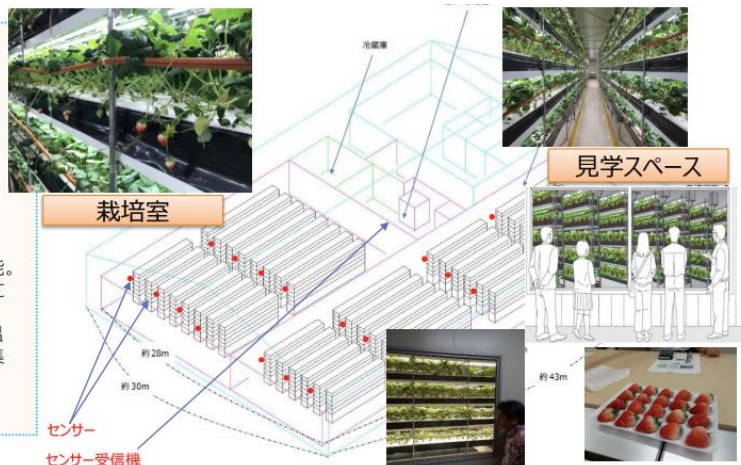


### 【沖縄県大宜味村：村上農園】



### 【沖縄県大宜味村：沖縄セルラー アグリ&マルシェ株式会社】

- ▶ 沖縄県内初の ICT を活用した完全密閉型イチゴ栽培
- ▶ 栽培株数 約20,000株
- ▶ 多段式（5段）水耕栽培
- ▶ 照明 LED
- ▶ 年間収穫量 約30 t
- ▶ 稼働開始 2017年12月
- ▶ 収穫開始 2018年6月
- ▶ ブランド名 美ら島ベリー
- ▶ 特長
  - 年間を通じて安定した収穫が可能。
  - 栽培条件を管理することで、味や色に個体差がほとんどなく、品質が安定。
  - 情報通信技術（ICT）の取組温度、湿度、CO2濃度のデータを収集し、イチゴの生育状況との関連性を分析



出典：VEGE 平 (<https://vegehei.com/about.html>)  
 (株)村上農園 (<http://www.oki-murakamifarm.com/>)

## 5.5 北部地域・西部地域を一つのまちととらえ連携

北部地域・西部地域全体を一つのエリアとして捉え、新たな拠点となる平久保小学校跡地や水産研究所跡地を核として、北部地域・西部地域全体を活性化させるため、北部地域・西部地域の連携のあり方について整理します。

連携にあたっての考え方は、物理的な連携、機能的な連携及び、情報提供の推進による連携となります。

### (1) 施策②：物理的な連携

北部地域・西部地域の住民の主な交通手段は自家用車であり、路線バスは運行しているが、数本／日でほとんど利用されていないのが実態です。マイカーのない人には、タクシーを利用するといった選択肢もあるが、タクシー会社は南部エリアにあること、中心部まで約50kmの道程利用は普段使いには不向きです。

一方、観光客については、約半分がレンタカー、約2割が観光バスの利用となっております。そのため、まずは地域住民の移動手段を検討する必要があるとあり、今後高齢化が進めば、ますます交通弱者が増えていくことから、地域住民の足として新たな公共交通が必要となります。

#### 誰もが気兼ねなく好きな時に好きな場所へ

##### 【詳細な取り組み事項】

- ・市民のための路線バスサービスのあり方検討
- ・自家用有償旅客運送の検討
- ・オンデマンド交通の検討
- ※市の別事業との連携

#### 【石垣市の自動運転】

- ・石垣市、NTT 西日本、NTT ビジネスソリューションズ、マクニカ、東運輸は、石垣市における「地域住民向けの持続的な交通手段の維持」や「観光客向けの二次交通手段の拡充」という地域課題の解決に向けて、2024年11月12日から11月16日まで自動運転の実証調査を実施。実証走行区間は、石垣港新港地区旅客船ターミナル～南ぬ浜町緑地公園～石垣港離島ターミナル間。
- ・平成29年に実施されたユージュレナ石垣港離島ターミナルと新石垣空港間での実証実験に続く、より精度の高い自動運転システムの検証と位置付けている。
- ・次年度以降、今回の路線のほか、別ルートについて、走行距離なども考慮したうえで実験を進めていくという予定を明かし、今回の実験で有意義な結果が得られること、事故なく安全に運行することに期待を寄せつつ、実証実験への参加を呼びかけた。



出典：マイナビニュース (<https://news.mynavi.jp/article/20241112-3063292/>)

## 【石垣市 「自家用有償旅客運送制度」 & 「オンデマンド交通」 社会実装に向けたトライアル】

### ・石垣市デマンド交通 きょう実証運行開始

石垣島北部（伊原間、明石、久宇良、平久保、平野）と市街地を結ぶ石垣市デマンド交通の実証運行が6日、始まる。ジャンボタクシー3台（各乗車定員8人）が来年2月5日までの間、毎週月・水・土曜日の午前7時から北部と市街地をそれぞれ2時間おきに出発して運行する。最終便の出発は両地それぞれ午後3時。専用アプリや電話で事前に予約して利用する。実証運行は北部地区住民を対象に無料で行き、アンケートなどをへて本格運用につなげる考え。

ふるさと納税を活用して実施する。事業費は2500万円。丸紅株が受託し、運行システムやアプリの開発を担う。

デマンド交通は人工知能（AI）技術を活用して予約の入ったバス停のみを最短で運行する。北部地区では住民の自宅か自宅付近の290カ所に、市街地では医療機関や商業施設、公共施設など60カ所に停留する。

予約はアプリや電話で出発地と目的地を入力して行う。北部から出発する場合は前日の午後5時までに予約が必要で、市街地からは第1便を除き当日の2時間前までの予約が可能となっている。



出典：2024年11月6日八重山毎日新聞

## (2) 施策⑳：機能的な連携

北部地域・西部地域には、それぞれ良いところがあり、また日常生活の上で不足している点も見受けられます。また観光エリアとしても、過年度調査によるアンケート結果では、魅力的なところがあるにも関わらず、あまり認識されておらず、素通りされている面もみられます。

良いところを生かし、不足する面や改善すべき面を補いながら、北部地域・西部地域全体での役割分担と連携により、活性化を目指します。

### 将来コンセプトの設定

#### 機能分担と連携により北部地域・西部地域活性化に勢いを

##### 【具体的な機能整備】

- ・平久保小学校跡地での地域住民の新しい居場所づくり
- ・水産研究所跡地での地域ブランド拠点・北部への玄関口づくり
- ・両拠点間の物資融通の推進：水産研究所に集まる生活物資、生産物を平久保にもリレー
- ・観光場所・景勝地のアクセス利便性向上
- ・海辺ではありのままの自然の美しさをアピール
- ・北部地域・西部地域の連携の動線上で、島ならではの飲食、物販を提供

### (3) 施策⑳：情報提供の推進

前述の通り、北部地域・西部地域には素晴らしい観光資源があるのに、来訪者にはあまり認知されていない状況があります。また飲食・物販施設についても、うまく情報提供がされていないために、素通りされてしまっているといったことも想定されます。

一方、水産研究所跡地で新たな生産拠点、交流の拠点の整備が想定される。そのため、この場所で北部地域・西部地域の地域振興、観光の玄関口（案内所）としての機能を整備し、北部地域・西部地域の魅力を発信していきます。

#### 将来コンセプトの設定

#### 北部地域・西部地域の素晴らしさを市民や観光客のポートフォリオに

##### 【情報提供に関する整備内容及び手段】

- ・ 総合案内所機能の整備（中心部、水産研究所跡地）
- ・ 北部地域・西部地域のまちづくり憲章の周知（総合案内所、ネット、案内看板）
- ・ 各拠点地の情報提供（総合案内所、インターネット、SNS、など）
- ・ 北部地域・西部地域の各拠点地への道しるべ設置
- ・ 北部地域・西部地域オプショナルツアー（1日、半日、〇〇体験など）の提案（専用デスクの整備による情報提供・受付、ネットによる受付）
- ・ 推奨観光ルートの提供（ネット、総合案内所）



鎌倉の観光案内所



近畿日本ツーリストのネット版道しるべ



千代田区観光案内

北部地域、西部地域をひとつのまちと捉え、連携

- ・物理的な連携…誰もが気兼ねなく好きな時に好きな場所へ
- ・機能的な連携…機能分担と連携により北部地域・西部地域活性化に勢いを
- ・情報提供の推進…北部地域・西部地域の素晴らしさを市民や観光客のポートフォリオに

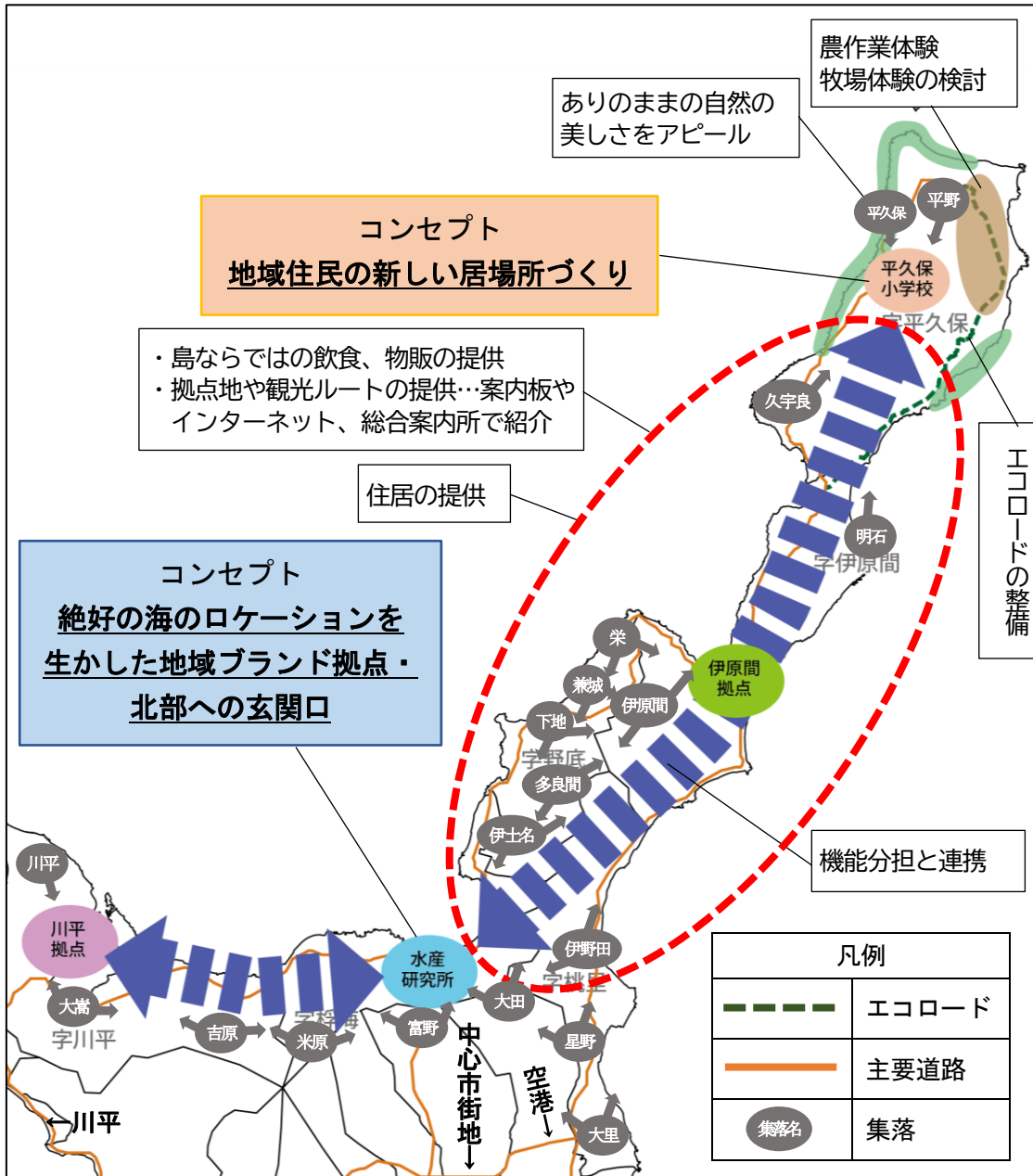


図 25. 地域連携のイメージ

## 6. 重点プロジェクトの選定及び基本的な考え方の検討

### 6.1 重点プロジェクトの選定

緊急性と重要性及び実現性の視点から重点プロジェクトを選定します。

#### ①将来ビジョン達成のためのコンセプトの推進

コンセプト 4 つを推進していくことが北部地域・西部地域の活性化に繋がる。基本的に第5章で抽出した施策は、この4つと結びつくため、第5章で抽出した施策を対象として重点プロジェクトを選定する。

#### ②重要度が高い施策は、地域経済活性の視点に合致するもの（地域の良い所を活かす。地域の価値を上げる。地域問題を解決する。経済活性化に繋がる）や上位計画に位置づけている施策とする。

#### ③他事業でやっているものは緊急性が低い施策とする。

#### ④実現性（＝労力、コスト）は、労力やコストの視点から、すぐにとりかかることが可能か、あるいは長期のスパンで検討すべきかを判断する。

以上の視点で整理し、緊急性と重要性の高い施策を重点プロジェクトとして選定しました。すなわち、②、③、⑬、⑭施策が考えられる平久保小学校跡地利用と、②、③、⑮～⑱施策が考えられる水産研究所跡地利用を重点プロジェクトとして選定します。

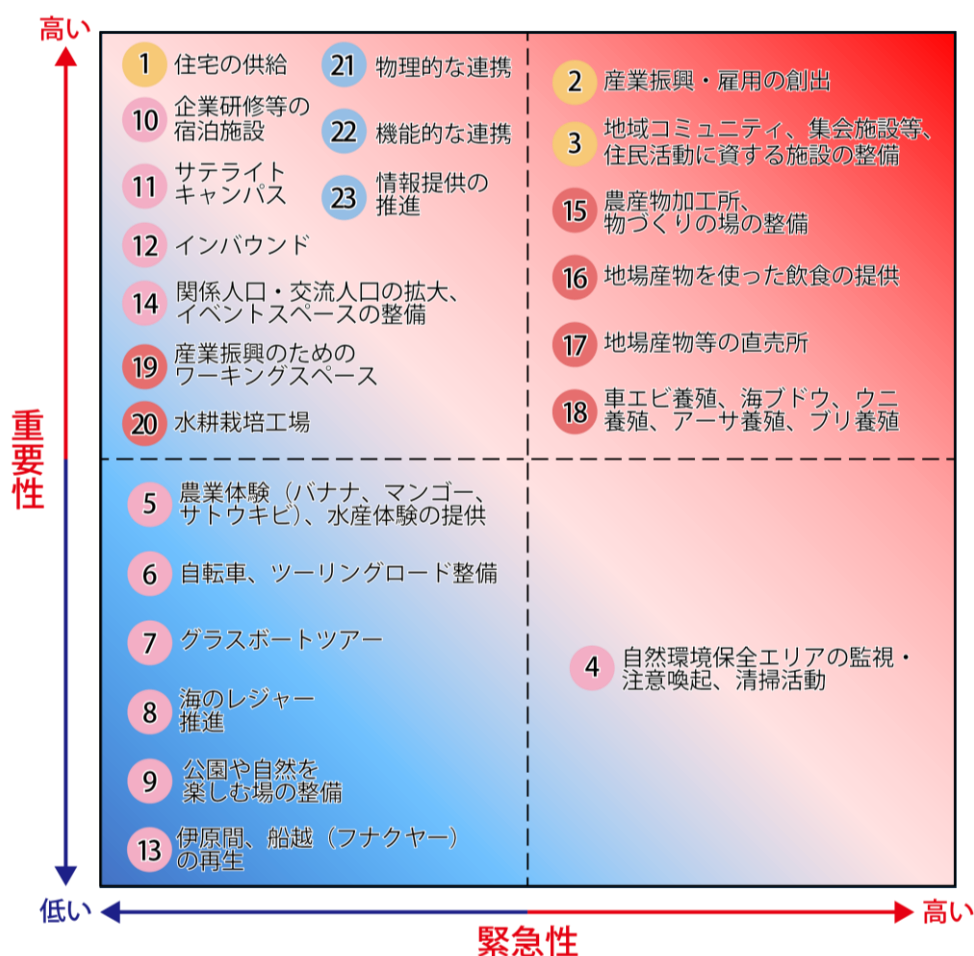


図 26. 緊急度と重要度のマトリクス

表 8. 施策案に関する評価

将来ビジョン達成のためのコンセプト	施策番号	コンセプトを実現する施策案	緊急性	重要性	実現性
地域コミュニティ社会の存続	①	住宅の供給	△	○	△場所探し
	②	産業振興・雇用の創出	○	○	△誘致活動
	③	地域コミュニティ、集会施設など、住民活動に資する施設の整備	○	○	△担い手
市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供	④	自然環境保全エリアの監視・注意喚起、清掃活動	○	△	△担い手コスト
	⑤	農業体験（バナナ、マンゴー、サトウキビ）、水産体験の提供	△	△	△担い手
	⑥	自転車、ツーリングロード整備	△	△	△コスト
	⑦	グラスボートツアー	△	△	△担い手
	⑧	海のレジャー推進（子供が楽しめるウォータースライダー、ダイビングなど）	△	△	△コスト
	⑨	公園や自然を楽しむ場の整備	△	△	○
	⑩	企業研修、教育旅行の場及び研修者などの宿泊施設	△	○	△誘致活動
	⑪	サテライトキャンパス（石垣の特性に合う教育部門）	△	○	△誘致活動
	⑫	インバウンド（クルーズ船）の受け入れ	△	○	△コスト
	⑬	伊原間、船越（フナクヤー）の再生	△	△	△コスト
	⑭	関係人口・交流人口の拡大、イベントスペースの整備	△	○	○
地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人達にも提供	⑮	農産物加工所、物づくりの場の整備	○	○	○
	⑯	地場産物を使った飲食の提供	○	○	△
	⑰	地場産物などの直売所	○	○	○
	⑱	車エビ養殖、海ブドウ、ウニ養殖、アサ養殖、ブリ養殖	○	○	○
	⑲	産業振興のためのワーキングスペース	△	○	△コスト
	⑳	水耕栽培工場	△	○	○
北部地域・西部地域をひとつのまちと捉え、連携	㉑	物理的な連携	△	○	△コスト
	㉒	機能的な連携	△	○	○
	㉓	情報提供の推進	△	○	△コスト

## 6.2 平久保小学校跡地活用事業

### (1) コンセプト

北部地域・西部地域では、公民館や集落を中心とした現在のコミュニティを維持し、この地域の有する自然環境を保全するとともに、地域経済の循環を目指し、高齢者に対応した生活環境づくりや移住者の受け入れ、この自然環境を求める観光客のための利便施設や地域を活性化に導くサテライト的なオフィスやキャンパス環境の形成を目指します。

### 地域住民の新しい居場所づくり

#### 【詳細な取り組み事項】

- ・ 地域住民のコミュニティと生活を支える拠点として、次の機能を想定する(例えば：)
- ・ 住民：生活…地域住民憩いの場、コミュニティの場、福祉拠点、災害時の避難場所  
生産…地域産業を生かした新産業の育成、飲食、物販の提供
- ・ 観光客：北部観光地巡りの休憩所、ゆっくり時間を消費する農作業体験、牧場体験など
- ・ 移住者：北部に憧れる移住者に新たな住まいの提供、二地域居住の新しいカタチ
- ・ サテライトキャンパス：まちを活性化に導く若者、若者の受け入れ、学術の拠点
- ・ 南部地域住民：日常・非日常を通じて、気軽に訪れることができるコンテンツの提供

前節では、将来ビジョンを達成するための必要な施策として、特に平久保小学校跡地での施策となる次の項目を重点プロジェクトとして選定しました。次節以降では、この機能をベースに様々な導入機能を想定し、土地利用ゾーンを検討します。

### 平久保小学校跡地で期待される施策

表 9. 平久保小学校関連の施策

将来ビジョン達成のためのコンセプト	施策番号	コンセプトを実現する施策案
地域コミュニティ社会の存続	①	住宅の供給
	②	産業振興・雇用の創出
	③	地域コミュニティ、集会施設など、住民活動に資する施設の整備
市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供	④	自然環境保全エリアの監視・注意喚起、清掃活動
	⑥	自転車、ツーリングロード整備
	⑨	公園や自然を楽しむ場の整備
	⑩	企業研修、教育旅行の場及び研修者などの宿泊施設
	⑪	サテライトキャンパス（石垣の特性に合う教育部門）
	⑫	インバウンド（クルーズ船）の受け入れ
	⑬	伊原間、船越（フナクヤー）の再生
	⑭	関係人口・交流人口の拡大、イベントスペースの整備
地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人達にも提供	⑮	農産物加工所、物づくりの場の整備
	⑯	地場産物を使った飲食の提供
	⑳	水耕栽培工場
北部地域・西部地域をひとつのまちと捉え、連携	㉑	物理的な連携
	㉒	機能的な連携
	㉓	情報提供の推進

## (2) 平久保小学校の概要

### ①平久保小学校跡地

#### 【位置的特性】

敷地：石垣市平久保77番地

校地面積	
建物面積	3,324 m <sup>2</sup>
運動場	3,712 m <sup>2</sup>
その他	6,913 m <sup>2</sup>
合計	13,949 m <sup>2</sup>

当該施設は、最北端近くに位置し、石垣島北部の平久保地区、久宇良地区、平野地区、吉野地区を校区としていました。



出典：市提供資料

【施設の概要】

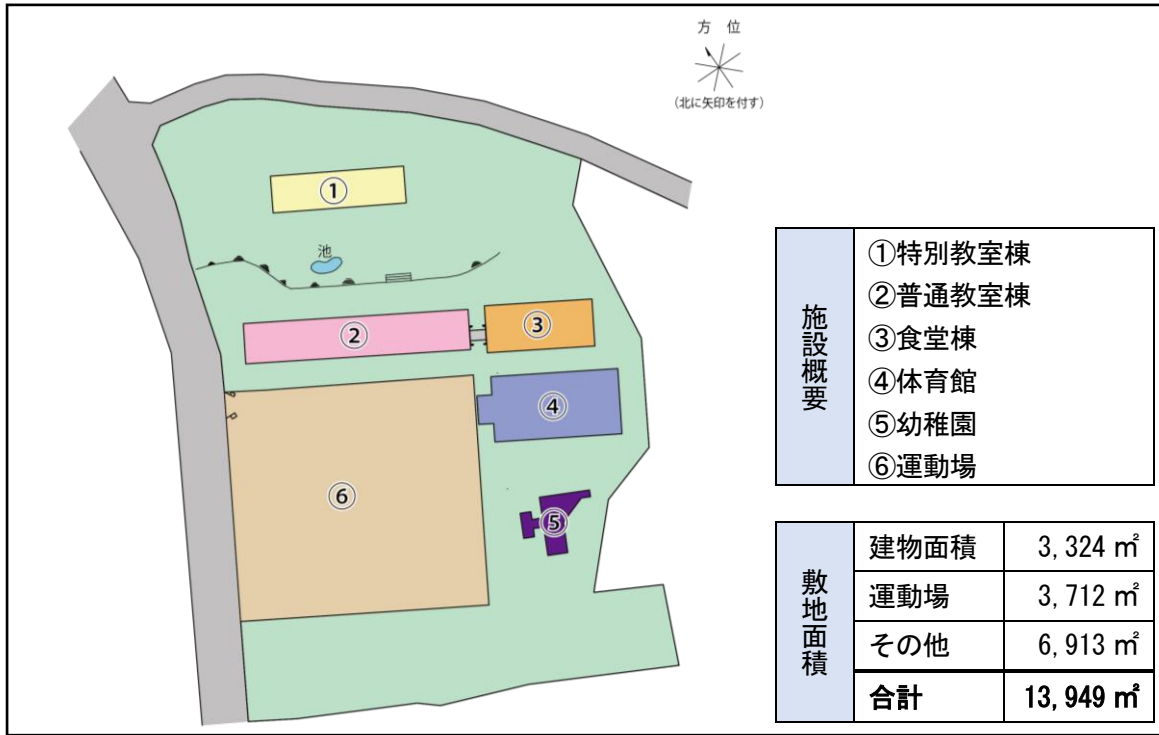


図 27. 施設の配置図

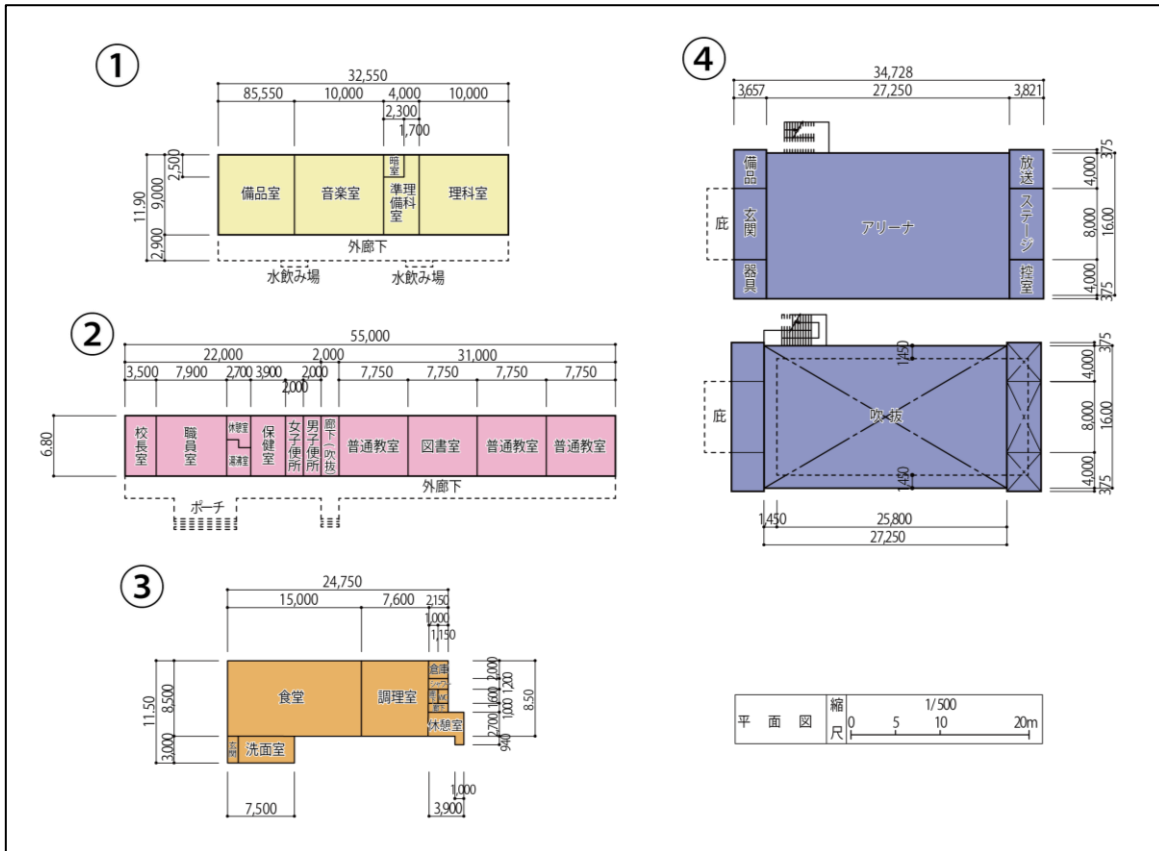


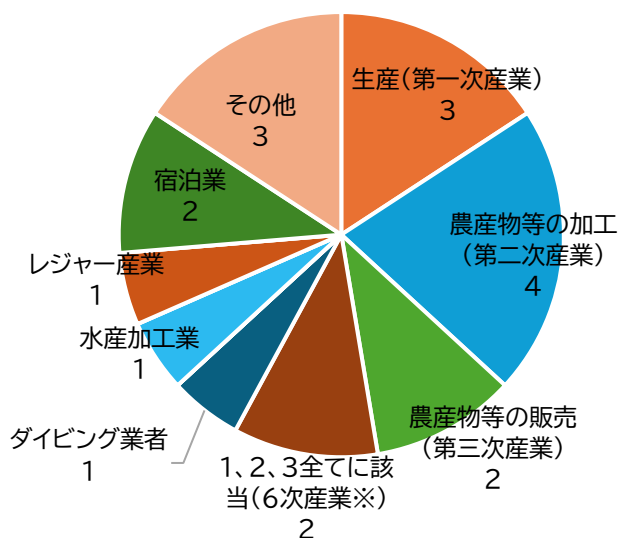
図 28. 施設の平面図

### (3) アンケート調査結果からみた平久保小学校跡地の利用ニーズ

平久保小学校跡地を移転先・拡張先の候補地として検討している業種と、その割合を以下に示します。

- ・「農産物の加工（第二次産業）」の業種が一番多く、次に「生産（第一次産業）」の業種が多くなっている。「生産（第一次産業）」～「1,2,3すべてに該当（6次産業）」のニーズが高く、6割を占めます。

選択肢	件数	比率
生産(第一次産業)	3	16%
農産物などの加工(第二次産業)	4	21%
農産物などの販売(第三次産業)	2	11%
1、2、3全てに該当(6次産業)	2	11%
ダイビング業者	1	5%
飲食サービス業	0	0%
水産業	0	0%
水産加工業	1	5%
海面養殖業	0	0%
レジャー産業	1	5%
伝統工芸品産業	0	0%
宿泊業	2	11%
その他	3	16%
<b>合計</b>	<b>19</b>	



【その他】 マッサージ業、共同売店

#### (4) 導入機能

重点プロジェクトを中心に、平久保小学校跡地での導入が想定される機能を整理します。

①地域コミュニティ施設・地域福祉施設  
公民館活動や文化活動、出前講座を行うスペースや娯楽室が想定される。また、高齢者が利用する福祉センターが想定される



イメージ

②料理スペース  
文化活動の一環として料理教室や、中食や観光客にも対応できる地場産品の調理、販売、食堂。



イメージ

③避難所・体育館  
体育館はもともと避難場所に指定されているが、建物の安全性の面からこのままでは利用できないため、その代替となる避難スペース



イメージ

④農産物加工エリア  
北部地域西部地域の6次産業事業者が利用する加工施設であり、加工に必要な機械などを備えられるスペースの整備が想定される



イメージ

⑤物産、飲食スペース  
観光客や北部西部地域住民の日常買い物、飲食スペース。また、地域住民が製造販売する地場産品の提供



イメージ

⑥情報提供・休憩スペース・受付  
観光客や地元住民の休憩スペース、情報スペース



イメージ

⑦屋外イベントスペース、公園  
屋外運動場をイベントスペースとして、運動会、ソフトボール、サッカー、フリーマーケットで利用



イメージ

⑧サテライトオフィス・キャンパス  
学校の教室割りを利用したサテライトキャンパス、サテライトオフィス、野外学習やゼミ合宿所、ゲストハウスなどのスペース



イメージ

⑨農産物生産エリア  
地元住民の生産活動や、観光客や子ども、学生の体験農業の場



イメージ

## (5) 土地利用ゾーニングの検討

土地利用ゾーニングは、そのターゲットと利用目的により複数案想定されます。場所的に条件不利地となり、地域の消費人口に頼った経済活動は難しいです。そのため、ここでは、①地域コミュニティ重視型、②関係人口受け入れ型、③合宿・野外学習活用型及び、④アグリパーク型の想定される4案を示します。

なお、現体育館は、耐震基準により、活用できない可能性があります。

※表の記載について（水産研究所についても同様）

次ページ以降の各案の説明において、下表を用います。それぞれの項目の記載内容は、下表の通りです。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
配置図に記載されている建物名	前項（4）導入機能に記載されている機能	具体的な施設、エリアの名称

### ①地域コミュニティ重視型

地域住民の福祉向上やコミュニティの活性化を図る施設中心に整備します。教室棟は、工房や民芸体験などができるテナントを地域主導型で運営します。地域住民や観光客のための農産物、地場産品の直売所や飲食店、観光案内などの「道の駅」の機能を持たせます。またグラウンドは、地域の行事や市街地住民や観光客を呼び込むイベントを定期的に行い、関係人口・交流人口を拡大することで、地域の活性化を図ります。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
特別教室	①地域コミュニティ施設・地域福祉施設	地域コミュニティ施設・地域福祉施設
普通教室	⑤物産、飲食スペース	工房・体験などのテナント（地域主導型）
給食室	②料理スペース	食堂・シェアキッチン
体育館	③避難所・体育館	産物直売所、飲食、フードコート、観光案内・情報発信（道の駅機能）
幼稚園	⑤物産、飲食スペース ⑥情報提供・休憩スペース・受付	避難所
グラウンド	⑦屋外イベントスペース	地域行事・野外イベントスペース、公園、駐車場

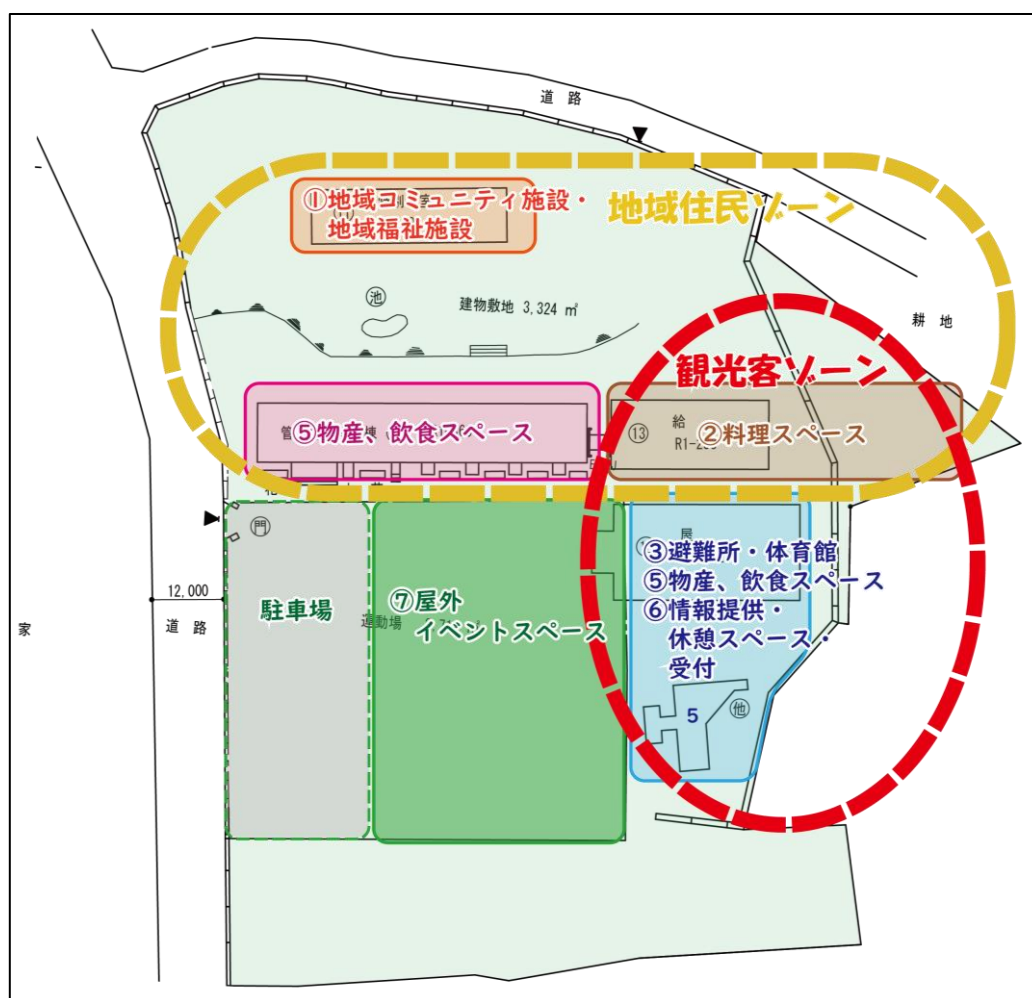


図 29. 将来導入機能イメージ

## ②関係人口受け入れ型

関係人口の増加や、それに伴う移住人口増加を目指し、サテライトオフィス、サテライトキャンパスや教育・研究機関などの誘致をメインとした利用を目指します。

また地域との交流を通じた、雇用創出・産業振興を図るため、交流スペースも設けます。

地域住民の生活利便性を向上させるための施設・コミュニティ施設や観光客のための案内機能なども整備し、グラウンドは地域の行事やイベント、グラウンドゴルフなどに活用できるようにします。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
特別教室	①地域コミュニティ施設・地域福祉施設	コミュニティ施設、地域福祉施設、隣接して駐車場
普通教室	⑧サテライトオフィス・キャンパス	サテライトオフィス、サテライトキャンパス
給食室	②料理スペース	シェアキッチン、食堂
体育館	⑥情報提供・休憩スペース・受付	コミュニティスペース、観光案内・情報発信スペース
幼稚園	研究所	研究所
グラウンド	⑦屋外イベントスペース	地域行事・野外イベントスペース、グラウンドゴルフスペース、駐車場

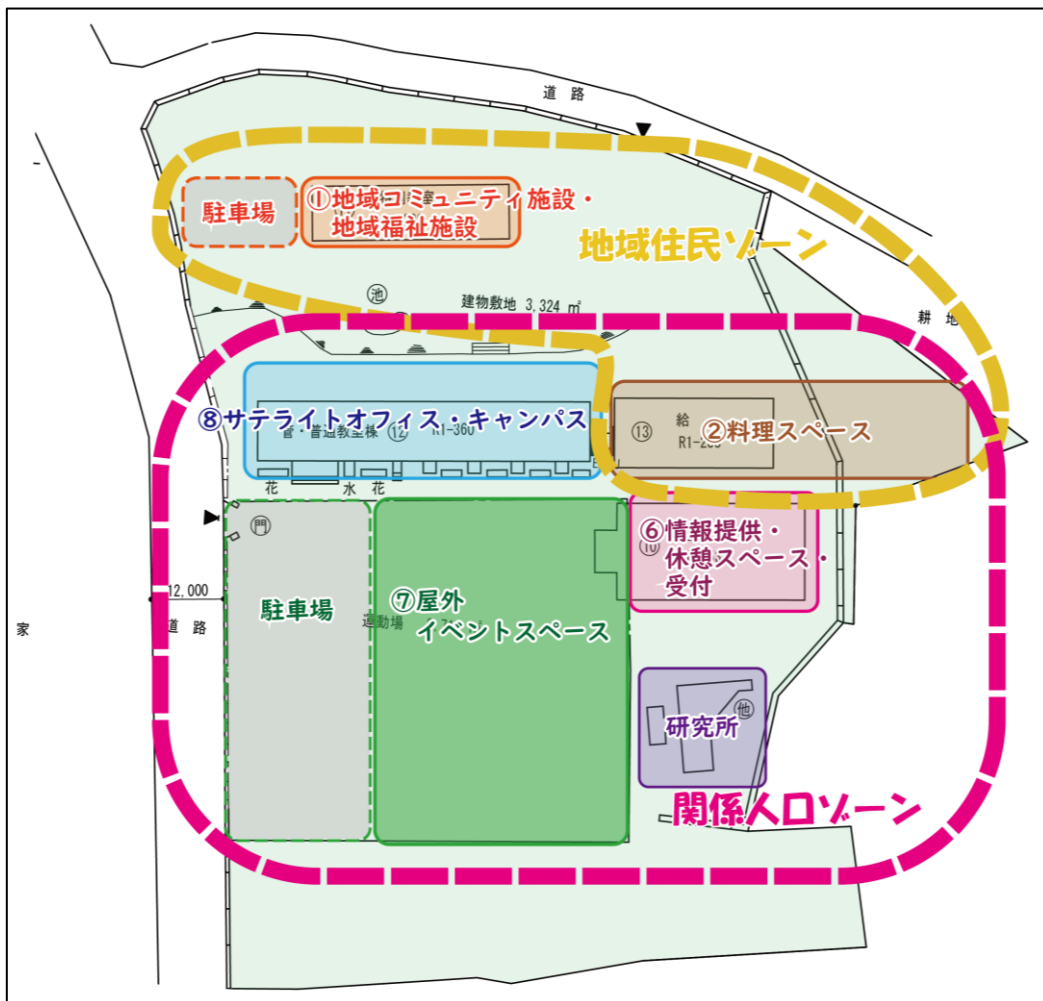


図 30. 将来導入機能イメージ

### ③合宿・野外学習活用型

高校・大学などの部活やサークルの合宿や、企業の研修の場や、市内外の青少年や学生の野外学習の場として利用します。

また地域住民との交流や、市民の生涯学習の場としての機能も備え、ワークショップや講座などのイベントなどを開催し、地域の活性化を図ります。

また、地域住民の生活利便性を向上させるための施設・コミュニティ施設も整備します。グラウンドは地域の行事やイベント、グラウンドゴルフなどに活用できるようにします。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
特別教室	①地域コミュニティ施設・地域福祉施設 ⑥情報提供・休憩スペース・受付	コミュニティ施設、地域福祉施設、受付、隣接して駐車場
普通教室	⑧サテライトオフィス・キャンパス	宿泊施設
給食室	②料理スペース	調理場、食堂
体育館	③避難所・体育館	体育館
幼稚園	⑧サテライトオフィス・キャンパス	セミナー・コミュニティルーム
グラウンド	⑦屋外イベントスペース	運動場、公園、屋外イベントスペース、グラウンドゴルフスペース

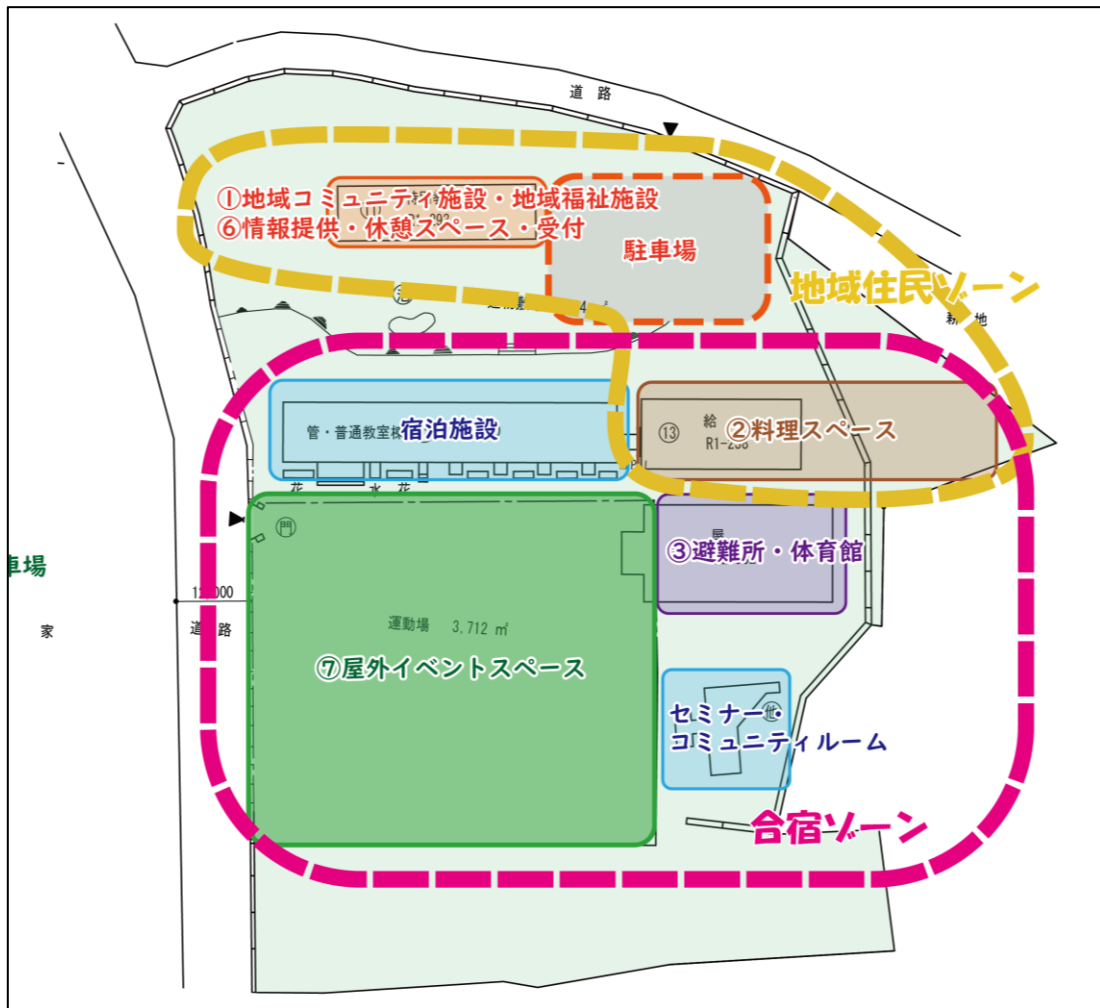


図 31. 将来導入機能イメージ

#### ④アグリパーク型

農作物の生産から消費までをテーマに、生産・加工・販売を一貫して行うアグリパークを整備します。農業体験の実施により、農業に関する知識や食の大切さを学び、地域の農家との交流する機会を創出することで、観光誘客と農業・地域の魅力発信を図ります。

また地域住民の生活利便性を向上させるための施設・コミュニティ施設や観光客のための観光案内機能も整備します。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
特別教室	①地域コミュニティ施設・地域福祉施設	コミュニティ施設、地域福祉施設、隣接して駐車場
普通教室 給食室	④農産物加工エリア	農産物加工・植物工場エリア
体育館 幼稚園	③避難所・体育館 ⑤物産、飲食スペース ⑥情報提供・休憩スペース・受付	物産（マルシェ）、飲食、観光案内・情報発信、休憩所、避難所
グラウンド	⑦屋外イベントスペース、公園 ⑨農産物生産エリア	農産物生産・農業体験エリア、野外イベントスペース、駐車場

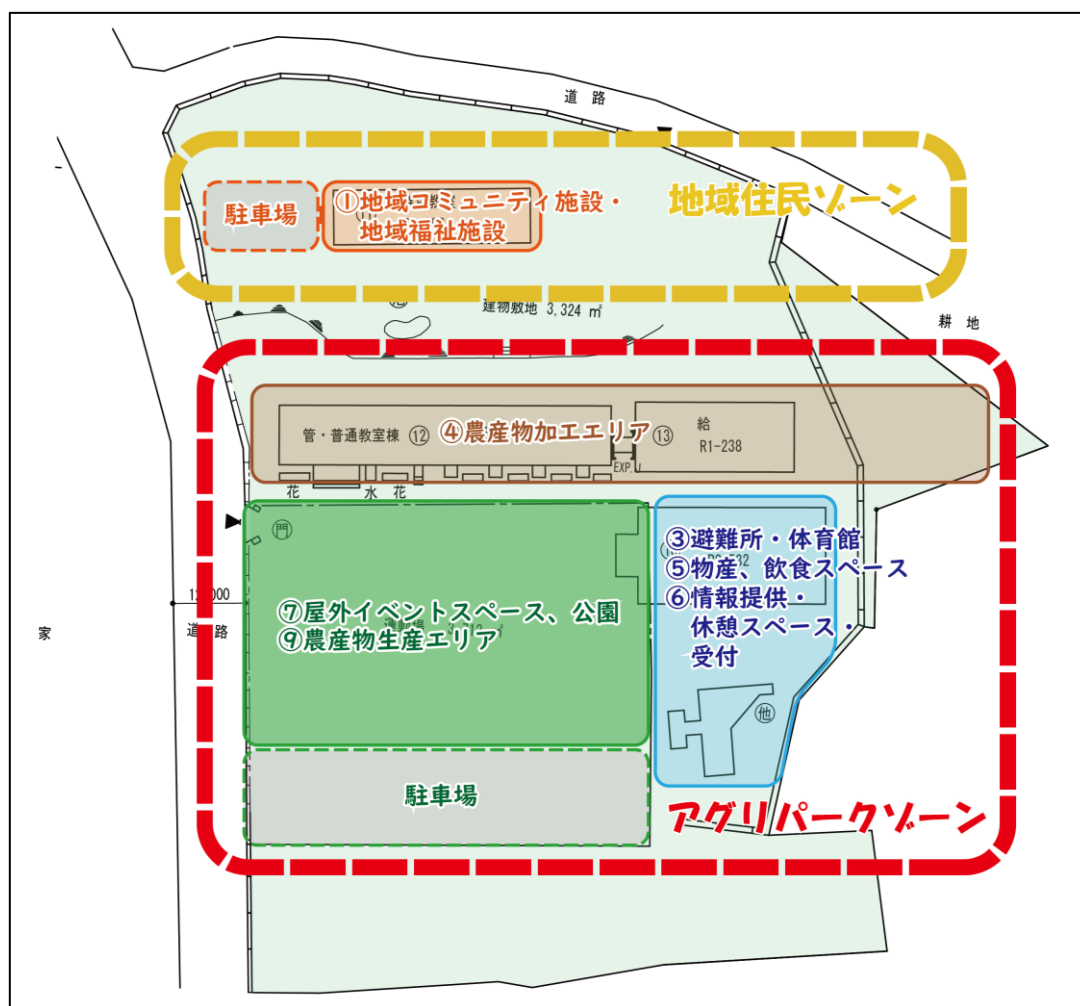


図 32. 将来導入機能イメージ

(6) 事例

コミュニティ複合施設として活用  
鳥取県八頭町 旧隼小学校→隼 Lab. (はやぶさらぼ)

①基本情報	
建築年度	1993(平成5)年度
活用開始年度	2017(平成29)年度
現在の施設名	隼 Lab. (はやぶさらぼ)
活用事業者	(株)シーセブンハヤブサ(無償貸与)
改修費用	総額約1.8億円 (うち自治体負担額:約9,000万円) (うち補助金額:約9,000万円)
活用した補助金などの名称	活用した補助金地方創生拠点整備(内閣府)
施設の規模	2,263.15㎡



②施設の概要
<ul style="list-style-type: none"><li>・1階には、カフェやショップ、看護協会、地域福祉組織などが入居し、2・3階には、コワーキングスペースやシェアオフィスなど、サテライトオフィスを意識したビジネス空間を設計・整備</li><li>・芝生グラウンドを整備し、体育館の貸出利用も行っている</li><li>・コンテナオフィス設置や駐車場増設など、隼 Lab. オープン後も追加整備を実施している</li></ul>

③廃校活用までの経緯
<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少を緩和するための重点取組事項「八頭イノベーション・バレーの創出」として空き施設を活用したサテライトオフィスの開設を検討。以降、地域住民を交えた協議会や、民間企業・地域金融機関を加えたまちづくり事業会社設立準備委員会を設立</li><li>・町が廃校となった校舎をリノベーションした上で、地域の民間企業などを中心に新たに設立されたまちづくり会社(株)シーセブンハヤブサへ無償貸与し、コミュニティ複合施設「隼 Lab.」として開設した</li></ul>

廃校活用のメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>・同規模施設の新築に比べて安価な改修費用で活用が可能なほか、民間事業者の運営により、本来かかる維持管理費用の削減につながった</li><li>・のグラウンドが指定緊急避難場所、体育館が指定避難所としてそれぞれ指定されており、これらの維持管理が継続して行われることもメリット</li><li>・廃校後も地域住民が集まれるコミュニティスペースとして維持している</li></ul>

活用開始までの課題・苦労したこと
<ul style="list-style-type: none"><li>・議会を含む地域の理解と協力を得ることが必須の課題であった</li><li>・事業検討の進捗に応じて、随時住民説明・議会説明を行い、意見集約とその反映に努めた</li></ul>

出典：<https://hayabusa-lab.com/>

## 地域交流拠点・オフィス・合宿施設として活用 佐賀県佐賀市 旧富士小学校→佐賀古湯キャンプ

①基本情報	
建築年度	1974(昭和49)年度
活用開始年度	2020(令和2)年度
現在の施設名	佐賀古湯キャンプ
活用事業者	佐賀市(指定管理者:(株)佐賀古湯キャンプ)(転用)
改修費用	総額約7.5億円 (うち自治体負担額:約4億円) (うち補助金額:約3.5億円)
活用した補助金などの名称	過疎対策事業債(総務省)、生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金(内閣府)
施設の規模	(土地)45,107㎡ (建物)3,086.83㎡



②施設の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・145名程度の収容が可能な簡易宿泊施設をメインに、コミュニティスペース、サテライトオフィススペース、会議室、温泉施設、体育館、人工芝グラウンドを備えており、スポーツ合宿、企業合宿などでの利用が可能</li> <li>・サッカー、ラグビー、ラクロス、ドローンのテストフィールドなど様々な利用がなされており、コミュニティスペースなどを活用したイベントも開催されていて、地域の賑わいづくりの場にもなっている</li> </ul>

③廃校活用までの経緯
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧富士小学校の跡地について、地元住民を中心として活用方法の検討・協議が行われた結果、「人々が集い、つながり、広がる、地域の拠点」というコンセプトをもとに、富士町の地域資源(人、自然、食、温泉、スポーツ施設など)を活かした施設として整備した</li> </ul>

廃校活用のメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設にはサテライトオフィスや食堂・カフェも併設し、その運営により地域雇用の創出を図っているほか、企業のスタートアップ支援などを通じて都心からの移住促進も目指しており、古湯という魅力的な温泉地の更なる認知度向上にも役立っている</li> </ul>

活用開始までの課題・苦労したこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民を中心とした利活用検討会議を発足し、そこで議論された活用コンセプトを活かしつつ、基本方針の策定支援・設計・運営を一括で実施できる事業者(JV)を公募(プロポーザル方式)した</li> <li>・施設整備後の管理運営を担う事業者の意見も反映できるようにした</li> <li>・プロポーザル方式による公募時には地域住民向けの説明会を開催するとともに、事業者決定後も地元自治会との連絡調整会議を設けて新施設の整備内容や利活用方法などについて協議を重ね信頼関係の構築に努めた</li> </ul>

## 地域交流拠点施設として活用

### 沖縄県うるま市 旧浜中学校→浜比嘉島地域交流拠点施設

①基本情報	
建築年度	1994(平成6)年度
活用開始年度	2022(令和4)年度
現在の施設名	浜比嘉島地域交流拠点施設
活用事業者	うるま市(転用)
改修費用	総額約2億500万円 (うち自治体負担額:約1,000万円) (うち補助金額:約1億9,500万円)
活用した補助金などの名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(内閣府)
施設の規模	5,681㎡



#### ②施設の概要

- ・1階には多目的ホール、コミュニティ食堂や共同売店を、2階には教室や図書館などコワーキングスペースやサテライトオフィスを、3階には宿泊施設として多様な宿泊形態に対応できるドミトリーや個室を設置している

#### ③廃校活用までの経緯

- ・廃校後、「学校跡地・跡施設利用基本方針」を策定した
- ・1階部分のみを地域住民が活用できる広場として改修・活用していくことになり、校舎1階部分について浜自治会による指定管理を開始した
- ・コワーキングスペースなどを備えた地域交流拠点施設としての活用実証イベントを約2週間開催し、浜自治会を含む共同事業者がコンソーシアムを組織し、地域との協働を推進するコミュニティ複合施設として管理運営を行っていくこととなった

#### 廃校活用のメリット

- ・閉店となった地域の売店機能が施設に備わったことにより、地域の課題解決に繋がった
- ・施設の運営は、地域の方が施設の清掃や売店運営などを担う形で参画しているため、雇用創出にも繋がっている

#### 活用開始までの課題・苦労したこと

- ・複数の事業者から様々な提案が寄せられたが、学校に思い入れのある地域住民の理解を得られず断念したことも多かった
- ・活用可能な補助金を検討している中、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設され、その活用により施設改修などを実施することができた
- ・旅館業法上の課題については、改めて備品設置などで対応することとなった
- ・契約内容の調整の際には、コンソーシアム及び宿泊施設の指定管理のノウハウがうるま市において不足していたこともあり、調整に時間がかかった
- ・上記の課題については、庁内関係部署の連携や指定管理者との密な意見交換・調整を重ねることで解決した

出典：<https://livinganywherecommons.com/base/uruma/>

## 大宜味村喜如嘉小学校 跡地活用

大宜見村の喜如嘉小学校は、21016年に閉校となり、現在は、「喜如嘉翔学校」として、自然を満喫しながら、非日常を味わえる施設として、お店、カフェなど工芸品店、本屋、サウナ、ハンモック工房など、バラエティに富んだ事業所の活動拠点になっている。

### 【施設概要】

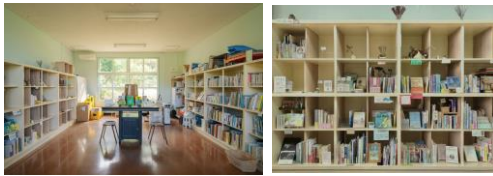
#### ・山原工芸店



#### ・方船（ハンモック）



#### ・山ブックス



#### ・体験



#### ・サウナ



#### ・カフェ



### 【運営】

#### ・合同会社キノボリトカゲ

指定管理ではなく、使用賃貸契約で運営。12室はテナントで入居している。

#### ・山ブックスの一角には共同書店を設置。棚ごとに「棚主」がいて、それぞれが選んだ本や手書きのポップが棚をカラフルに彩る。2024年9月現在、43人が棚主を務めている。

出典：喜如嘉小学校 (<https://ki-joka-sho.jp/>)

## 千葉県 高浜第二小学校跡

千葉市療育センター・ふれあいの家、Bringup ちば子ども発達支援センター、相談支援事業所、千葉大学サテライトキャンパスの複合施設「はまのわ」として運営開始。なお、体育館・グラウンドは市立稲毛高校附属中が利用している。



用途	概要	位置	供用予定日・時間(予定)	管理運営主体
【移転】 ①療育センター (ふれあいの家の一部)	障害児(者)のリハビリ、就労支援などを行う障害者福祉の拠点施設。その中で、相談、機能訓練などを行う「ふれあいの家」について移転	校舎 1階の一部 2階すべて	通年 (月、祝、年末年始除く) 9:00~17:15	指定管理者 (千葉市社会福祉事業団)
【拡充】 ②障害福祉サービス事業所	生活介護、自立訓練などを行う障害者を対象とした定員50名以上の事業所	校舎 1階の一部	月曜日~金曜日 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始は運営事業者の判断)	社会福祉法人、医療法人、NPO法人、株式会社等(公募)
【新規】 ③千葉大学サテライトキャンパス	大学が自治体等の協力の元、地域課題解決に資する事業を行う拠点	校舎 3階	調整中	千葉大学
【拡充】 ④市立稲毛高校附属中	稲毛高校附属中の運動系部活動及び体育授業	体育館 校庭	通年 7:30~18:00 (学校休業日等は7:30~16:00)	千葉市教育委員会

出典：千葉市 HP (<https://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/shisan/shisan/takaisogakkou-ato.html>)

## 沖縄県名護市 アグリパーク

- ・沖縄 JTB 株式会社と株式会社みらいおきなわは、共同事業体として名護市農産物 6 次産業化支援拠点施設「なごアグリパーク」の施設運営管理を開始、2024 年 5 月 5 日（こどもの日）にリニューアルオープンした。
- ・当施設のコンセプトは食のはぐくみと、ものづくりへのこだわりを意味する「FARM&CRAFT（ファーム&クラフト）」であり、沖縄の豊かな自然の恵みを感じることができるグルメやお土産、体験があふれ出す、ここにしかない食のテーマパークとして生まれ変わった。
- ・地域の人々が緑に触れながらゆっくりした休日を過ごしたり、ワークショップに参加してみたり、観光客が観光やドライブの休憩に地域グルメで小腹を充たしてみたり、地域生産者が農産物の加工を相談しにきたり、料理人が新たな食材を求めて足繁く通ったりといった食を愛するあらゆる人が集い、交差する場所として、発展させていく。



出典：アグリパーク (<https://www.nagoagri.jp/>)

## (7) 今後の検討事項

### ➤ 導入機能の具体化に向けた検討

- ・ 導入機能の詳細な項目及び必要面積
- ・ 地域住民で使う機能と、民間マターな機能の分類
- ・ 民間マターな機能については、誘致の可能性の把握

### ➤ 体育館の耐震化対応

- ・ 耐震化するか、除却して土地利用に合わせた施設を作るか

### ➤ 運営方法

運営方法は複数パターン想定されるが、ここでは一案を示します。運営方法のパターンは、今後の課題に記載します。

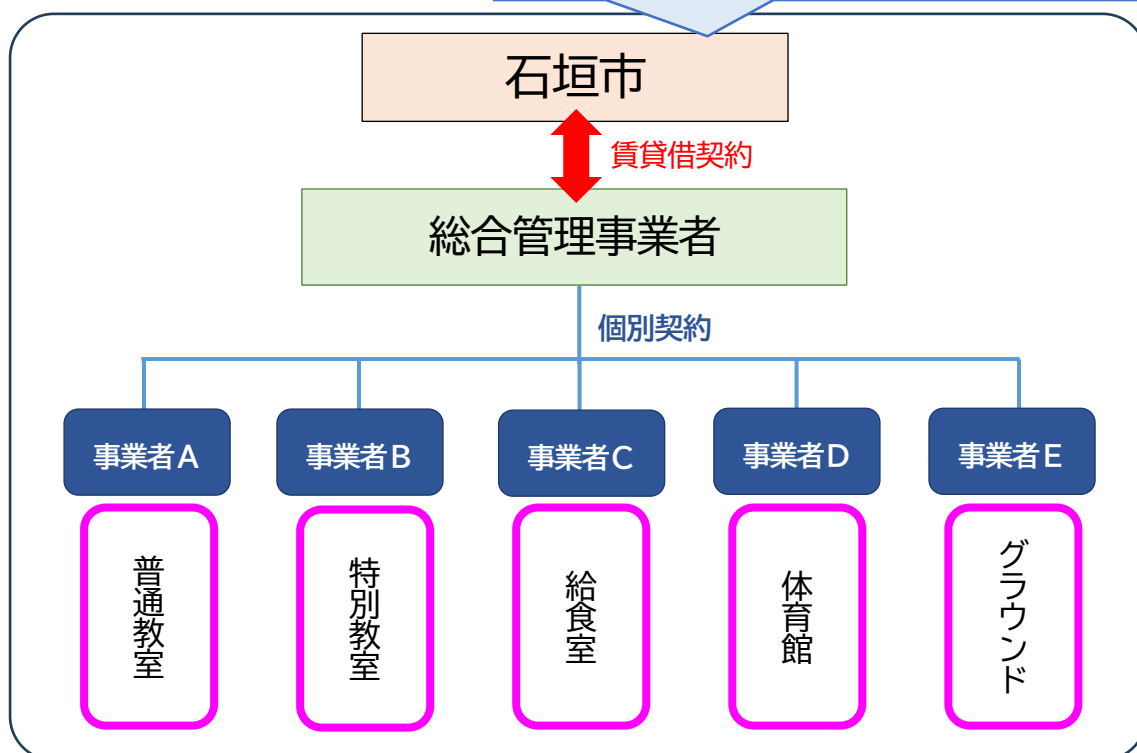
- ・ 土地、建物の所有、利用形態の検討
- ・ 建物の運営主体、各施設の運営主体や運営方法：検討対象項目と想定される利用、所有対象者は次の通り。検討対象項目ごとに対象者を選定する必要がある

<b>検討対象項目</b>	土地所有、建物所有、建物など利用、建物など管理運営
<b>所有、利用対象者</b>	石垣市、地域運営組織、民間

想定される形態の1例としては、次の通りです。

<b>土地所有</b>	石垣市
<b>建物所有</b>	石垣市
<b>建物利用</b>	民間
<b>管理運営</b>	民間

土地、建物の所有は市とし、市と総合管理事業者は賃貸借契約を締結する。総合管理事業者は、各施設を活用した事業主体を募集し、事業・施設単位で個別に賃貸借契約を行う。施設整備は各事業主体が実施する。形状の変更や新たな施設の整備については、石垣市及び総合管理事業者と条件を確認し、必要とする事業者が費用を負担する。



## 6.3 水産研究所跡地活用事業

### (1) コンセプト

水産研究所跡地は、東シナ海の穏やかな海に面し、近隣には川平湾や玉取崎などの観光地を有するなど観光客の周遊ルート上に位置します。また平久保半島の付け根に位置し、北部地域への玄関口とも位置付けられます。そのため、水産研究所跡地の有する絶好のロケーションと位置的な有利性を生かした観光拠点、地域住民や観光客にとっての日常の買い物や地場産品などの直売所、道の駅として、またこの直売所に卸す地域ブランドを生産・加工する6次産業などの拠点の形成を目指します。

#### 絶好の海のロケーションを生かした地域ブランド拠点・北部への玄関口

##### 【詳細な取り組み事項】

- ・地場産業を担う民間事業者による水産研究所跡地の活用により、地域ブランドを継続、拡張、地域特産物を活かした新たな6次産業の推進とともに、北部地域・西部地域の新たな拠点として、その機能を想定する

(例えば：)

- ・住民：日常の買い物、直売所（海産物、農産物）、北部地域・西部地域コミュニティの新拠点
- ・観光客：道の駅、ロケーションを生かした観光拠点、北部への玄関口（観光案内）
- ・新産業：海産物の養殖、6次産業や地場産業拡張の受け皿

前節では、将来ビジョンを達成するための必要な施策として、特に水産研究所跡地での施策となる次の項目が重点プロジェクトとして選定しました。次節以降では、この機能をベースに様々な導入機能を想定し、土地利用ゾーンを検討します。

#### 水産研究所跡地で期待される施策

表 10. 水産研究所関連の施策

将来ビジョン達成のためのコンセプト	施策番号	コンセプトを実現する施策案
地域コミュニティ社会の存続	①	住宅の供給
	②	産業振興・雇用の創出
	③	地域コミュニティ、集会施設など、住民活動に資する施設の整備
市民や観光客がいつでも楽しめる自然を提供	④	自然環境保全エリアの監視・注意喚起、清掃活動
	⑤	農業体験（バナナ、マンゴー、サトウキビ）、水産体験の提供
	⑥	自転車、ツーリングロード整備
	⑦	グラスボートツアー
	⑧	海のレジャー推進
	⑩	企業研修、教育旅行の場及び研修者などの宿泊施設
	⑫	インバウンド（クルーズ船）の受け入れ
地域ブランドの農産物、加工品などを島外の人達にも提供	⑭	関係人口・交流人口の拡大、イベントスペースの整備
	⑮	農産物加工所、物づくりの場の整備
	⑯	地場産物を使った飲食の提供
	⑰	地場産物などの直売所
	⑱	車エビ養殖、海ブドウ、ウニ養殖、アーサ養殖、ブリ養殖
	⑲	産業振興のためのワーキングスペース
北部地域・西部地域をひとつのまちと捉え、連携	⑳	水耕栽培工場
	㉑	物理的な連携
	㉒	機能的な連携
	㉓	情報提供の推進

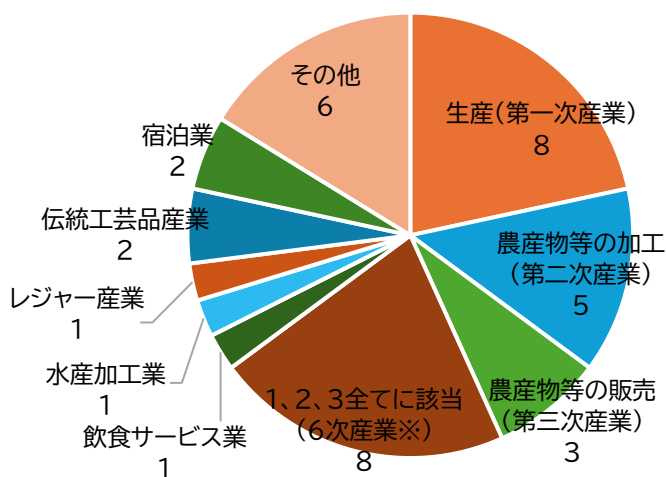


### (3) アンケート調査結果からみた水産研究所跡地の利用ニーズ

水産研究所跡地を移転先・拡張先の候補地として検討している業種と、その割合を以下に示します。

- ・「生産（第一次産業）」、「農産物などの加工（第二次産業）」、「農産物などの販売（第三次産業）」「1, 2, 3、すべてに該当（6次産業）」の業種が合わせて7割近くを占めています。
- ・その他、「水産加工業」、「伝統工芸品産業」、「レジャー産業」など地域色のある業種にもニーズがあります。

選択肢	件数	比率
生産(第一次産業)	8	22%
農産物などの加工(第二次産業)	5	14%
農産物などの販売(第三次産業)	3	8%
1、2、3全てに該当(6次産業)	8	22%
ダイビング業者	0	0%
飲食サービス業	1	3%
水産業	0	0%
水産加工業	1	3%
海面養殖業	0	0%
レジャー産業	1	3%
伝統工芸品産業	2	5%
宿泊業	2	5%
その他	6	16%
<b>合計</b>	<b>37</b>	



【その他】造園関係、農業、運輸サービス業、マッサージ業、飲食業、陶器製造、共同売店

#### (4) 導入機能

重点プロジェクトを中心に、水産研究所跡地での導入が想定される機能を整理します。

##### ①農産物加工エリア

北部地域西部地域の6次産業事業者が利用する加工施設であり、加工に必要な機械などを備えられるスペースの整備が想定される



イメージ

##### ②地場産品生産加工エリア

農産物加工品のほか、地場の工芸品などを製作するスペースの整備が想定される



イメージ

##### ③海産物供給エリア

車エビ、海ブドウ、ウニ、アーサ、ブリなど海産物の供給が想定される



イメージ

##### ④地場産品や農産物の直売所、道の駅

上記の生産品や加工品、石垣市で生産される農産物の直売所、ゆらていく市場のイメージ



イメージ

##### ⑤地場産品を使った飲食スペース

島周遊やマリンレジャーの観光客、地域住民など幅広いターゲットに対して、地場産品を使った飲食スペース、BBQスペースの整備が想定される



イメージ

##### ⑥情報提供・休憩スペース

観光客や地元住民の休憩スペース、情報スペース



イメージ

⑦地域コミュニティ施設・地域福祉施設  
 公民館活動や文化活動、出前講座を行う  
 スペースや娯楽室が想定される。また、  
 高齢者が利用する福祉センターが想定  
 される



イメージ

⑧海浜公園

おだやかな海のロケーションを活かし  
 た公園。BBQ・キャンプスペースを想定。



東京海上公園

イメージ

⑨マリンレジャーエリア

前面に広がる穏やかな海辺や既存の棧  
 橋を生かしたマリンレジャーエリアの  
 整備が想定される



イメージ

⑩サテライトキャンパス・オフィス

研究所の部屋割りを利用したサテライ  
 トキャンパス、サテライトオフィス、海  
 洋レジャーを楽しむ観光客も含めた宿  
 泊施設の整備が想定される



イメージ

#### (5) 土地利用ゾーニングの検討

土地利用ゾーニングは、そのターゲットや利用目的により複数案想定されます。場所的に条件不利地ではないが、中心部から離れています。一方で概ね 10 k m 近傍には観光地があること、穏やかな海が前面に広がるロケーションを有することから、ここを拠点とした集客も考えられます。そのため、ここでは、観光消費重視型、生産加工重視型、地場産業育成型、サテライトキャンパス誘致型の想定される 4 案を示します。

なお、跡地に導入する機能によっては、既存建物の一部を利活用できない可能性があり、その際には既存建物の改築更新、あるいは一部を更地にした上での利活用が想定されます。

①観光消費重視型

水産研究所跡地の海に面するロケーションを生かし、新たな観光の名所として拠点整備を目指します。海辺沿いは主に観光客のための機能を整備し、一方、入り口から海に向かって、地域住民や子供たちのためのコミュニティ施設や公園を整備します。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
研究本館	④地場産物や農産物の直売所、道の駅	道の駅、直売所
生物実験棟 屋外水槽など資材置き場（施設なし）	①農産物加工エリア ②地場産物生産加工エリア 駐車場	生産加工施設（農産物、地場産物など） 駐車場
生物飼育実験棟、水温調節設備棟	③海産物供給エリア ⑤地場産物を使った飲食スペース ⑥情報提供・休憩スペース	飲食、サービス施設、海産物供給エリア
ポンプ室、電気室、自家発電室、車庫	③海産物供給エリア	海産物供給エリア
屋外生物飼育実験施設（建物なし）	⑤地場産物を使った飲食スペース ⑥情報提供・休憩スペース	飲食、サービス施設、BBQ エリア
海水濾過施設 艇庫 調査機器保管工作など（単なる倉庫）	⑨マリンレジャーエリア	海洋レジャー及び関連施設
沈砂池	そのまま	
生物標本保存・展示棟 外来研修員宿泊施設	⑦地域コミュニティ施設・地域福祉施設	地域の施設（コミュニティ施設など）
空地	⑧海浜公園	海浜公園
駐車場	駐車場	

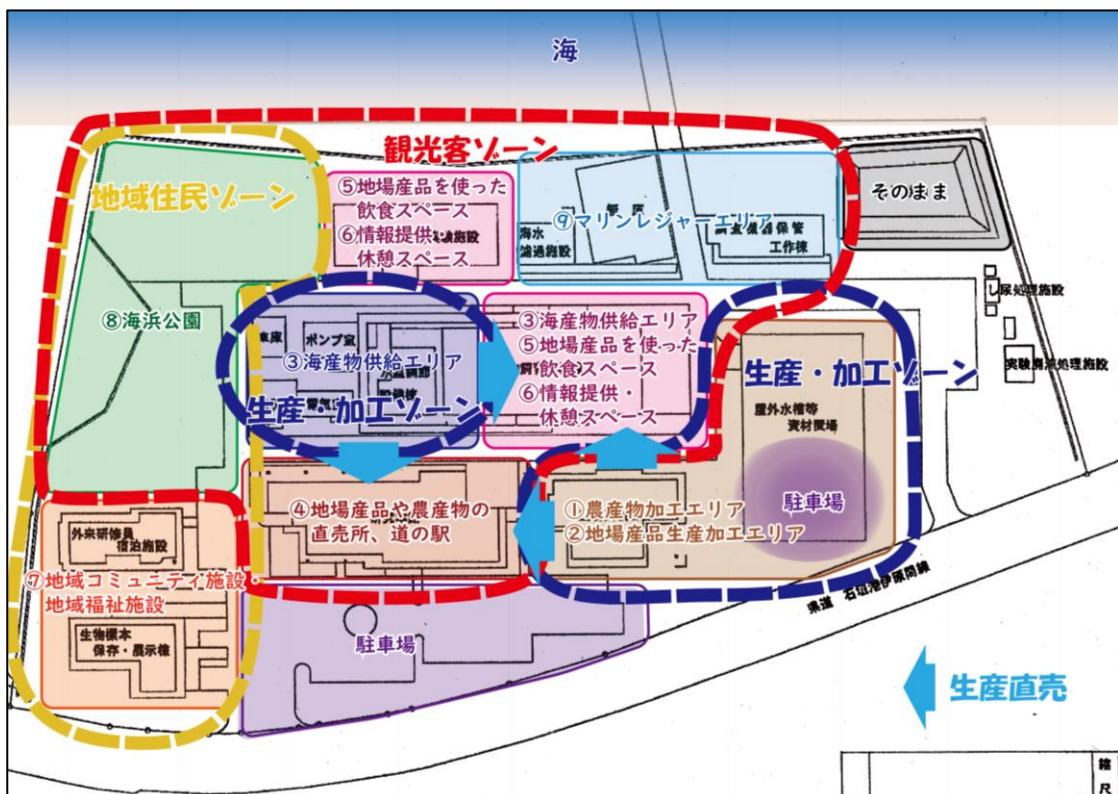


図 33. 将来導入機能イメージ

## ②生産加工重視型

農産物、地場製品の生産・加工施設の誘致により、6次産業化を推進し、地域経済の活性化や雇用創出を図ります。また生産過程や加工過程を見学できる体験型のプログラムと、エントランスから海に向かう動線沿いに情報案内、道の駅、直売所などを配置するとともに、海辺に面する北東エリアに飲食スペースを設けることで、観光客や市内住民を呼び込みます。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
研究本館 生物実験棟 屋外水槽など資材置き場（施設なし）	①農産物加工エリア ②地場産品生産加工エリア 駐車場	生産加工施設（地場産品など） 駐車場
生物飼育実験棟、水温調節設備棟 ポンプ室、電気室、自家発電室、車庫 屋外生物飼育実験施設（建物なし） 海水濾過施設 艇庫	③海産物供給エリア	海産物供給エリア
調査機器保管工作など（単なる倉庫）	⑤地場産品を使った飲食スペース ⑥情報提供・休憩スペース	飲食、サービス施設
沈砂池	そのまま	
生物標本保存・展示棟 外来研修員宿泊施設	④地場産品や農産物の直売所、道の駅 ⑥情報提供・休憩スペース	案内所、道の駅、直売所など 道の駅、直売所など
空地	⑤地場産品を使った飲食スペース ⑧海浜公園	飲食又は海浜公園
駐車場	駐車場	

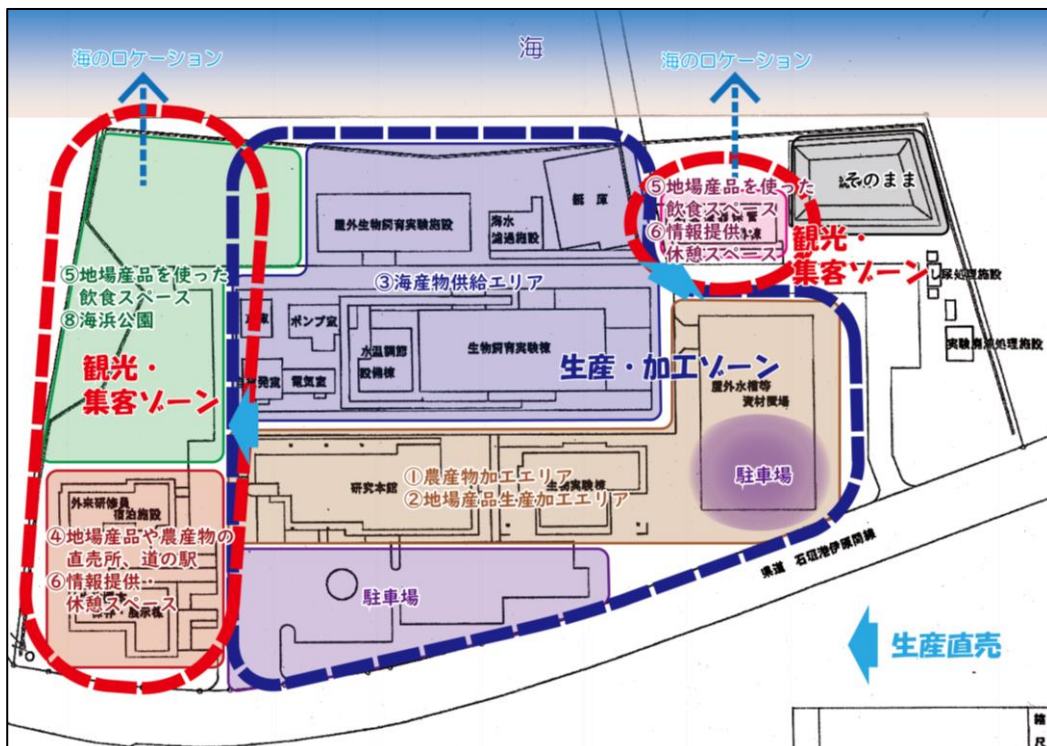


図 34. 将来導入機能イメージ

### ③地場産業育成型

既存建物の部屋割りを生かし、市内企業の事業所拡張ニーズ、更新ニーズを踏まえた跡地利用を行います。また海産物の供給施設も誘致し、一方で、ロケーションを生かし、観光客対応としてエントランスから海に向かう動線沿いに情報案内、道の駅、直売所などを配置します。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
研究本館	①農産物加工エリア ②地場産品を生産加工エリア 駐車場	地元企業の立地 駐車場
生物実験棟		
屋外水槽など資材置き場（施設なし）		
生物飼育実験棟、水温調節設備棟		
ポンプ室、電気室、自家発電室、車庫	③海産物供給エリア	海産物供給エリア
屋外生物飼育実験施設（建物なし）		
海水濾過施設		
艇庫		
調査機器保管工作など（単なる倉庫）	そのまま	
沈砂池		
生物標本保存・展示棟		
外来研修員宿泊施設		
空地	④地場産品や農産物の直売所、道の駅 ⑥情報提供・休憩スペース	案内所、道の駅、直売所など 道の駅、直売所など
駐車場	⑤地場産品を使った飲食スペース ⑧海浜公園	飲食又は海浜公園
	駐車場	

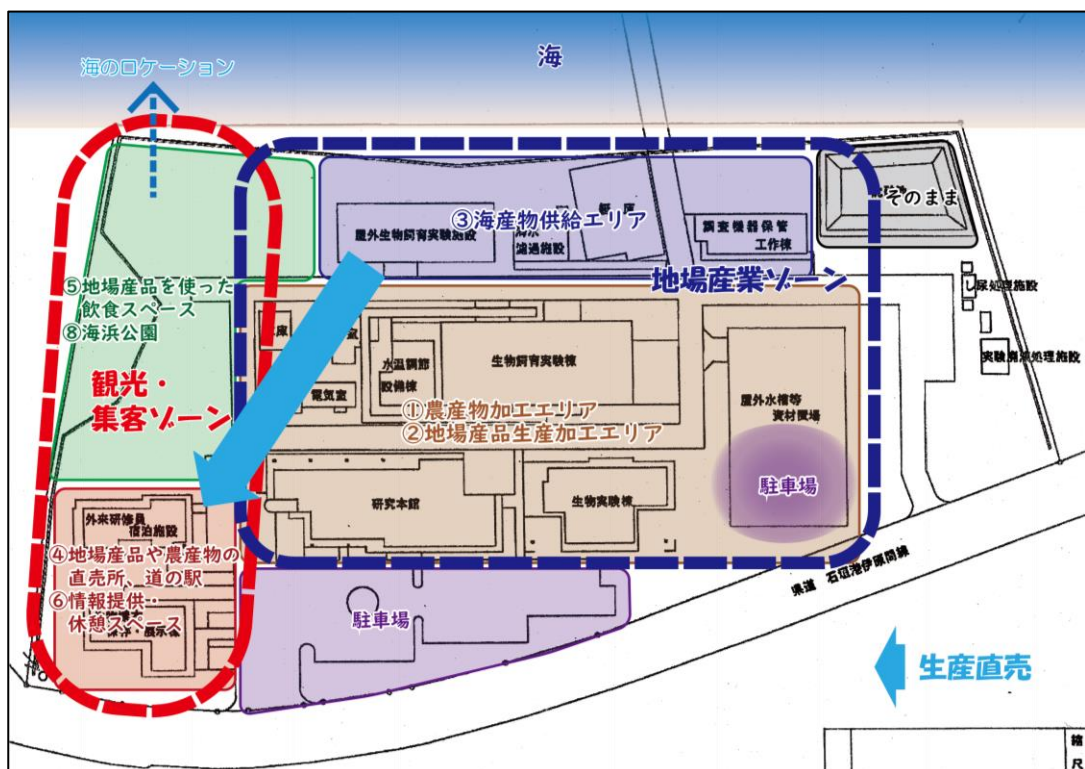


図 35. 将来導入機能イメージ

#### ④サテライトキャンパス誘致型

既存建物の部屋割りを生かし、高等教育機関のサテライトキャンパスや研究所を誘致します。一方で、跡地のロケーションを生かし、海辺沿いや西部エリアは学校関係者も一般の観光客、住民も利用する施設を配置し、入り口には観光客対応として情報案内、物販、飲食スペースも設けます。

既存建物	将来導入機能	施設導入イメージ
研究本館 生物実験棟 屋外水槽など資材置き場（施設なし） 生物飼育実験棟、水温調節設備棟 ポンプ室、電気室、自家発電室、車庫	⑩サテライトキャンパス・オフィス 駐車場	キャンパス、研究所 駐車場
屋外生物飼育実験施設（建物なし） 海水濾過施設 艇庫 調査機器保管工作など（単なる倉庫）	⑤地場産品を使った飲食スペース ⑩サテライトキャンパス・オフィス	学校・観光客共用施設
沈砂池	そのまま	
生物標本保存・展示棟 外来研修員宿泊施設	④地場産品や農産物の直売所、道の駅 ⑤地場産品を使った飲食スペース	観光案内、物販、飲食スペース
空地	⑧海浜公園	海浜公園
駐車場	駐車場	

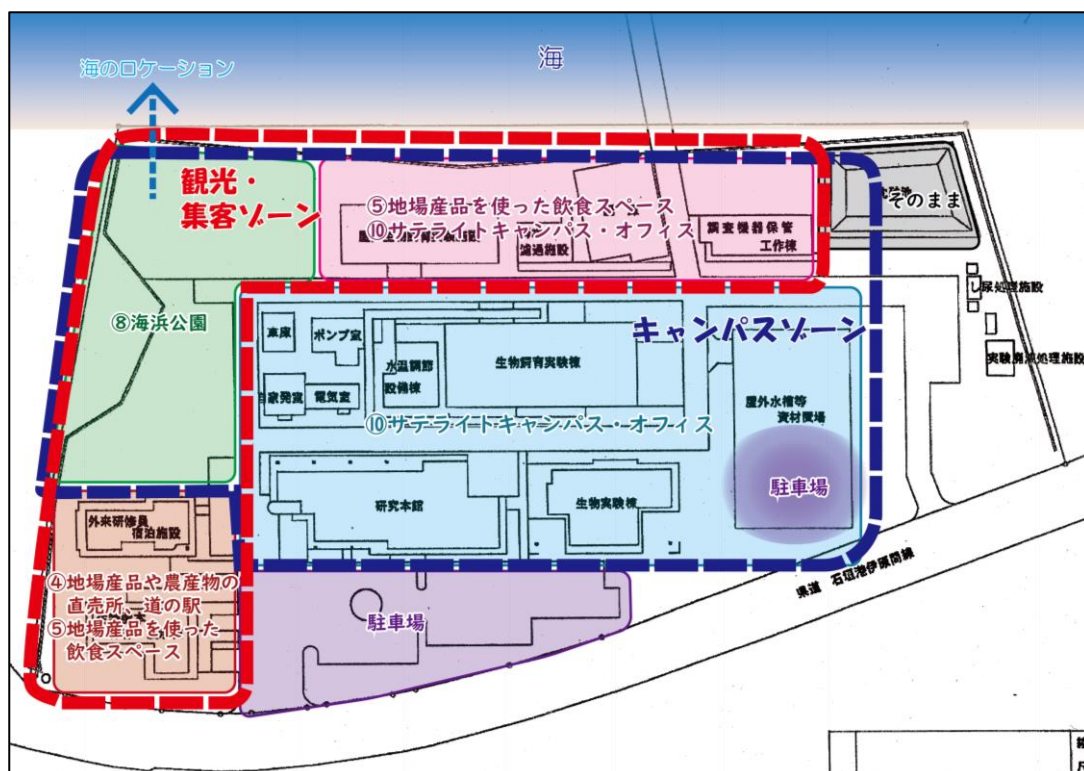


図 36. 将来導入機能イメージ

(6) 事例

**道の駅の事例：都市交流施設・道の駅保田小学校**

千葉県鋸南町 旧保田小学校

【施設の概要】

施設名	都市交流施設・道の駅保田小学校
活用事業者	鋸南町（転用）
改修費用	総額約 13 億円 （うち自治体負担額：約 4.9 億円）（うち補助金額：約 8.1 億円）
活用した補助金など	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金・農山漁村振興交付金（農林水産省）、千葉県公共施設再生可能エネルギーなど導入支援補助金（千葉県）、公衆無線 LAN 環境整備事業補助金（千葉県）、観光地魅力アップ整備事業補助金（千葉県）
施設の規模	14,236 m <sup>2</sup> 他

- ・校舎棟は飲食・物販施設、簡易宿泊施設、公衆トイレなどを備え、体育館は直売所として活用している
- ・廃校の施設は解体せずリノベーションしている



出典：文部科学省 廃校活用事例集

## 6次産業の事例：なめがたファーマーズヴィレッジ

茨城県行方市 旧大和第三小学校

### 【施設の概要】

施設名	なめがたファーマーズヴィレッジ
活用事業者	白ハト食品工業(株) (有償譲渡)
改修費用	総額約 22 億円 (うち事業者負担額：約 17 億円) (うち補助金額：約 5 億円)
活用した補助金など	6次産業化推進事業(農林水産省)、創業補助金、雇用促進補助金(行方市)
施設の規模	20,853 m <sup>2</sup>

- ・行方市の特産物である「サツマイモ」に関する体験型農業テーマパーク
- ・廃校になった小学校をリノベーションし、食品加工工場、ミュージアム、レストラン、カフェを設置している
- ・周辺には、オーナー専用貸農園、クラブハウス、宿泊施設、直営農場やサツマイモ貯蔵庫などを併設



出典：文部科学省 廃校活用事例集

## 海産物養殖の事例：チョウザメ養殖

茨城県河内町長竿小学校

### 【施設概要】

施設名	トキタフィッシュカンパニー
活用事業者	株式会社トキタ（無償貸付）

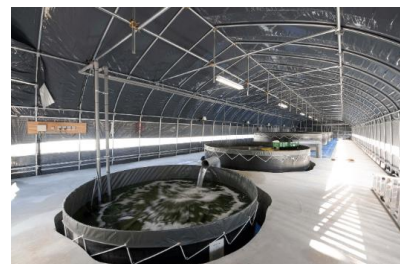
- ・ 廃校のプールと地域資源である温泉を利用して、高級魚トラフグの陸上養殖を行う
- ・ 屋内プールに円形の水槽 12 基を設置、くみ上げてタンクローリーで運んだ温泉水を水槽に入れる
- ・ 温泉水は、海水より塩分濃度が低いためトラフグの養殖に適しており、この養殖では稚魚から出荷できるサイズまでに育つ期間が、通常の上陸養殖に比べ半分の約1年となる
- ・ プールを無償貸付を受けチョウザメの養殖事業に着手
- ・ 屋外のプールも水槽に改修し、プールを成魚水槽へ改造。その養殖水を利用して野菜を栽培。



- ・ 校舎内（1階教室）には八角形の5t水槽、直径約3メートル×8基のほか、養殖に使う地下水の水質を保つための循環装置を設置



- ・ 校舎外に新たにとらふぐ養殖施設を新設し、施設には夏の気温による水温上昇の防止、冬の気温による水温低下の防止を行い、とらふぐの養殖に適した水温を維持する徹底的な水質管理を行っている



出典：(株)トキタ (<https://kf-tokita.com/>)

## 特定非営利活動法人 アクア・チッタ【徳島県徳島市】

～従来うち捨てられていた空き倉庫を「可能性のある資源」と捉え、立地を活かし  
魅力あるイベントの開催などで、活気のある賑やかな町に～  
「アクア・チッタ」（イタリア語で「水の街」の意味）は、徳島市内中心部にある古い遊休  
物件となっていた倉庫街「万代中央ふ頭」に、衣食住を備えた「街」をつくることを目的に、  
この地に魅力を感じた徳島の中小企業オーナーたちが中心となり 2005 年に設立した団体。  
遊休倉庫などの港湾施設を、飲食店やアパレル、雑貨、家具などの小売店、事務所などへリ  
ニューアルすることで、地域のにぎわいを創出。  
埠頭という開かれた立地を活かして、各イベント会場として倉庫や岸壁を提供したり、冬季  
には高さ約 6m の巨大クリスマスツリーを設置しているほか、最寄りの川を運行している水  
上交通との連携によるイベントを実施。

- ▶各種イベント開催の結果、19 棟ある倉庫のうち、13 棟に 33 事業者が入居
- ▶イベント「アクア・チッタフェスタ」で 1 万 7 千人を集客
- ▶大学や建築士会、他の NPO の協力を得て街の「ビジョンづくり」にも着手



倉庫や岸壁を会場にしたイベント



遊休倉庫をリノベして商業施設に転用

## 【兵庫県 南あわじ市】吉備国際大学 サテライトキャンパス

南あわじ市は淡路たまねぎを中心に農業・畜産業が盛んであり、農学部との親和性が高いこ  
とが特徴です。実習・フィールドワークの場の提供や島内移住の支援、地元農家における雇用  
(アルバイト) など、様々な側面で地域と大学の連携が見られる事例の 1 つ。

南あわじ市では、「高校跡地の活用方法の検討」「市内の空き家の活用」「市内在住の若年層の  
減少」などの課題を抱えてた。本キャンパスの誘致も志知高校跡地の活用方法の検討の  
議論の中から発足し、跡地の有効活用已成功している。また、市内在住を条件とした  
入学金補助や卒業後の定住を見据えた支援を進めることで、若年人口減少の抑制など  
キャンパス誘致が市の課題解決に寄与している。



出典：吉備国際大学 HP (<https://kiui.jp/campus/minamiawaji/>)

## (7) 今後の検討事項

- ▶ 導入機能の具体化に向けた検討
  - ・ 導入機能の詳細な項目及び必要面積
  - ・ 道の駅や直売所を整備する場合の導入機能、運営方法の検討
  - ・ 加工施設を整備する場合の具体機能の把握と公募方法の検討
  - ・ 民間マターな機能については誘致の可能性の把握
  
- ▶ 土地、建物の利用方法
  - ・ 既存建物の部屋割りのまま使えるのか、あるいはコンバージョン、または建て替えなのか
  - ・ それを誰がやるのか、需要と費用を踏まえた中での検討
  
- ▶ 運営方法
 

運営方法は複数パターン想定されるが、ここでは一案を示します。運営方法のパターンは、今後の課題に記載

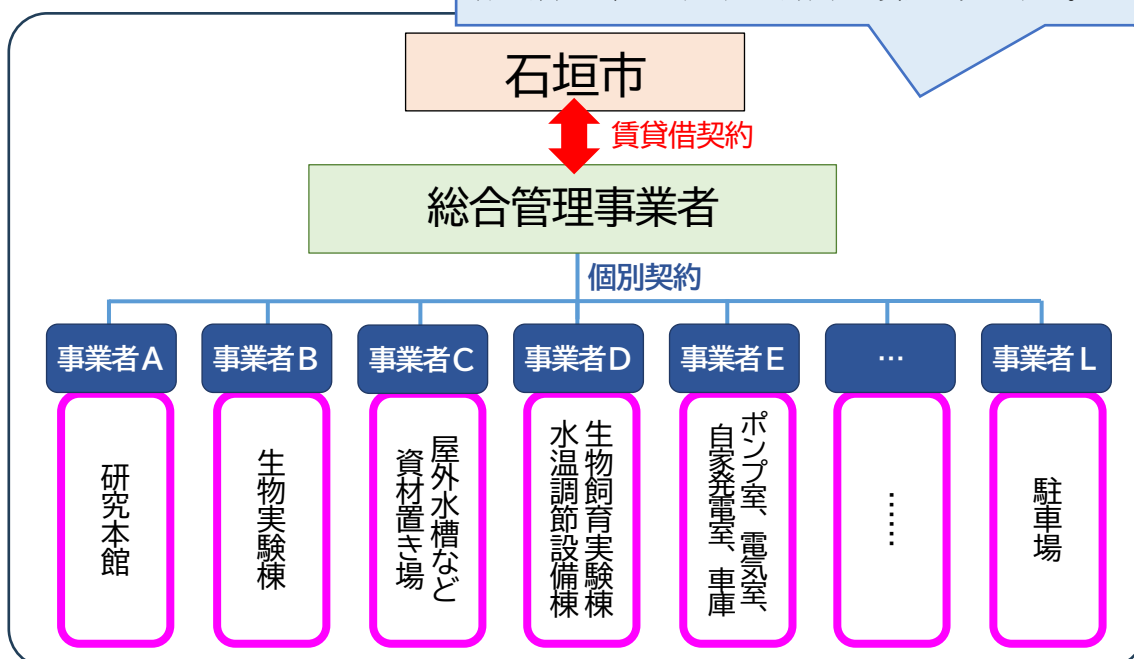
  - ・ 土地、建物の所有、利用形態の検討
  - ・ 建物の運営主体、各施設の運営主体や運営方法：検討対象項目と想定される利用、所有対象者は次の通り。検討対象項目ごとに対象者を選定する必要があります。

<b>検討対象項目</b>	土地所有、建物所有、建物など利用、建物など管理運営
<b>所有、利用対象者</b>	石垣市、地域運営組織、民間

想定される形態の1例としては、次の通りです。

<b>土地所有</b>	石垣市
<b>建物所有</b>	石垣市
<b>建物利用</b>	民間
<b>管理運営</b>	民間

土地、建物の所有は市とし、市と総合管理事業者は賃貸借契約を締結する。総合管理事業者は、各施設を活用した事業主体を募集し、事業・施設単位で個別に賃貸借契約を行う。施設整備は各事業主体が実施する。形状の変更や新たな施設の整備については、石垣市及び総合管理事業者と条件を確認し、必要とする事業者が費用を負担する。



## 7. 今後の課題

### 7.1 持続可能な北部地域・西部地域づくりに向けた地域運営組織の検討

#### (1) 検討の趣旨

高齢化により日常生活機能が徐々に低下し、人口減少・過疎化により集落の生活支援機能の低下が進む中、地域の暮らしなどを守るため、地域で暮らす人々が中心となって、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する地域運営組織が注目されています。地域における課題は多様化し、切迫感も増しており、行政による対応のみならず住民共助によるさらなる取組みが求められており、北部地域・西部地域においては、石垣市北部五校地区連絡協議会をはじめ各公民館組織が中心的な役割を担っていくことが期待されます。

#### (2) 体制づくり

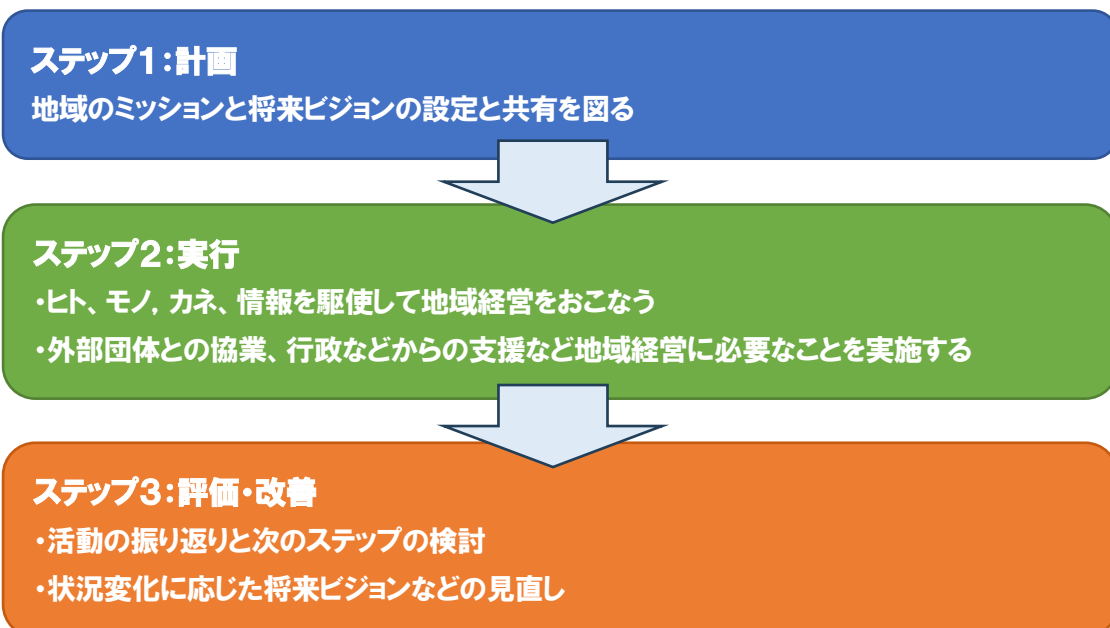
地域運営組織は、これまで整理してきたような多様な地域課題に対し、主体的に対応する組織として重要です。本計画で掲げた北部地域・西部地域のミッションや将来像を共有し、取り組むべき地域課題や施策を検討するなど地域運営組織を通じた地域づくりがこれから必要となります。

一方で、地域のすべての課題に対応できるものではないので、多様な主体・団体とのつながりの強化、協力を通じて地域課題に取り組むとともに、地域運営組織による地域マネジメントのあり方を定める必要があります。

石垣市北部五校地区連絡協議会及び公民館組織がどのように連携し、あるいはその上部に地域運営組織を組成し、どのようなメンバー構成とするかなど体制づくりの検討が必要です。

#### (3) 検討のプロセス

持続可能な北部地域・西部地域づくりに向けた地域運営組織の活動のプロセスは、次の通りです。



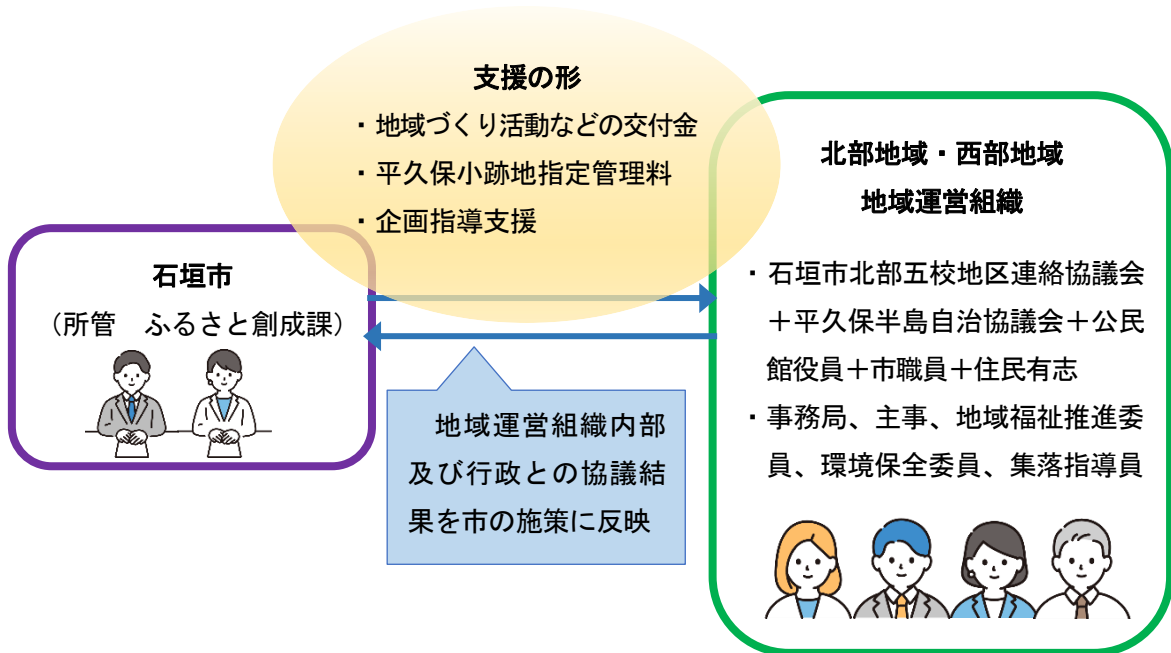
#### (4) 検討事項

##### ①組織及び支援の形について(例)

地域運営組織の組織体制及び支援体制のイメージ例を以下に示すが、組織形態や支援の形については今後検討する必要があります。

(イメージ例)

- ・地域運営組織メンバーは、石垣市北部五校地区連絡協議会代表、公民館役員、市役所出向職員（非常勤）及び地域住民立候補者で構成
- ・構成員の役割は、事務局長、主事、地域福祉推進委員、環境保全委員、集落指導員など
- ・行政からの支援は、財政的支援のほか、地域運営に関する企画、指導、支援
- ・地域課題解決に向けての行政も交えた話し合いの結果は市の施策に反映



##### ②持続可能な組織運営のための検討事項

組織運営に向けて、次の事項について検討する必要があります。

(組織形態について)

- ・地域運営組織の役割や活動内容
- ・支援者である行政の果たす役割、関連する外部団体の果たす役割
- ・地域運営組織と支援者である行政の連携のポイント、連携のあり方

(持続可能な地域運営に向けて)

<b>地域運営組織</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョンや地域経営の方針を十分議論し共有する</li> <li>・持続可能な体制（財源、担い手、事務局）の確保に向けた検討</li> </ul>
<b>行政</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政にとって、地域運営組織は自治体運営の重要なパートナー（北部地域・西部地域自治の重要な担い手）として位置付ける</li> <li>・行政は、地域運営組織設立後の支援や関与の在り方の検討</li> <li>・自治体運営のパートナーとして継続的に支援する体制や支援内容の検討、更新</li> </ul>

## (5) 地域運営組織が担う活動例

地域運営組織が担う活動例を以下に示します。

<b>総合的な生活支援</b>	市役所窓口代行、学校跡地の指定管理、公共交通代行サービスの運行、送迎サービス、家事支援、買い物支援（配達、地域商店運営、移動販売）
<b>福祉関係</b>	声掛け、見守り、地域福祉事業窓口、遠隔医療事業窓口
<b>地域産業</b>	直売所の設置・運営、6次産業によるブランド品の加工・販売、農用地、漁場などの維持管理
<b>財産管理</b>	空き家の維持管理、移住者などへの住宅供給の斡旋窓口

## 7.2 導入機能を具体化する検討

### (1) 導入機能に対する民間需要の確認

本業務で整理した導入機能に対して、民間の需要を確認し、具体的に可能性のある導入機能を見定めるとともに、必要規模や現在の施設をそのまま使えるか、修繕が必要か、更地を望んでいるかなど、跡地利用に向けての民間需要を確認します。

### (2) 運営方法の具体化に向けた検討

管理運営方法は、前述の通り様々なパターンが想定されます。導入される機能により民間の関与の在り方も変わるが、石垣市が主体的に関わるのであれば、PFI、PPPといった官民連携手法に対する民間の意向を把握していく必要があります。

### (3) サウンディング調査の実施

本業務で実施した6次産業に関するアンケート調査結果では、平久保小学校跡地、水産研究所跡地いずれに対しても、使いたい思いのある事業者を一定量把握しました。それらの事業者も含め、民間のニーズを把握するため、サウンディング調査の実施を検討します。

### 7.3 土地利用・建物利用・建物管理方法を検討

跡地利用における権利関係の考え方としては、土地は原則として市が所有者となります。その上で、建物を誰が所有するかによりケース分けできます。

ケース1では、石垣市が土地・建物を所有するケースになります。

次ページのケース2では、石垣市が土地所有で、民間が建物所有するケースです。

表 11. 土地・建物ともに石垣市が所有するケース

建物所有	No.	考え方	建物更新	イメージ図
1. 市が建物を所有	1	【ケース 1-1】 市が自ら公共施設として建物利用するケース	市	
	2	【ケース 1-2】 市がテナントとして民間に部屋貸しするケース	市	
	3	【ケース 1-3】 市は建物管理会社 X と委託契約しテナントの受け入れ、維持管理などは建物管理会社が代行	市または建物管理会社	

表 12. 土地は石垣市が所有、建物は民間が所有するケース

建物所有	No.	考え方	建物更新	イメージ図
2. 民間が建物を所有	1	<p>【ケース 2-1】</p> <p>建物利用したい民間業者 A, B などが市から借地し建物を自ら利用</p>	民間業者 A, B など	
	2	<p>【ケース 2-2】</p> <p>市は土地管理会社 Y と契約し一括借地。建物利用したい民間 A, 民間 B は土地管理会社 Y から更に借地し自己利用</p>	民間業者 A 民間業者 B	
	3	<p>【ケース 2-3】</p> <p>市は土地建物管理会社 Z と契約し一括借地、建物は Z 社所有。土地建物管理会社 Z は建物利用したい民間 A, 民間 B と借家契約</p>	土地建物管理会社 Z	

## 7.4 今後のスケジュール（予定）

表 13. 今後のスケジュール（予定）

	令和 6年度	令和 7年度、8年度	令和 9年度	令和 10年度
平久保 小学校跡地	基本構想策定	基本計画策定 ・導入機能の具体化 ・諸室構成・規模の検討 ・レイアウトの比較検討 ・建築基本計画 ・管理運営計画 ・概算事業費 ・ニーズ調査 ・サウンディング ・関係部署との調整 ・地域住民との調整 ・建物調査	基本設計・実施設計  施設改修など工事	利用開始
水産研究所 跡地	基本構想策定	基本計画策定 ・導入機能の具体化 ・諸室構成・規模の検討 ・レイアウトの比較検討 ・建築基本計画 ・管理運営計画 ・概算事業費 ・ニーズ調査 ・サウンディング ・関係部署との調整 ・地域住民との調整 ・建物調査	基本設計・実施設計  施設改修など工事	利用開始
地域運営 組織の検討	基本構想	組織のあり方など検討		組織運営 開始





石垣市

石垣市役所 企画部 ふるさと創生課

〒907-8501 沖縄県石垣市字真栄里 672 番地

TEL : 0980-87-9000 FAX : 0980-82-1911

